

第4 県内の特定事故の発生状況

1 死亡事故

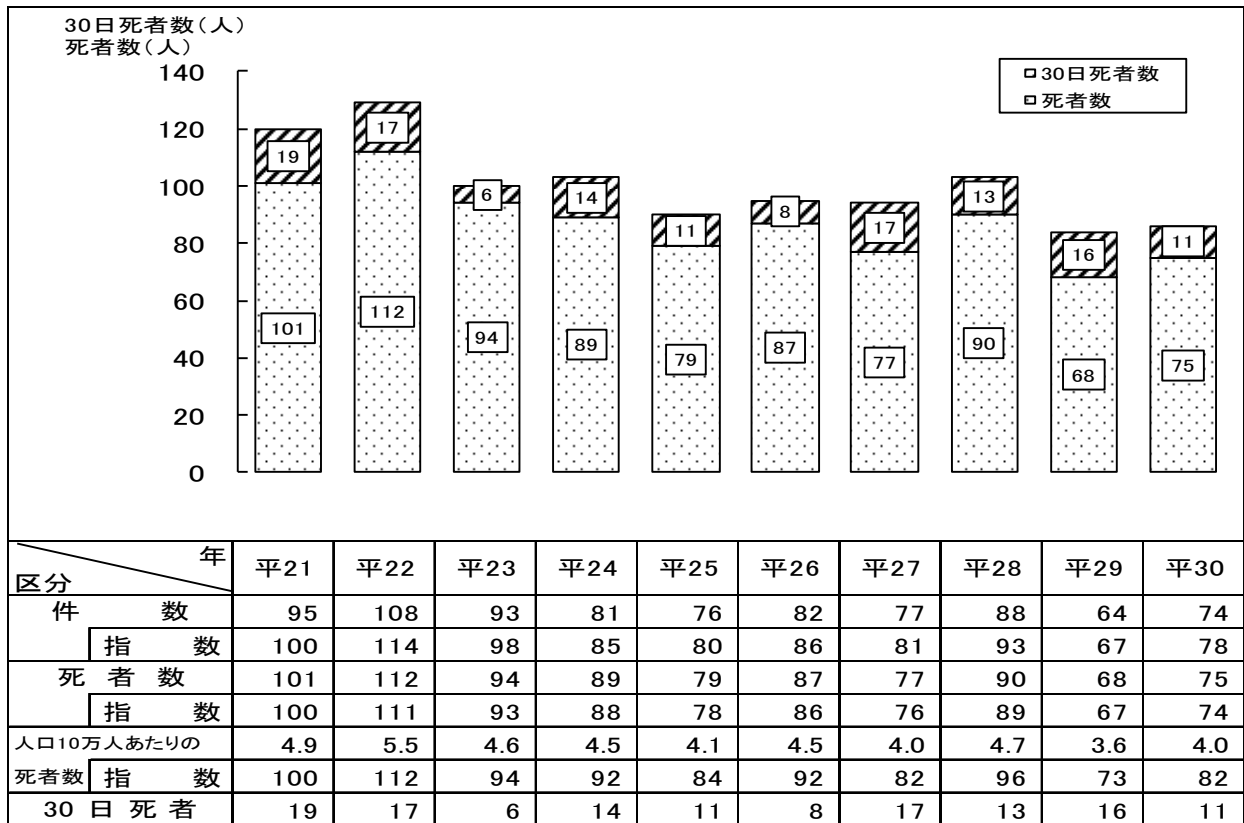
(1) 発生件数、死者数

平成30年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも増加した。

発生件数 74件 (前年比 +10件 15.6%増)

死者数 75人 (前年比 +7人 10.3%増)

過去10年間の推移をみると、死者は凹凸はあるものの減少傾向にあり、平成30年では平成21年の7割程度に減少している。 (単位：件・人)

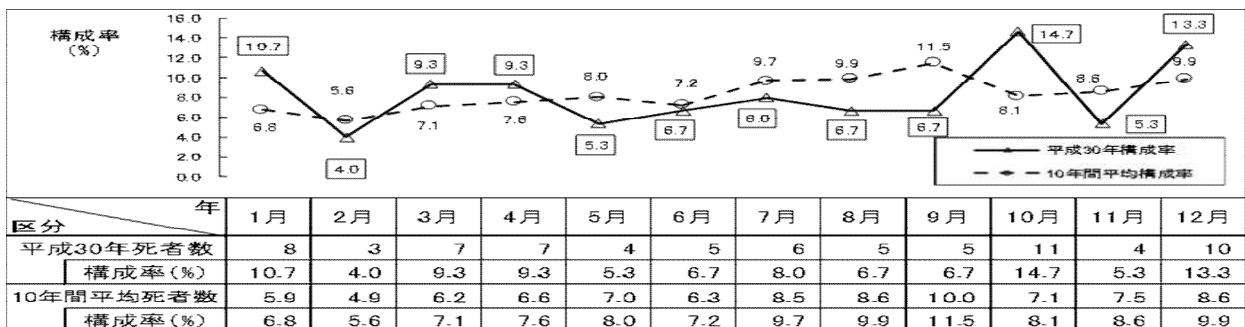


(2) 死亡事故の特徴

ア 月別

死者は、10月が最多の11人、次いで12月の10人、少なかったのは2月の3人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を下回ったのは、2月、5月、6月、7月、8月、9月、11月であった。



イ 時間別・曜日別

時間別では、14時～15時の8人が最も多くなっている。

曜日別では水曜日が最多の16人、金曜日が最少の6人となっている。

(単位：人)

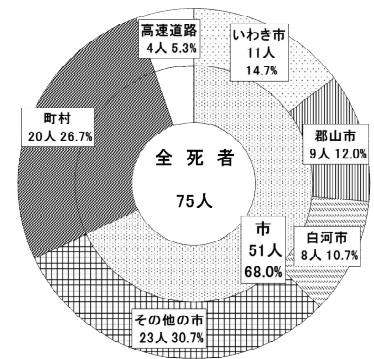
時間 曜日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計
日	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	11
月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	9
火	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	7
水	0	0	2	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	5	1	1	0	1	1	0	1	0	0	16
木	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	0	0	2	0	3	0	2	0	1	0	1	15
金	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	6
土	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	1	0	1	1	0	0	0	11
合計	0	2	3	3	1	1	4	3	1	6	4	2	2	1	8	6	6	5	4	5	2	2	1	3	75

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村はいわき市の11人で、次いで郡山市9人、白河市の8人の順に多い。

また、市部全体の死者数は51人で、全死者の68.0%を占めている。

市町村別

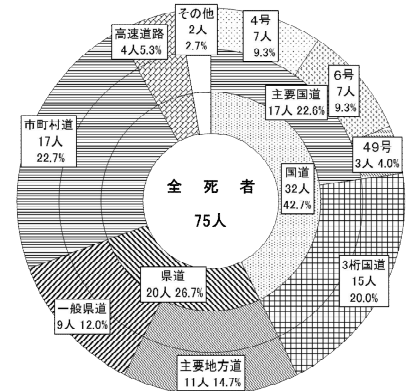


エ 道路別、道路線形別、形状別

(ア) 道路別

国道での死者が32人と多く、全死者の42.7%を占めている。次いで県道の20人(26.7%)となっている。

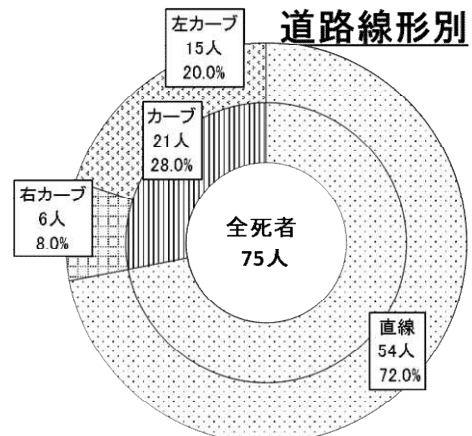
道路別



(イ) 道路線形別

直線道路での死者は54人で全死者の72.0%を占め、カーブでの死者は21人で、右カーブ6人、左カーブ15人となっている。

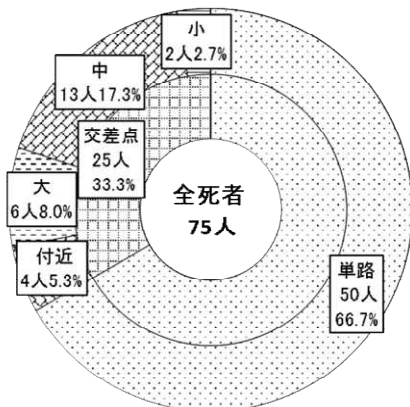
道路線形別



(ウ) 道路形状別

単路での死者は50人で全死者の66.7%を占め、交差点での死者は25人で33.3%を占めている。

道路形状別



(注)
 大交差点 道路幅員13m以上
 中交差点 道路幅員 5.5m以上13m未満
 小交差点 道路幅員5.5m未満

オ 第1当事者別 (74件)

(ア) 車種別

普通乗用車の事故が24件で全死亡事故の32.4%を占め最も多く、次いで軽乗用車19件、軽貨物車11件の順となっている。

(イ) 年齢別

高齢者による事故が33件で最も多く、次いで50歳代が13件、30歳代・40歳代が8件と多くなっている。

(単位：件)

年齢	当事者	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
		大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		自動二輪	原付				
16歳未満																		0
16～19歳													1					1
20歳代	20～24歳				2								1					3
	25～29歳				2													2
30歳代	30～34歳				1	2					1		1					5
	35～39歳				2		1											3
40歳代	40～44歳				1	1												2
	45～49歳				1	3	1		1									6
50歳代	50～54歳				3	3	1											7
	55～59歳				1	2		1		1						1		6
60歳代	60～64歳				1	2	1		1			1						6
	65～69歳				4	4		1			4							13
70歳代	70～74歳				4	1			1		4				2			12
	75～79歳				1							1						2
80歳以上					1	1					1	1		2				6
その他(当事者不明)																		0
合計		0	0	0	24	19	4	1	2	2	11	1	5	2	2	1	0	74
内数	子ども																	0
	幼児																	0
	小学生																	0
	中学生																	0
	高校生																	0
	高齢者				10	6		1		1	9	1	1	2	2			33
性別	男性				20	8	4	1	2	2	11	1	5	1	1	1		57
	女性				4	11								1	1			17
県外居住者					4	1	2		1		2							10

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.5に対して高齢者が0.9と高い。

(単位：件・人)

年齢	区分	男性			女性			合計		
		免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率
青年	10歳代	8,190	1	1.2	6,722		0.0	14,912	1	0.7
	20～24歳	39,561	2	0.5	35,122	1	0.3	74,683	3	0.4
	計	47,751	3	0.6	41,844	1	0.2	89,595	4	0.4
	25～29歳	42,704	2	0.5	37,406		0.0	80,110	2	0.2
	30歳代	103,578	7	0.7	94,191	1	0.1	197,769	8	0.4
	40歳代	124,102	4	0.3	114,799	4	0.3	238,901	8	0.3
	50歳代	119,443	7	0.6	113,250	5	0.4	232,693	12	0.5
	60～64歳	66,756	5	0.7	60,447	1	0.2	127,203	6	0.5
	高齢者	202,666	27	1.3	129,225	4	0.3	331,891	31	0.9
	合計	707,000	55	0.8	591,162	16	0.3	1,298,162	71	0.5

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない (注2) 免許人口は平成30年12月末現在

(エ) 車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第1当事者の死亡事故については、自転車が2件、歩行者が1件発生した。

運転免許を要する車両による死亡事故71件中、10年以上経過した者による事故が63件で88.7%を占めている。

(単位：件)

車種	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車				合計
	大	中	準	普	軽	大	中	準	普	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	
経過年数	型	型	型	通		型	型	型	通	軽						
有資格	1年未満											2			2	
	1～2年														0	
	2～3年				1					1					2	
	3～4年				1	1									2	
	4～5年					1									1	
	10年未満					1									1	
	10年以上				22	16	4	1	2	2	10	1	3		2	63
免許外・無免許															0	
合計	0	0	0	24	19	4	1	2	2	11	1	3	2	0	71	

(オ) 違反別

悪質違反による事故が27件となっており、全死亡事故件数の36.5%を占めている。

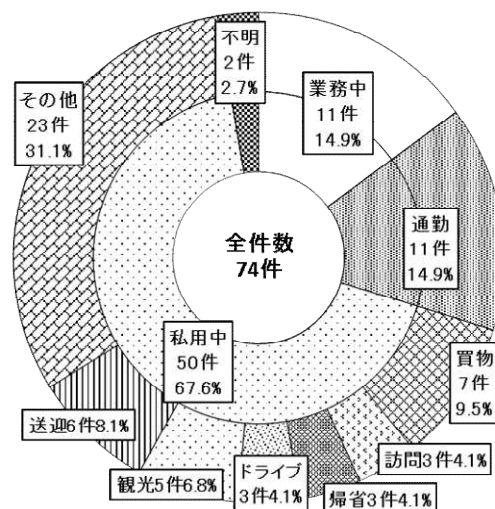
違反別でみると前方不注意が18件と最も多い。

(単位：件)

違反別	件数	違反別	件数	違反別	件数			
車両の違反	悪質違反	車両の違反	徐行違反	歩行者の違反	信号無視			
	信号無視		1		横断歩道外横断	1		
	最高速度		6		ハンドル操作不適	9	斜め横断	
	通区・追越		8		ブレーキ操作不適	1	走行車両直前直	
	歩行者妨害		10		前方不注意	18	横断禁止場所	
	一時不停止		2		動静不注意		計	1
	酒酔い運転				安全不確認	3	飛び出し	
	計		27		安全速度	2	その他	
	横断等禁止		1		予測不適		違反計	33
	車間距離不保持				その他		不明	
進路変更禁止		違反計	73	合計	74			
右折違反		ドア開放等		内数(飲酒運転)	6			
左折違反		その他	2					
優先通行妨害等	6	計						
交差点安全進行義務	3							

(カ) 通行目的別

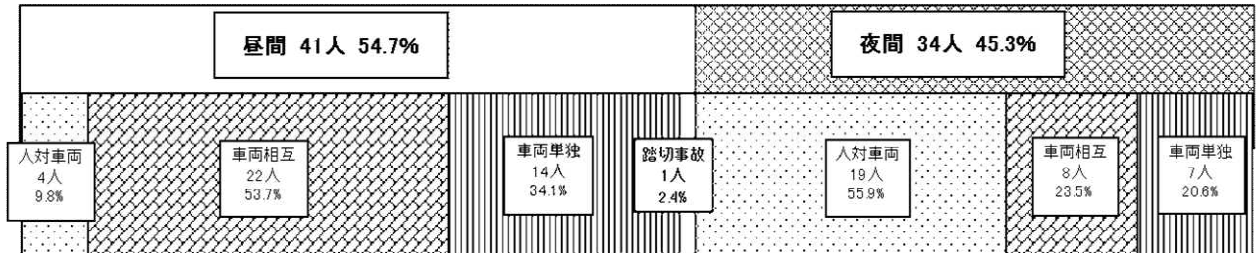
私用中に発生した事故が50件と全事故の67.6%を占めており、その中でも買物の7件が最も多く、次いで送迎の6件となっている。



カ 事故類型別死者数

人対車両	23人 (全死者の 30.7パーセント)
車両相互	30人 (全死者の 40.0パーセント)
車両単独	21人 (全死者の 28.0パーセント)
踏切事故	1人 (全死者の 1.3パーセント)

となっており、これを昼夜別で見ると、昼間には車両相互、車両単独の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故の割合が高くなっている。

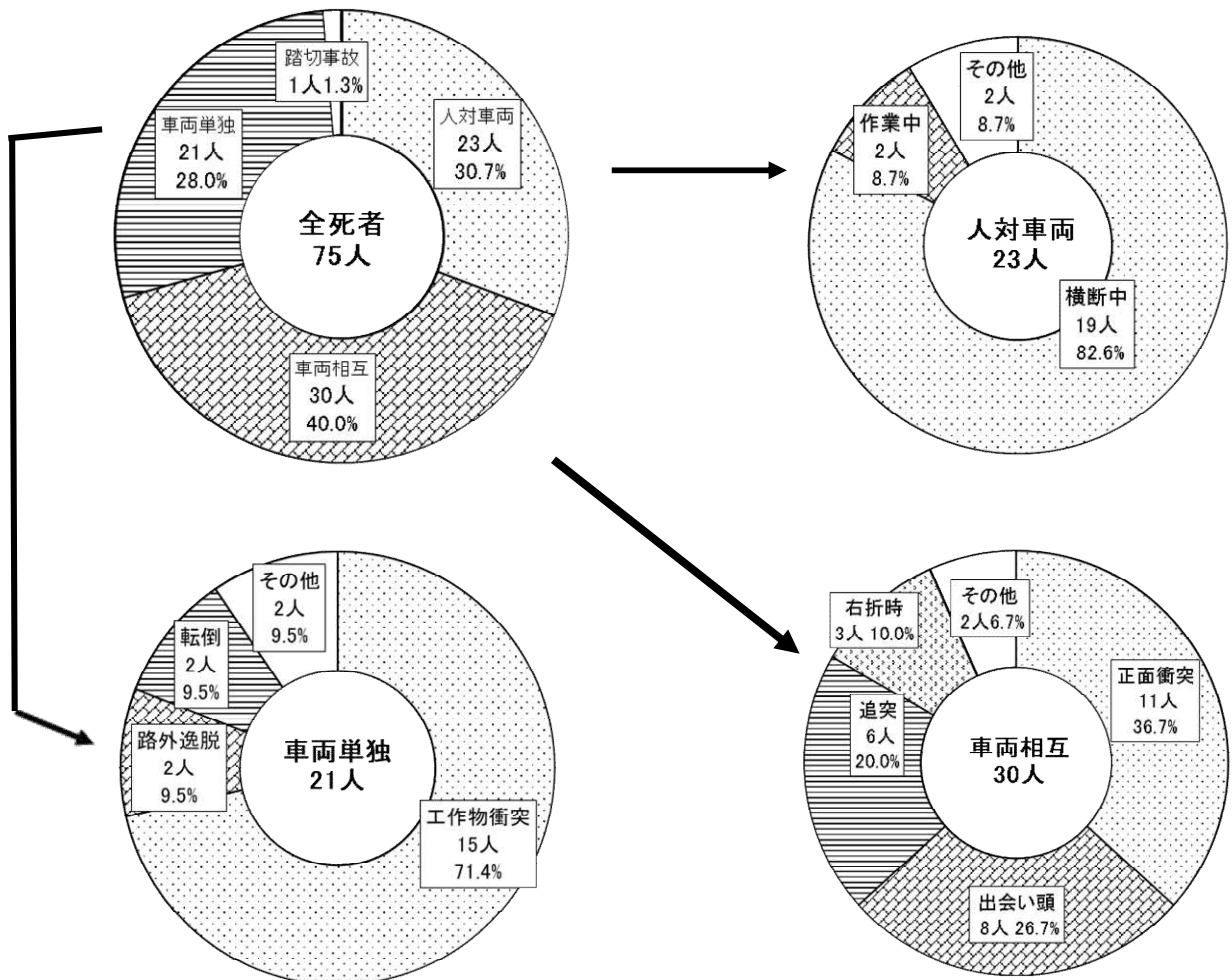


各、事故類型で見ると

人対車両…横断中が19人と最も多く82.6パーセントを占めている。

車両相互…正面衝突が11人と最も多く36.7パーセントを占めている。

車両単独…工作物衝突が15人と最も多く71.4パーセントを占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

自動車運転の死者は 31 人で全死者の 41.3 パーセントを占め一番多い。次いで歩行中の 24 人 (32.0%) が続いている。 (単位：人・%)

区分	状態	自動車			自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中		歩行中		その他	合計
		運転中		同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	1当	2当		
		1当	2当		1当	2当									
死者		27	4	6	5	1		2	1	2	3	1	23		75
構成率(%)		36.0	5.3	8.0	6.7	3.0	0.0	2.7	1.3	2.7	4.0	1.3	30.7	0.0	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は 46 人(全死者の 61.3%)で、うち歩行者の死者は 17 人と多く高齢死者の 37.0 パーセントを占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は 24 人中 17 人 (70.8%) と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		乗用車	貨物車	特殊車	同乗	運転	同乗					
16歳未満										1		1
16～19歳					1							2
	20～24					1						2
	25～29				1					1		3
30歳代	30～34					1						3
	35～39											1
40歳代	40～44											1
	45～49			1								3
50歳代	50～54						1					2
	55～59			2						2		6
60歳代	60～64			2						2		5
	65～69			3		4				3		10
70歳代	70～74			2		2				4		11
	75～79			1					2	4		8
80歳以上				2		1	1	3		2	2	17
合計		20	10	1	6	6	0	3	5	24	0	75
内数	子ども									1		1
	幼児											0
	小学生											0
	中学生											0
	高校生						1					1
高齢者				8		7	1	4	1	3	5	17
男性				15		10	1	1	6	2	3	9
女性				5				5		1	2	15

ウ 職業別

無職が 30 人と最も多く全死者の 40.0 パーセントを占め、次いで建設業 8 人、農・林・漁業 7 人の順となっている。

(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		乗用車	貨物車	特殊車	同乗	運転	同乗					
職業運転者				2						1		3
公務員										1		1
農・林・漁業				3		1			3			7
鉱業												0
建設業				4						2		8
製造業				1					2			3
卸・小売業				2		1						3
運輸・郵便業						2						3
金融・保険業												0
電気・ガス・水道業								1				1
サービス業				1					1	3		5
子供										1		1
高校生												1
学生												0
主婦				1						2		5
無職				9		2				4	12	30
その他				2						2		4
合計		20	10	1	6	6	0	3	5	24	0	75

エ 状態別の違反

(ア) 歩行者

歩行者の死者24人のうち、14人(歩行者死者の58.3%)には何らかの違反があり、横断中の違反が8人と多く、違反のある歩行者死者の57.1パーセントを占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号 無視	通行 区分	横断					計	幼 児	ひ と り 歩 の き	め い い て か い い	は 上 作 業	飛 び 出 し	そ の 他	違 反 な し	合 計
			横 断 歩 道 外	斜 め 横 断	駐 停 車 車 両 後	直 前 直 後	走 行 前 後									
1 当			1					1								1
2当以下		1	5				2	7	1	1	2		1	10	23	

(イ) 自転車

自転車乗用中の死者5人のうち4人に何らかの違反がありハンドル操作不適が2人と最も多い。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	右 折 違 反 等	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全 進 行	一 時 不 停 止	灯 火 違 反	酒 酔 い 運 転	徐 行 場 所 違 反	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下					1								1		1	3

(ウ) 原付

原付乗車中の死者3人のうち2人に優先通行妨害の違反が認められた。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	横 断 等 禁 止	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全	徐 行	酒 酔 い 運 転	ハ ン ド ル 操 作 不 適	ブ レ ー キ 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下																	1	1

(エ) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者6人のうち5人に何らかの違反があり、ハンドル操作不適が2人と多い。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全	酒 酔 い 運 転	徐 行	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計	
																	1 当
2当以下																1	1
同 乗																	0

(オ) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者 31 人、同乗中死者 6 人の合計 37 人である。

運転中死者の違反別では、安全運転義務違反が 12 人で最も多く、運転中死者の 38.7 パーセントを占め、車両単独事故においても安全運転義務違反が 7 人と最も多い。

事故類型別では、車両単独による死者が、運転中死者 12 人、同乗中死者 2 人の合計 14 人で、自動車乗車中の死者全体の 37.8 パーセントを占めている。

(単位：人)

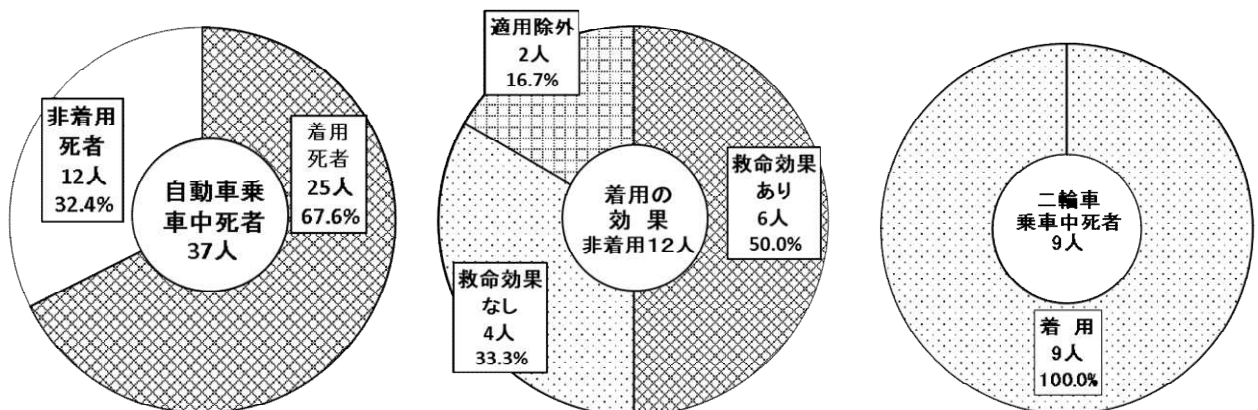
区分	違反	運 転 中															同乗中	合計			
		信号無視	最高速度超過	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安 全 運 転			義 務		その他の違反なし						
										ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度		その他					
当事者	1 当	1	5	3	2		2		1		5	7					1	27	27		
	2 当							1										3	4		
	3 当以下																	0	6		
事故類型	正面衝突		1	3													2	6	2	8	
	追突										5							5	1	6	
	出会い頭	1			1		1											3		3	
	追越・追抜																	0		0	
	転回時								1									1		1	
	右折時						1	1										2	1	3	
	その他																1	1		1	
計	1	1	3	1	0	2	1	1	0	0	5	0	0	0	0	0	3	18	4	22	
型	車両単独		4							5	2							12	2	14	
	列				1													1		1	
合	計	1	5	3	2	0	2	1	1	0	5	7	0	0	0	0	1	3	31	6	37

オ シートベルト・チャイルドシート・ヘルメット着用状況

(ア) シートベルト

自動車乗車中の死者 37 人中、シートベルトを着用していたのは 25 人で、着用率は 67.6 パーセントであった。

また、非着用死者 12 人中、6 人（非着用で死亡した者の 50.0%）はシートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は 9 人であったが、全員ヘルメットを着用していた。

2 歩行者の事故

(1) 概況

交通事故で死傷した歩行者は、

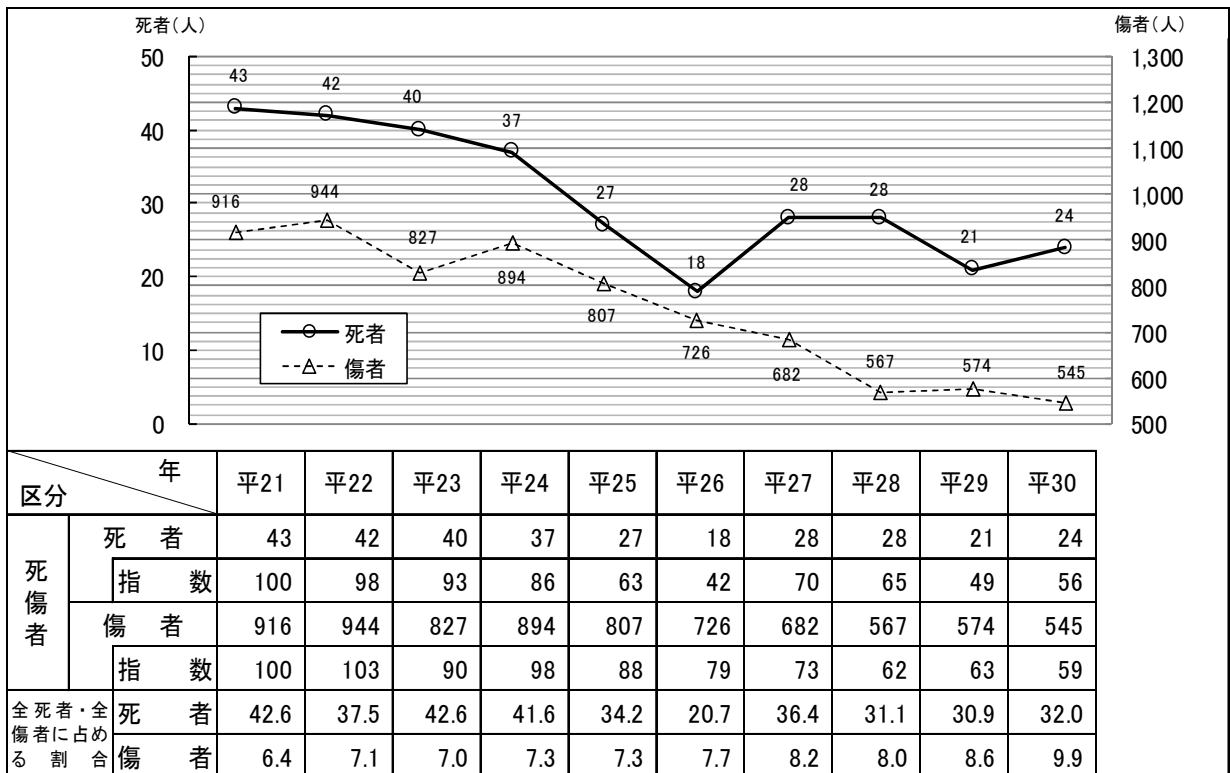
死者数 24人 (前年比 + 3人 14.3%増)

傷者数 545人 (前年比 -29人 5.1%減)

で、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

全死者・全傷者に占める割合は、死者数は32.0パーセントで1.1ポイント増加し、傷者数も9.9パーセントで1.3ポイント増加した。

(単位：人・%)



(2) 月別

死者は12月が7人で最も多く、下半期の死者は15人(62.5%)と過半数を占めている。

傷者数は12月が77人で最も多く、次いで4月の57人、10月の56人の順となっている。

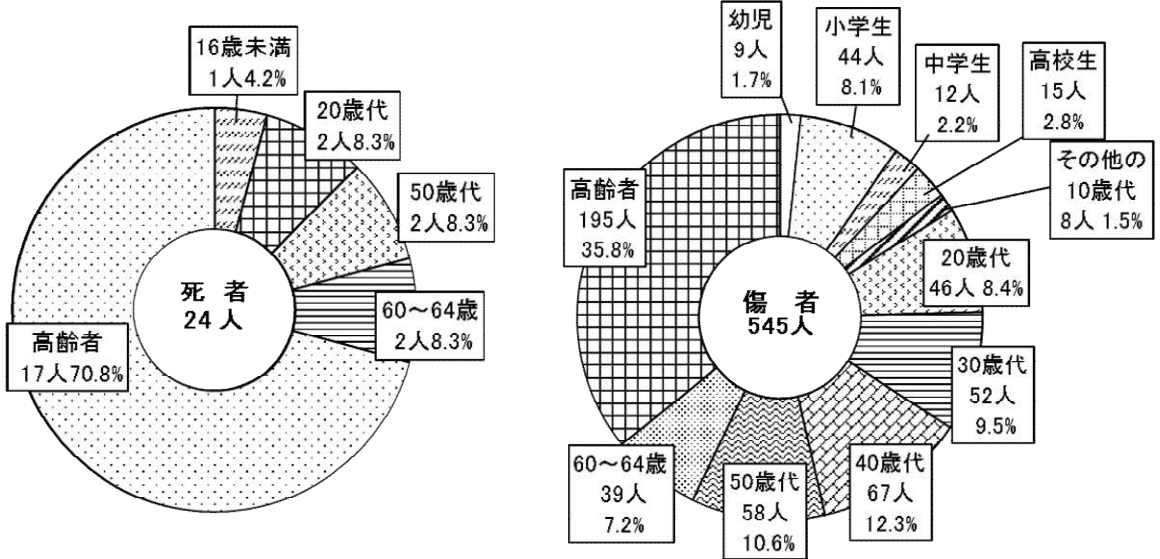
(単位：人・%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		被害	死者	4		1	2	1	1	2	1	2	3	
	傷者	52	43	36	57	51	37	32	27	24	56	53	77	545
全死者・全傷者に占める割合	死者	50.0	0.0	14.3	28.6	25.0	20.0	33.3	20.0	40.0	27.3	0.0	70.0	32.0
	傷者	10.1	9.3	8.7	11.1	10.3	10.3	7.9	6.1	6.3	10.5	12.6	14.2	9.9

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が17人で最も多く、歩行者死者の70.8パーセントを占めている。

傷者も高齢者が195人と最も多く、歩行者傷者の35.8パーセントを占めている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢者死者は70.8パーセントであり、その他の高齢者死者の56.9パーセントの約1.2倍となっている。

歩行者の傷者のうち高齢者の占める割合は35.8パーセントであり、その他の傷者の高齢者が占める割合14.4パーセントの約2.5倍となっている。

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
歩行者の死者	16歳未満	1	4.2	67	12.3	
	16～19歳		0.0	21	3.9	
	20歳代	2	8.3	46	8.4	
	30歳代		0.0	52	9.5	
	40歳代		0.0	67	12.3	
	50歳代	2	8.3	58	10.6	
	60歳代	60～64	2	8.3	39	7.2
		65～69	3	12.5	35	6.4
	70歳代	70～74	4	16.7	46	8.4
		75～79	4	16.7	51	9.4
80歳以上	6	25.0	63	11.6		
合計		24	100.0	545	100.0	

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他の死者	16歳未満	0	0.0	220	4.5	
	16～19歳	2	3.9	247	5.0	
	20歳代	3	5.9	774	15.7	
	30歳代	4	7.8	942	19.1	
	40歳代	4	7.8	925	18.7	
	50歳代	6	11.8	796	16.1	
	60歳代	60～64	3	5.9	323	6.5
		65～69	7	13.7	286	5.8
	70歳代	70～74	7	13.7	195	3.9
		75～79	4	7.8	120	2.4
80歳以上	11	21.6	109	2.2		
合計		51	100.0	4,937	100.0	

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は18～20時の7人が歩行者死者の29.2パーセントを占め最も多く、次いで16～18時の4人となっている。

傷者については、16～18時と18～20時の107人がそれぞれ歩行者傷者の19.6パーセントを占め最も多く、次いで14～16時の59人となっている。 (単位：人・%)

区分 \ 時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者		3		2				3	4	7	2	3	24
構成率(%)	0.0	12.5	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	12.5	16.7	29.2	8.3	12.5	100.0
傷者	13	5	9	38	47	51	48	59	107	107	40	21	545
構成率(%)	2.4	0.9	1.7	7.0	8.6	9.4	8.8	10.8	19.6	19.6	7.3	3.9	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間が20人と多く、歩行者死者の83.3パーセントを占めている。

傷者は昼間が291人と多く、歩行者傷者の53.4パーセントを占めている。 (単位：人・%)

区分 \ 昼夜	昼 間			計	夜 間			計	合計
	薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者		4		4	4	15	1	20	24
構成率(%)	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	62.5	4.2	83.3	100.0
傷者	7	265	19	291	74	173	7	254	545
構成率(%)	1.3	48.6	3.5	53.4	13.6	31.7	1.3	46.6	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が14人と多く、歩行者死者の58.3パーセントを占めている。

傷者は昼間の高齢者、夜間の子ども・高齢者以外が多くなっている。 (単位：人・%)

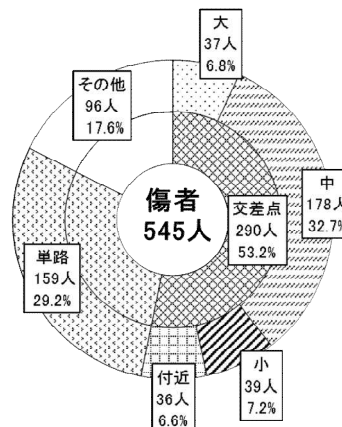
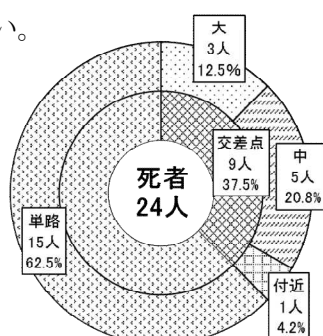
区分 \ 昼夜	昼 間			計	夜 間			計	合計
	子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者		3	1	4	1	14	5	20	24
構成率(%)	0.0	12.5	4.2	16.7	4.2	58.3	20.8	83.3	100.0
傷者	56	122	113	291	9	73	172	254	545
構成率(%)	10.3	22.4	20.7	53.4	1.7	13.4	31.6	46.6	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が15人と多く、62.5パーセントを占めている。交差点での死者は9人で、「大交差点」は3人、「中交差点」は5人、「交差点付近」は1人であった。

傷者は交差点が290人と多く、53.2パーセントを占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は15人で、歩行者死者の62.5パーセントを占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、23人と歩行者死者の95.8%を占め、傷者についても387人で歩行者傷者の71.0パーセントを占めている。

(単位：人)

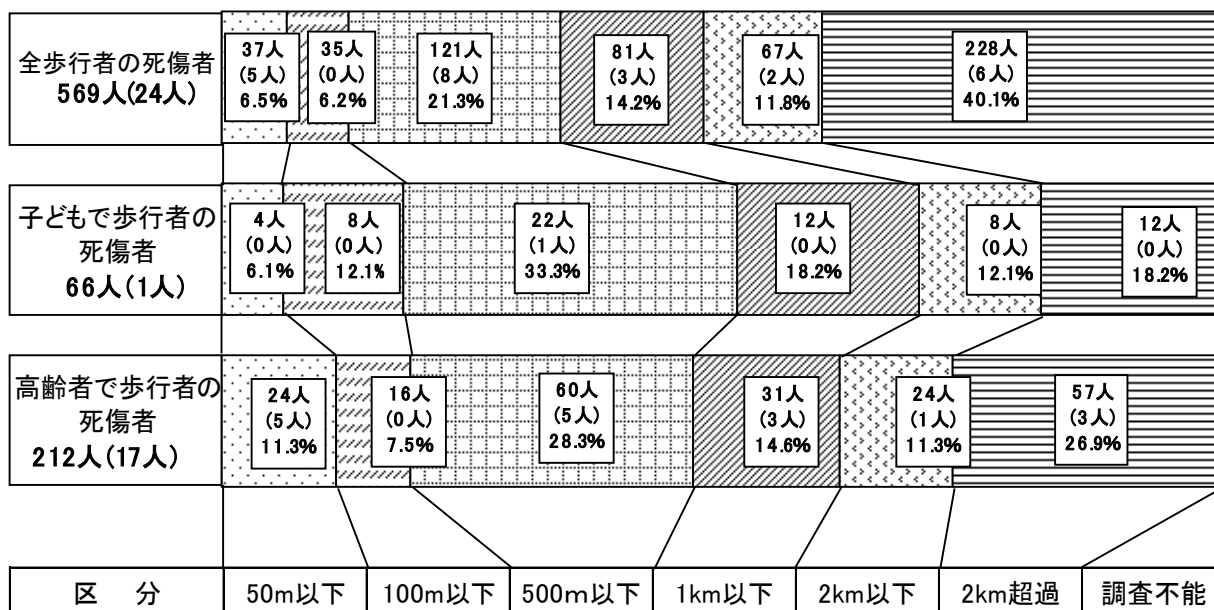
道路形状 信号機、歩車道区別の有無			交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者	3	1			4			4
		傷者	34	115	11	3	163	1		164
信号機なし	信号機なし	死者		4		1	5	15		20
		傷者	3	63	28	33	127	158	96	381
合 計		死者	3	5	0	1	9	15	0	24
		傷者	37	178	39	36	290	159	96	545

歩車道区分あり	防護柵等	死者		1			1			1
		傷者	1	1			2	6		8
	縁石等	死者	3	4			7	12		19
		傷者	34	154	26	22	236	79	3	318
	路側帯	死者				1	1	2		3
		傷者	1	12	6	6	25	36		61
区分なし		死者				0	1		1	
		傷者	1	11	7	8	27	38	93	158
合 計		死者	3	5	0	1	9	15	0	24
		傷者	37	178	39	36	290	159	96	545

ウ 自宅からの距離

自宅から2km超過の死傷者が228人で歩行者死傷者の40.1パーセントを占めている。

また、死者は6人で歩行者死者の25.0パーセントを占めている。

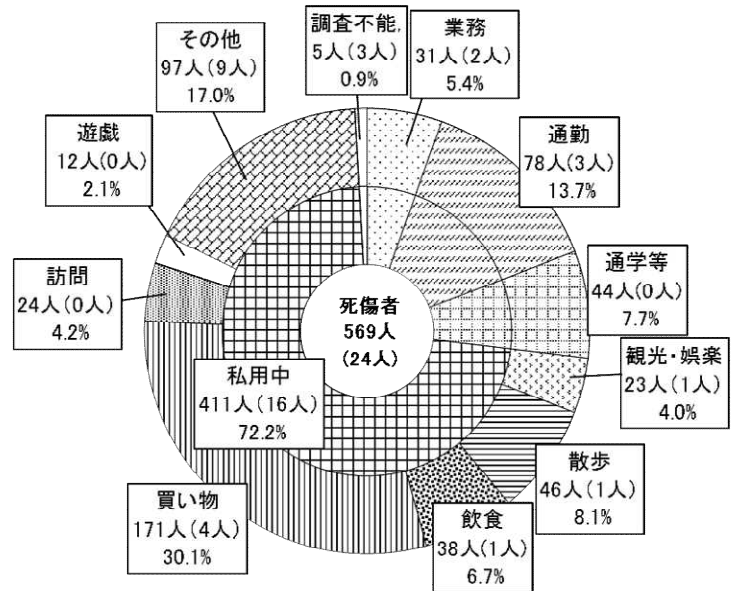


()内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が411人で72.2パーセントを占めている。

うち買い物目的が最も多く171人で30.1パーセントとなっている。



(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は19人で歩行者死者の79.2パーセント、傷者は337人で歩行者傷者の61.8パーセントを占めている。

()内は死者数で内数

(単位：人・%)

状態 区分	人 対 車 両														人 対 車 両 以 外	合 計
	対 面 通 行 中	背 面 通 行 中	横 断 中				計	路 上 遊 戯 中	路 上 作 業 中	路 上 停 止 中	歩 道 通 行 中	路 側 帯 通 行 中	そ の 他			
			横 断 歩 道	横 断 歩 道 付 近	横 断 歩 道 橋 付 近	そ の 他										
死 者	1	0	5	5	0	9	19	0	2	0	0	0	1	1	24	
構成率(%)	4.2	0.0	20.8	20.8	0.0	37.5	79.2	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	100.0	
傷 者	20	48	182	23	1	131	337	1	6	16	14	2	96	5	545	
構成率(%)	3.7	8.8	33.4	4.2	0.2	24.0	61.8	0.2	1.1	2.9	2.6	0.4	17.6	0.9	100.0	

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者19人のうち、交差点での死者は8人で横断中死者の42.1パーセントを占め、交差点内の傷者241人のうち、174人(72.2%)が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

横断歩道等以外のその他横断中の死者は9人で横断中死者の47.4パーセントを占めている。

(単位：人・%)

道路形状 横断場所	交 差 点						計		その他		合 計			
	交差点内		交差点付近		計		その他		計		構成率(%)			
	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者		
横 断 歩 道	5	174			5	174		8	5	182	26.3	54.0		
横 断 歩 道 付 近	3	16		6	3	22	2	1	5	23	26.3	6.8		
横 断 歩 道 橋 付 近					0	0		1	0	1	0.0	0.3		
そ の 他		51		17	0	68	9	63	9	131	47.4	38.9		
合 計	8	241	0	23	8	264	11	73	19	337	100	100		

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は17人(89.5%)、傷者は278人(85.0%)となっている。

「車両の陰から」の傷者は22人で、うち9人(40.9%)は子どもの傷者となっている。

(単位：人・%)

横断場所		車両の陰から			建物から	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
区分								
子ども	死者							1
	傷者	1	7	1	3		2	30
高齢者	死者				1		1	13
	傷者		7		5	1	7	108
その他	死者							3
	傷者	2	2	2	3	1	5	140
合計	死者	0	0	0	1	0	1	17
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	89.5
	傷者	3	16	3	11	2	14	278
	構成率(%)	0.9	4.9	0.9	3.4	0.6	4.3	85.0

(8) 違反別

(単位：人・%)

ア 違反状況を見ると、何らかの違反があった死者は13人で54.2%を占め、傷者は150人で27.5%となっている。

イ 死者の違反は、横断中が8人と多く、違反あり死者の61.5%を含め、次いで路上作業の2人(15.4%)が続いている。

横断中では、横断歩道外横断が6人で最も多く、横断中の違反あり死者の75.0パーセントを占めている。

傷者の違反も横断中が62人と多く、違反あり傷者の41.3パーセントを占めている。

違反	死傷者		傷者		
	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	
信号無視		0.0	6	1.1	
通行区分	1	4.2	28	5.1	
横断中	横断歩道外	6	25.0	34	6.2
	斜め横断		0.0	1	0.2
	駐停車車両直前・直後		0.0	6	1.1
	走行車両直前・直後	2	8.3	19	3.5
	横断禁止場所		0.0	2	0.4
計	8	33.3	62	11.4	
酩酊・徘徊	1	4.2	4	0.7	
路上遊戯		0.0	1	0.2	
路上作業	2	8.3	3	0.6	
飛び出し		0.0	26	4.8	
その他の違反	1	4.2	20	3.7	
違反なし	11	45.8	395	72.5	
合計	24	100.0	545	100.0	

3 自転車の事故

(1) 概況

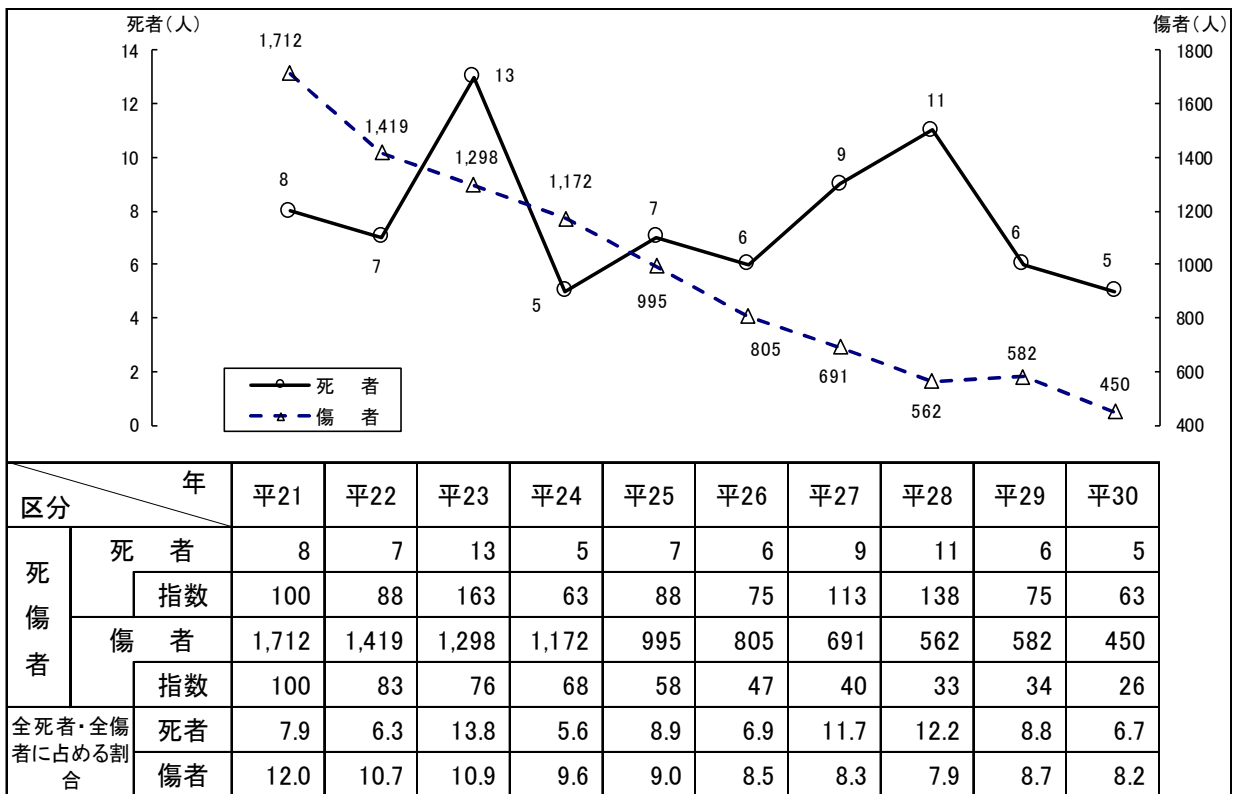
交通事故で死傷した人は

死者数 5人 (前年比 -1人 16.7%減)

傷者数 450人 (前年比 -132人 22.7%減)

で、死者数、傷者数ともに減少した。

全死者数に占める割合は6.7パーセントで2.1ポイントの減少、全傷者数に占める割合は8.2パーセントで0.5ポイント減少した。 (単位：人・%)



(2) 月別

死者数は8月に2人、3月、4月、6月に各1人となっている。傷者は、12月が52人と最も多く、次いで10月の48人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死傷者数は下半期が多い。

(単位：人・%)

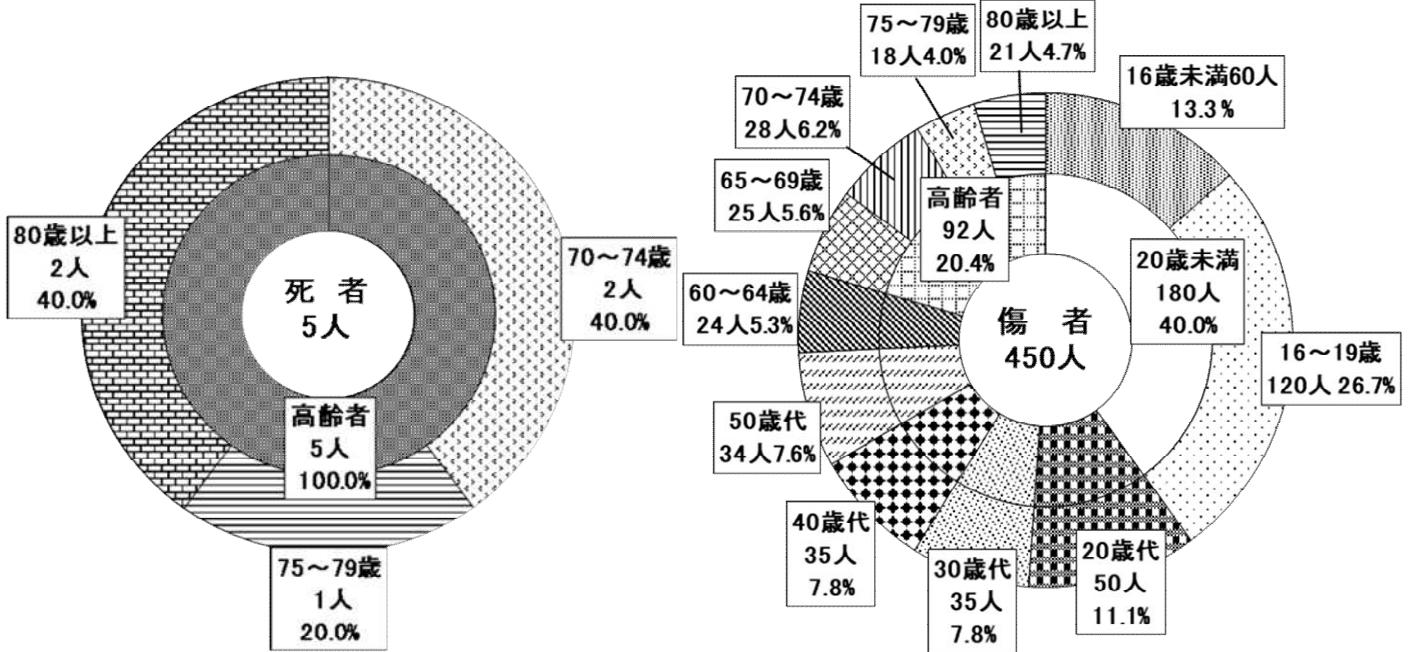
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者			1	1		1		2					5
	傷者	23	27	27	41	46	35	44	41	28	48	38	52	450
全死傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	傷者	4.5	5.9	6.5	8.0	9.3	9.7	10.8	9.3	7.3	9.0	9.0	9.6	8.2

(3) 年齢別

ア 年齢別

自転車死者5人が全て高齢者であった。

傷者は20歳未満が180人と多く、自転車傷者の40.0パーセントを占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、20歳未満がその他の死傷者より、自転車の死傷者の占める割合が高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	死 者		傷 者		
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	
自転車	16歳未満	0	0.0	60	13.3	
	16～19歳	0	0.0	120	26.7	
	20歳代	0	0.0	50	11.1	
	30歳代	0	0.0	35	7.8	
	40歳代	0	0.0	35	7.8	
	50歳代	0	0.0	34	7.6	
	60歳代	60～64	0	0.0	24	5.3
		65～69	0	0.0	25	5.6
	70歳代	70～74	2	40.0	28	6.2
		75～79	1	20.0	18	4.0
80歳以上	2	40.0	21	4.7		
合 計		5	100.0	450	100.0	
死者	内 訳	幼 児	0	0.0	3	0.7
		小 学 生	0	0.0	8	1.8
		中 学 生	0	0.0	29	6.4
		高 校 生	0	0.0	122	27.1
		高 齢 者	5	100.0	92	20.4

(単位：人・%)

年齢	区分	死 者		傷 者		
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	
その他	16歳未満	1	1.4	227	4.5	
	16～19歳	2	2.9	148	2.9	
	20歳代	5	7.1	770	15.3	
	30歳代	4	5.7	959	19.1	
	40歳代	4	5.7	957	19.0	
	50歳代	8	11.4	820	16.3	
	60歳代	60～64	5	7.1	338	6.7
		65～69	10	14.3	296	5.9
	70歳代	70～74	9	12.9	213	4.2
		75～79	7	10.0	153	3.0
80歳以上	15	21.4	151	3.0		
合 計		70	100.0	5,032	100.0	
傷者	内 訳	幼 児	1	1.4	69	1.4
		小 学 生	0	0.0	113	2.2
		中 学 生	0	0.0	39	0.8
		高 校 生	1	1.4	59	1.2
		高 齢 者	41	58.6	813	16.2

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は6～12時の間に3人で、自転車死者の60.0パーセンを占め、次いで14～16時、20～22時に各1人となっている。

傷者は16～18時が79人で、自転車傷者の17.6パーセントを占め最も多く、次いで18～20時の71人の順となっている。

(単位：人・%)

区分	時間	時間											合計	
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22		22-24
死者					1	1	1		1			1		5
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0
傷者			1	4	67	69	46	32	53	79	71	21	7	450
	構成率(%)	0.0	0.2	0.9	14.9	15.3	10.2	7.1	11.8	17.6	15.8	4.7	1.6	100.0

イ 昼夜別

昼間の死者は4人、傷者は334人と死者、傷者ともに昼間が多い。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者			4		4		1		1	5
	構成率(%)	0.0	80.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	20.0	100.0
傷者		12	290	32	334	41	68	7	116	450
	構成率(%)	2.7	64.4	7.1	74.2	9.1	15.1	1.6	25.8	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼間の高齢者が4人で80.0パーセント、夜間の高齢者が1人で20.0パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者			4		4		1		1	5
	構成率(%)	0.0	80.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	20.0	100.0
傷者		37	74	223	334	3	18	95	116	450
	構成率(%)	8.2	16.4	49.6	74.2	0.7	4.0	21.1	25.8	100.0

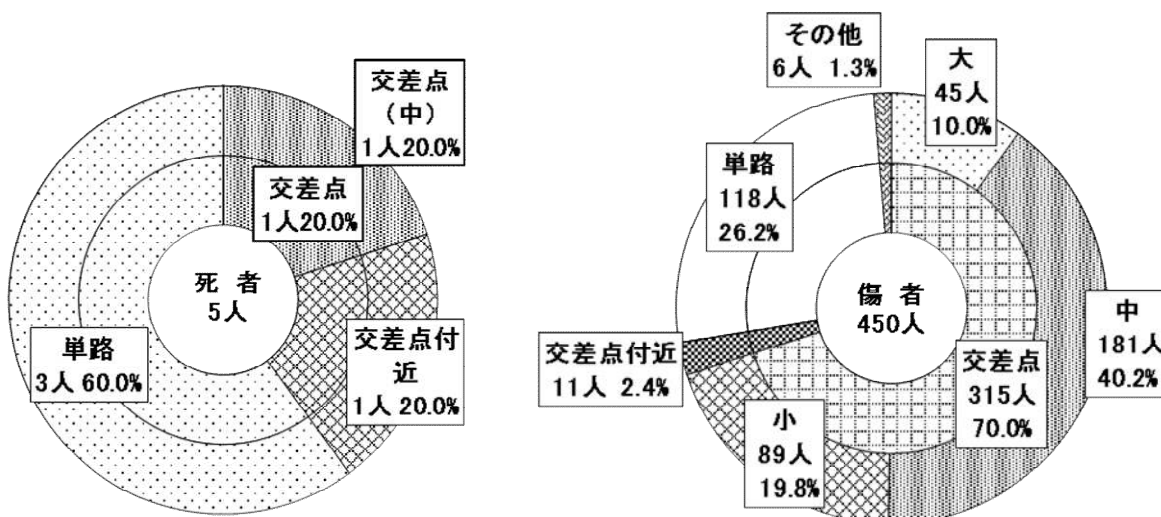
傷者は、昼間のその他が223人と多く、自転車傷者の49.6パーセントを占めている。

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は、単路が3人で自転車死者の60.0パーセントを占め、傷者は交差点が315人で自転車傷者の70.0パーセントを占めている。

交差点の大きさで見ると、傷者は「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は、信号機の無い交差点で2人、単路で3人となっている。 (単位：人)

信号機の有無		道路形状		交 差 点				計	単路	その他	合 計
				大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者						0			0
		傷者	39	70	4	1	114	1		115	
	信号機なし	死者		1		1	2	3		5	
		傷者	6	111	85	10	212	117	6	335	
合 計		死者	0	1	0	1	2	3	0	5	
		傷者	45	181	89	11	326	118	6	450	

(6) 道路形状別・事故類型別

死者は交差点で2人、その他で3人となっており、傷者は交差点で326人(72.4%)と交差点が多くなっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭による死者が3人(60.0%)と多く、傷者も出会い頭252人(56.0%)となっている。

(単位：人・%)

道路形状		事故類型		交 差 点				計	その他		合 計			
				交差点内		交差点付近					構成率(%)			
				死者	傷者	死者	傷者				死者	傷者	死者	傷者
人 対 車 両						0	0			0	0	0.0	0.0	
車 両 相 互	正 面 衝 突				1	0	1		5	0	6	0.0	1.3	
	追 突				1	0	1		11	0	12	0.0	2.7	
	出 会 い 頭	1	183	1	4	2	187	1	65	3	252	60.0	56.0	
	追 越 ・ 追 抜		1			0	1		11	0	12	0.0	2.7	
	転 回 ・ 後 退 時				3	0	3		4	0	7	0.0	1.6	
	進 路 変 更 時					0	0		1	0	1	0.0	0.2	
	す れ 違 い 時				1	0	1		3	0	4	0.0	0.9	
	左 折 時		62			0	62		15	0	77	0.0	17.1	
右 折 時		68			0	68		7	0	75	0.0	16.7		
そ の 他		1		1	0	2		2	0	4	0.0	0.9		
計		1	315	1	11	2	326	1	124	3	450	60.0	100.0	
車 両 単 独						0	0	2		2	0	40.0	0.0	
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0	
合 計		1	315	1	11	2	326	3	124	5	450	100.0	100.0	

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、死者は高齢者の500m以内が多く、傷者は子供の101m～1km、高齢者の501m～2km、2km超過、その他の2km超過が多い。

(単位：人・%)

区分	距離	50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合 計
子 供		2	1	10	10	9	7		39
	構成率(%)	5.1	2.6	25.6	25.6	23.1	17.9	0.0	100.0
高 齢 者	①	4	4	② 20	25	① 19	① 25		⑤ 97
	構成率(%)	4.1	4.1	20.6	25.8	19.6	25.8	0.0	100.0
そ の 他		2	6	27	59	74	149		317
	構成率(%)	0.6	1.9	8.5	18.6	23.3	47.0	0.0	100.0
合 計	①	8	11	② 57	94	① 102	① 181		⑤ 453
	構成率(%)	1.8	2.4	12.6	20.8	22.5	40.0	0.0	100.0

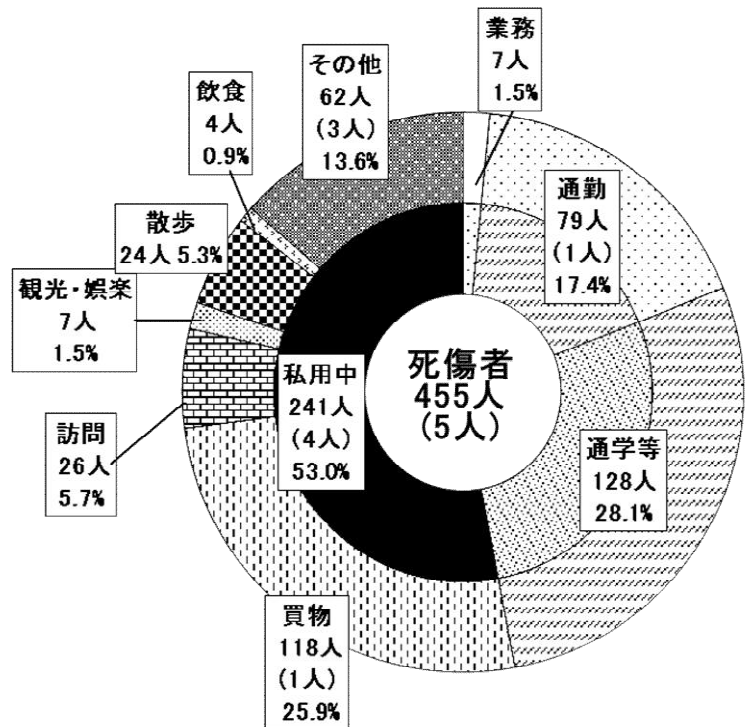
○は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が241人で、53.0パーセントを占めている。

なかでも買物が118人で、25.9パーセントを占めている。

通学等が128人（28.1%）、通勤が79人（17.4%）と多い。



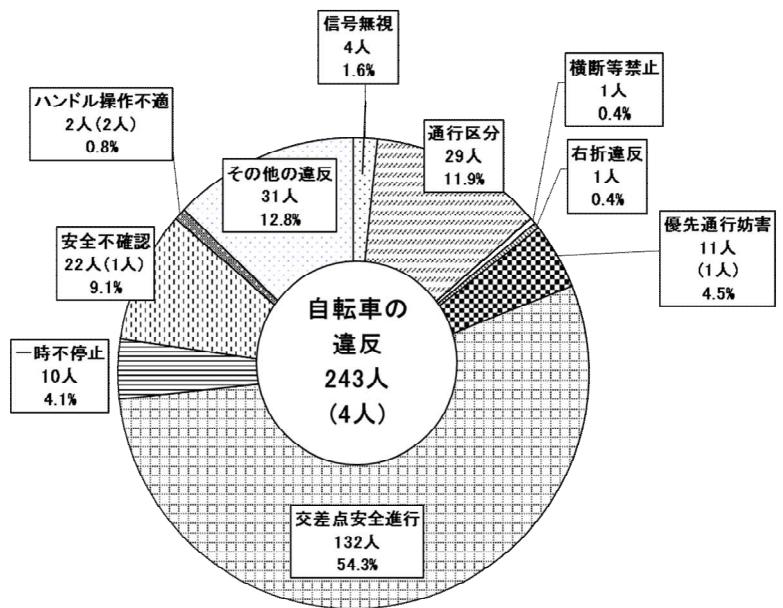
()内は死者数で内数

(9) 違反別

死者のうち何らかの違反があったのは4人（80.0%）、同じく傷者では239人（53.3%）となっている。

(単位：人・%)

違反	死 者		傷 者	
	人数	構成率	人数	構成率
信号無視		0.0%	4	0.9%
通行区分		0.0%	29	6.5%
横断等禁止		0.0%	1	0.2%
右折違反		0.0%	1	0.2%
優先通行妨害	1	20.0%	10	2.2%
交差点安全進行		0.0%	132	29.5%
徐行違反		0.0%		0.0%
一時不停止		0.0%	10	2.2%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	1	20.0%	21	4.7%
ハンドル操作不適	2	40.0%		0.0%
その他の違反		0.0%	31	6.9%
違反なし	1	20.0%	209	46.7%
合 計	5	100.0%	448	100.0%



()内は死者数で内数

内数	夜間事故		うち無灯火	
	人数	割合	人数	割合
	1	20.0%	116	25.9%
		0.0%	18	15.5%

※同乗者は含まない

4 子供の事故

(1) 概況

交通事故により死傷した子供は、

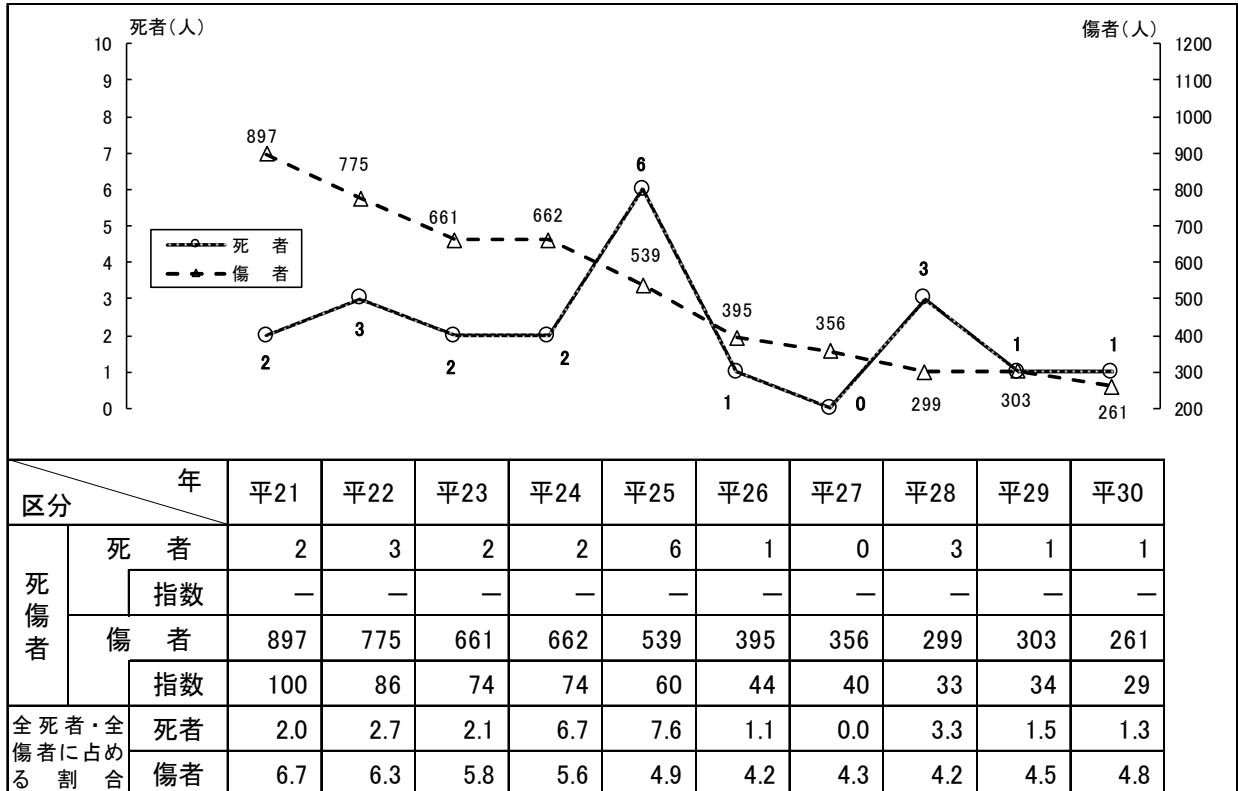
死者数 1人（前年比 ±0人 増減なし）

傷者数 261人（前年比 -42人 13.9%減）

で、死者数は増減なく、傷者数は減少した。

全死者に占める割合は1.3パーセントで、0.2ポイント減少し、全傷者に占める割合は4.8パーセントで0.3ポイント増加した。

（単位：人・％）



(2) 月別

死者は10月に1人で、傷者数は4月の35人が最も多く、次いで8月の28人の順となっている。

（単位：人・％）

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者											1			1
	傷者		26	10	24	35	24	21	17	28	17	21	17	21	261
全死者・全傷者に占める割合	死者		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	1.3
	傷者		5.1	2.2	5.8	6.8	4.9	5.8	4.2	6.3	4.5	3.9	4.0	3.9	4.8

(3) 状態別

死者は歩行者1名で、傷者は自動車同乗中の154人（59.0%）が最も多く、次いで歩行者の65人（24.9%）の順となっている。

（単位：人・%）

区分	状態	自動車同乗中		自動二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
		同乗中		運 転	同 乗	運 転	同 乗	運 転	同 乗			
死 者										1		1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
傷 者		154	1					39	1	65	1	261
	構成率(%)	59.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.9	0.4	24.9	0.4	100.0

(4) 状態別・学齢別

（単位：人）

死傷者は、幼稚園児の43人が最も多く、次いで未就園児30人、中学3年生28人の順となっている。

歩行者の傷者は、小学1年生の10人が最も多く、次いで小学2年生の9人、小学5年生の8人の順となっている。

自転車の傷者は、中学生3年生の13人が最も多く、次いで中学1年生、中学2年生の8人の順となっている。

学 齢	状 態	歩行者		自転車		その他		合 計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼 児	未 就 園 児	1	2		1		26	1	29
	幼 稚 園 児		7		2		34	0	43
	計	1	9	0	3	0	60	1	72
小 学 生	1 年 生		10				14	0	24
	2 年 生		9		1		11	0	21
	3 年 生		7		2		8	0	17
	4 年 生		6				8	0	14
	5 年 生		8		2		12	0	22
	6 年 生		4		3		16	0	23
	計	0	44	0	8	0	69	0	121
中 学 生	1 年 生		6		8		7	0	21
	2 年 生		5		8		6	0	19
	3 年 生		1		13		14	0	28
	計	0	12	0	29	0	27	0	68
	合 計	1	65	0	40	0	156	1	261

(5) 時間別・昼夜別

（単位：人・%）

傷者は昼間が多く80.8パーセントを占めている。

時間別で、傷者は、下校時間帯及び放課後となる16～18時の58人が最も多く、次いで14～16時の54人の順となっている。

区分	昼夜	昼 間		夜 間		合 計	
		薄 暮		薄 暮		薄 暮	
死 者				1	1	1	1
	構成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
傷 者		211	17	50	18	261	35
	構成率(%)	80.8	6.5	19.2	6.9	100.0	13.4

* 薄暮時は内数

（単位：人・%）

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合 計
死 者										1				1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷 者			1	1	28	25	22	31	54	58	30	8	3	261
	構成率(%)	0.0	0.4	0.4	10.7	9.6	8.4	11.9	20.7	22.2	11.5	3.1	1.1	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢で見ると、幼児、小学生は、買物での被害が多く、中学生は登下校時の被害が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が8.2パーセント、小学生は20.8パーセント、中学生は39.7パーセントとなっている。
(単位：人・%)

通行目的	学齢	幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)
通学等	登 校	5	6.8	9	7.5	15	22.1	29	11.1
	学 業 中		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	下 校	1	1.4	16	13.3	12	17.6	29	11.1
私 用	観 光 ・ 娯 楽	4	5.5	6	5.0	2	2.9	12	4.6
	ド ラ イ ブ	2	2.7	1	0.8	3	4.4	6	2.3
	散 歩	1	1.4	4	3.3	3	4.4	8	3.1
	飲 食	4	5.5	5	4.2		0.0	9	3.4
	買 物	20	27.4	22	18.3	14	20.6	56	21.5
	訪 問	6	8.2	15	12.5	5	7.4	26	10.0
	帰 省	4	5.5	3	2.5	1	1.5	8	3.1
	遊 戯 (路 上)		0.0	8	6.7	2	2.9	10	3.8
	疾 病 徘 徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	そ の 他	① 26	35.6	31	25.8	11	16.2	① 68	26.1
	調 査 不 能		0.0		0.0		0.0	0	0.0
合 計	① 73	100.0	120	100.0	68	100.0	① 261	100.0	

○は死者で内数、通行目的が道路外の人等は除く

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

(単位：人・%)

子供の死傷者のうち58.4パーセントが、
交差点で事故にあっている。

学齢と道路形状で見ると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、小学生歩行者の交差点事故が26人と多い。

形状	区分	歩行者	自転車	その他	合 計
交 差 点	人数	① 37	28	88	① 153
	構成率(%)	24.2	18.3	57.5	
単 路	人数	21	11	63	95
	構成率(%)	22.1	11.6	66.3	
駐 車 場 等	人数	8	1	5	14
	構成率(%)	57.1	7.1	35.7	
合 計	人数	① 66	40	156	① 262
	構成率(%)	25.2	15.3	59.5	

○は死者で内数

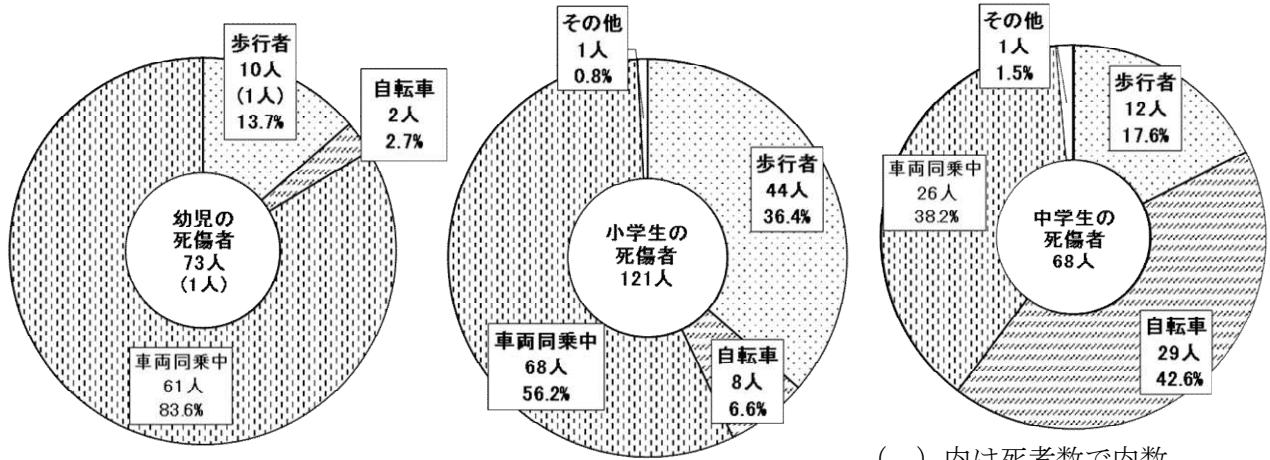
(単位：人)

学齢	区分	交 差 点				単 路				駐 車 場 等			
		歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計
幼 児	①	4	3	35	① 42	2		23	25	4		2	6
小 学 生		26	6	38	70	15	2	28	45	3		3	6
中 学 生		7	19	15	41	4	9	12	25	1	1		2
合 計	①	37	28	88	① 153	21	11	63	95	8	1	5	14

○は死者で内数

イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く83.6パーセントを占め、小学生についても半数を超えるなど比率が高くなっている。



()内は死者数で内数

ウ 自宅からの距離

子供の死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から500メートル以内での事故が51.5パーセントを占め、自転車乗車中についても自宅から500メートル以内での事故が32.5パーセントを占めている。

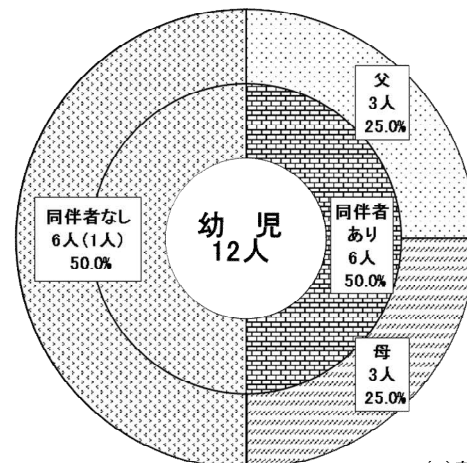
(単位：人・%)

区分 距離	歩行者								自転車								合計	
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計			
	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	
50 m 以下	1	10.0	2	4.5	1	8.3	4	6.1	0.0	1	12.5	1	3.4	2	5.0	6	5.7	
100m 以下		0.0	8	18.2		0.0	8	12.1	1	33.3		0.0		1	2.5	9	8.5	
500m 以下 ^①	3	30.0	15	34.1	4	33.3	① 22	33.3	1	33.3	2	25.0	7	24.1	10	25.0	① 32	30.2
1 km 以下	1	10.0	9	20.5	2	16.7	12	18.2		0.0	3	37.5	7	24.1	10	25.0	22	20.8
2 km 以下	1	10.0	4	9.1	3	25.0	8	12.1		0.0	1	12.5	8	27.6	9	22.5	17	16.0
2 km 超過	4	40.0	6	13.6	2	16.7	12	18.2		0.0	1	12.5	6	20.7	7	17.5	19	17.9
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0	1	33.3		0.0		0.0	1	2.5	1	0.9
合計 ^①	10	100.0	44	100.0	12	100.0	① 66	100.0	3	100.0	8	100.0	29	100.0	40	100.0	① 106	100.0

○は死者で内数

エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故にあった傷者12人のうち、「同伴者あり」と「同伴者なし」は半数ずつとなっている。同伴者は父親と母親が各3人となっている。



()内は死者数で内数
自転車同乗者は除く

(8) 事故類型

ア 歩行者

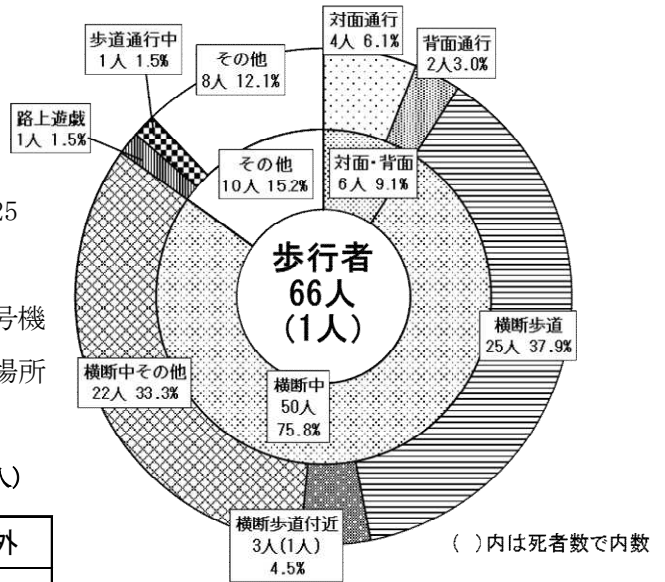
事故類型別では横断中が50人と多く歩行者被害の75.8パーセントを占め、中でも横断歩道での傷者が25人と多く横断中傷者の半数を占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、横断歩道以外の信号機のない場所で小学生の傷者が目立っている。

(単位：人)

学齢	横断場所	横断歩道		横断歩道以外	
		信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児		1	1		① 4
小学生		6	10	1	18
中学生		6	1		2

○は死者で内数



イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が27人で、自転車乗用中の67.5パーセントを占め最も多く、次いで左折時の8人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が28人と多く、自転車乗用中傷者の70.0パーセントを占めている。

(単位：人・%)

事故類型	道路形状等	交差点		計	その他	合計		幼児		小学生		中学生	
		交差点内	交差点付近			構成率(%)	交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他	
人対車両				0		0	0.0						
車両相対	正面衝突			0		0	0.0						
	追突			0		0	0.0						
	出会い頭	20		20	7	27	67.5	2		5	2	13	5
	両追越・追抜	1		1	1	2	5.0					1	1
	転回・後退時			0		0	0.0						
	進路変更・すれ違い時			0		0	0.0						
	右折時	3		3		3	7.5						3
互左折時	左折時	4		4	4	8	20.0	1		1			2
	その他			0		0	0.0						4
	計	28	0	28	12	40	100.0	3	0	6	2	23	6
車両単独				0		0	0.0						
列車				0		0	0.0						
合計		28	0	28	12	40	100.0	3	0	6	2	23	6

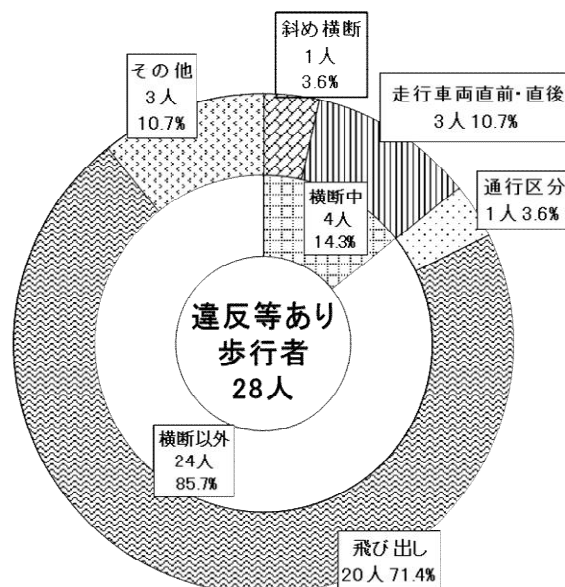
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の死傷者66人のうち、何らかの違反が認められた者は28人で、子供の歩行中事故の42.4パーセントを占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが20人と最も多く、違反のあった歩行者の71.4パーセントを占めている。

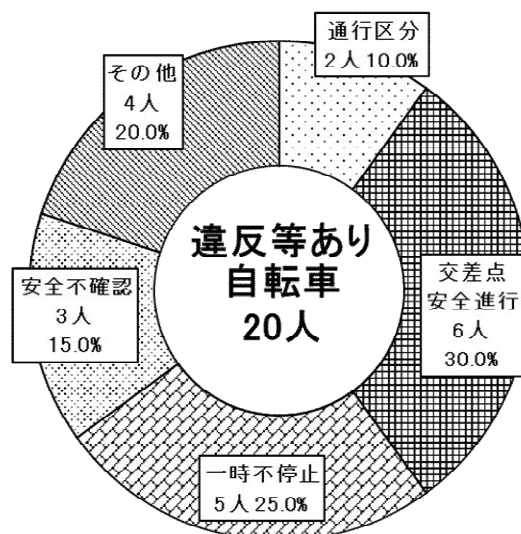
歩 行 者	幼 児	違反あり 4人 40.0%	6人 60.0%
	小 学 生	22人 50.0%	22人 50.0%
	中 学 生	2人 16.7%	10人 83.3%
	子 ど も 以 外	135人 26.8%	368人 73.2%



イ 自転車

自転車の傷者40人のうち、何らかの違反が認められたのは20人で自転車傷者数の50.0パーセントを占めている。違反の内容をみると交差点安全進行義務違反が6人（30.0%）で最も多く、次いで一時不停止の5人（25.0%）が続いている。

自 転 車	幼 児	違反あり 2人 66.7%	1人 33.3%
	小 学 生	6人 75.0%	2人 25.0%
	中 学 生	12人 41.4%	17人 58.6%
	子 ど も 以 外	223人 53.7%	192人 46.3%



5 高校生の事故

(1) 高校生の事故

ア 概況

高校生が第1当事者となった事故は、

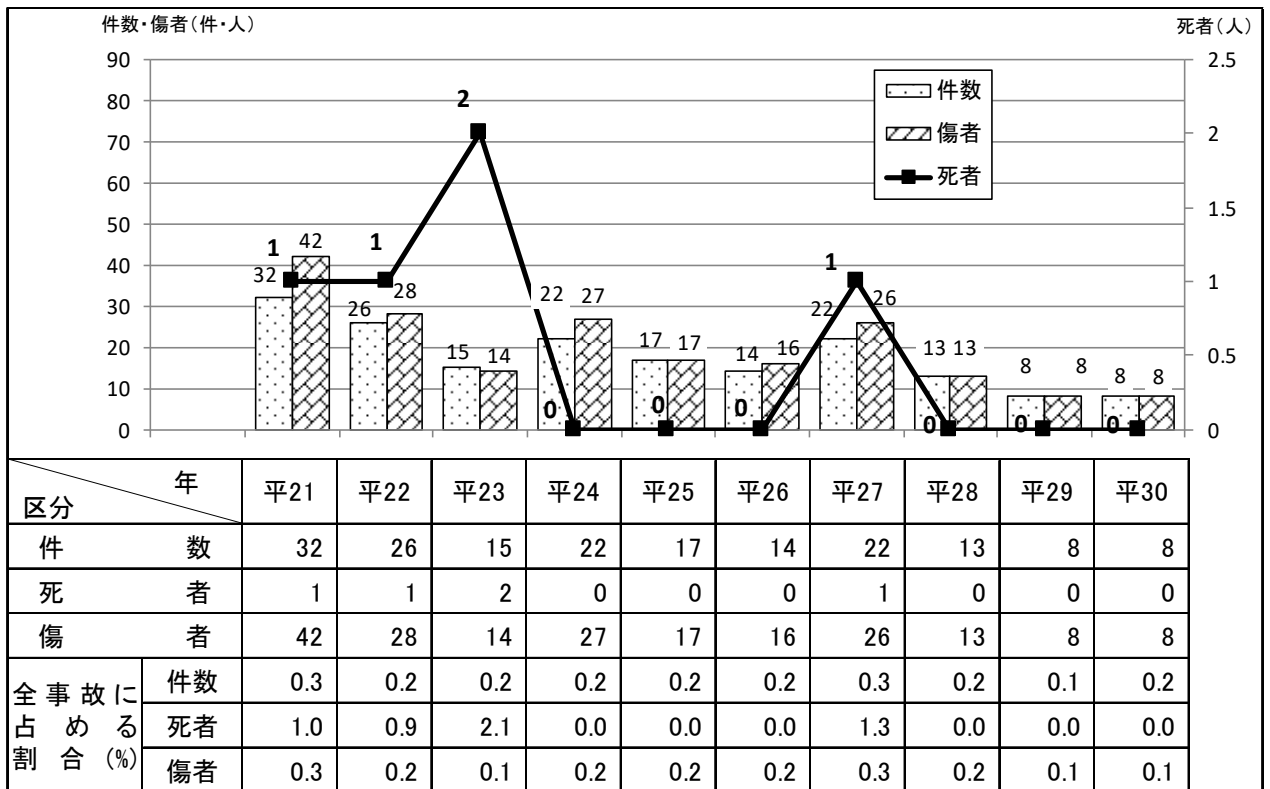
発生件数 8件 (前年比 ±0件 増減なし)
 死者数 0人 (前年比 ±0人 増減なし)
 傷者数 8人 (前年比 ±0人 増減なし)

で、発生件数、死傷者ともに同数であった。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成21年の32件で、平成30年の8件は平成21年と比べると75.0%減少している。

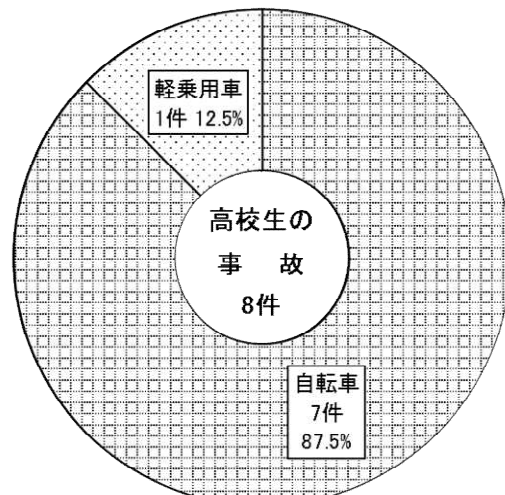
死者は、平成23年の2人が最も多く、平成21、22、27年は1人、他は0人となっている。

(単位：件・人・%)



イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、自転車7件で87.5%を占め、次いで、軽乗用車の1件(12.5%)となっている。



ウ 違反別

悪質違反による事故は5件で62.5%を占め、一時不停止3件、信号無視2件となっている。
安全運転義務違反による事故は2件で、前方不注意が2件となっている。

(単位：件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)			構成率 (%)	構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	2	25.0	215	4.7	安全運転義務違反	徐行違反		0.0	21	0.5
	最高速度		0.0	12	0.3		ハンドル・ブレーキ		0.0	326	7.1
	通区・追越		0.0	113	2.5		前方不注意	2	25.0	1,054	23.0
	歩行者妨害等		0.0	347	7.6		動静不注意		0.0	706	15.4
	一時不停止	3	37.5	253	5.5		安全不確認		0.0	571	12.4
	酒酔い運転		0.0	7	0.2		安全速度		0.0	60	1.3
計	5	62.5	947	20.6	その他		0.0	30	0.7		
横断禁止等		0.0	106	2.3	計	2	25.0	2,747	59.8		
右・左折違反		0.0	35	0.8	その他	1	12.5	75	1.6		
優先通行妨害等		0.0	435	9.5	合計	8	100.0	4,592	100.0		
交差点安全進行		0.0	226	4.9	無免許(内数)		0.0	19	0.4		

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、悪質違反が62.5パーセントで約3倍となっている。

違反	悪質違反	安全運転義務違反	その他
高校生による事故	5件 62.5%	2件 25.0%	1件 12.5%
全事故	947件 20.6%	2,747件 59.8%	898件 19.6%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は自転車による事故が6件交差点で発生し、全事故の75.0パーセントを占めている。

(単位：件)

当事者	道路形状	交差点		その他	合計	カーブ(内数)	
		付近(内数)				右	左
自動車				1	1		
二輪車	小型二輪				0		
	軽二輪				0		
	原付二種				0		
	原付				0		
計		0	0	0	0	0	0
自転車		6	0	1	7		
歩行者					0		
合計		6	0	2	8	0	0

(2) 高校生の被害

ア 概況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数 1人（前年比 +1人）

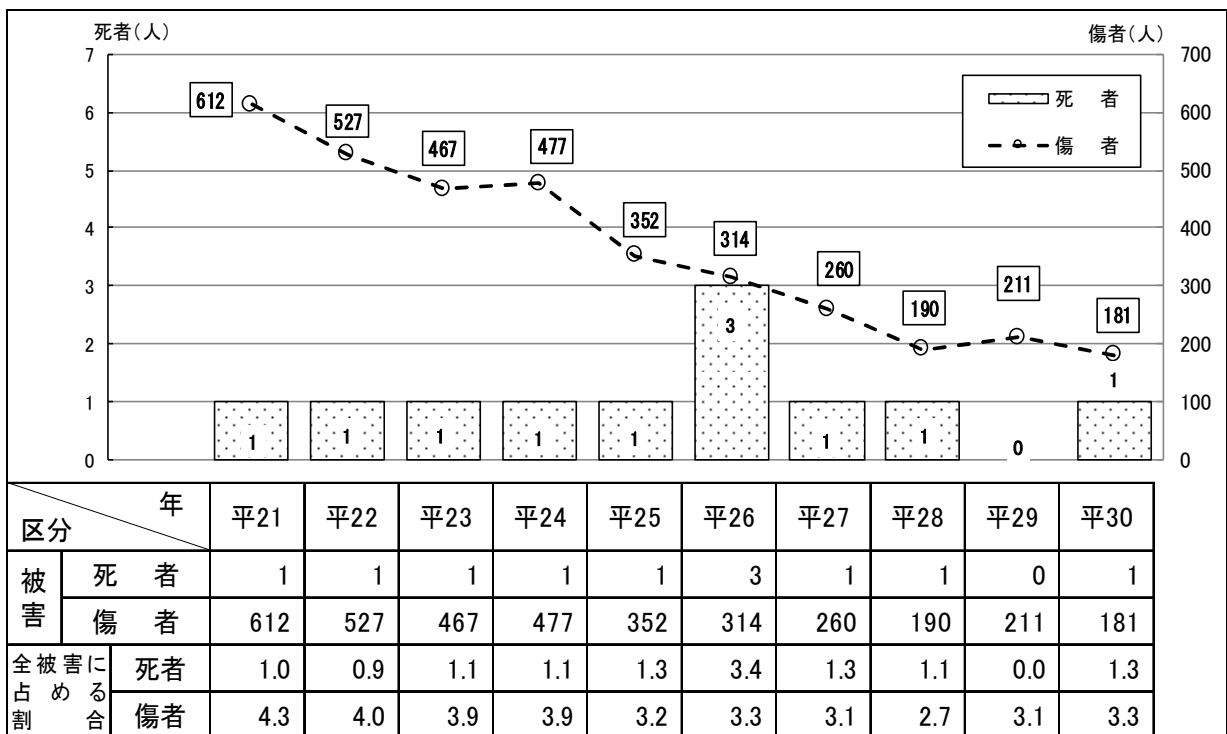
傷者数 181人（前年比 -30人 14.2%減）

で、傷者数は減少したが死者数は増加した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成26年の3人で、その他は平成29年を除き1人が亡くなっている。

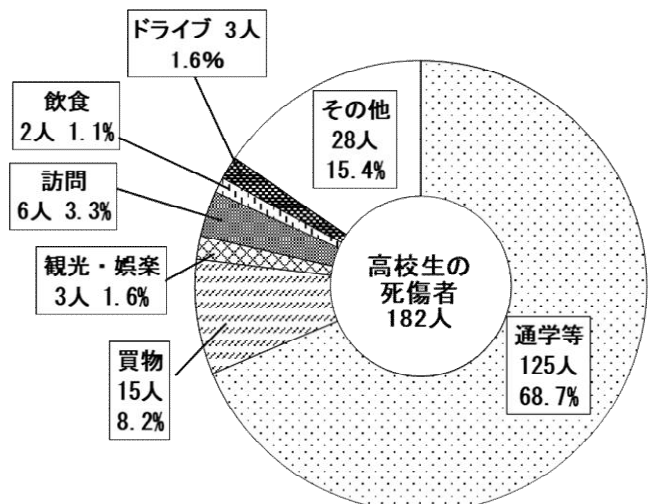
傷者が最も多いのは平成21年の612人で、最も少ないのは平成30年の181人となっている。

（単位：人・%）



イ 通行目的

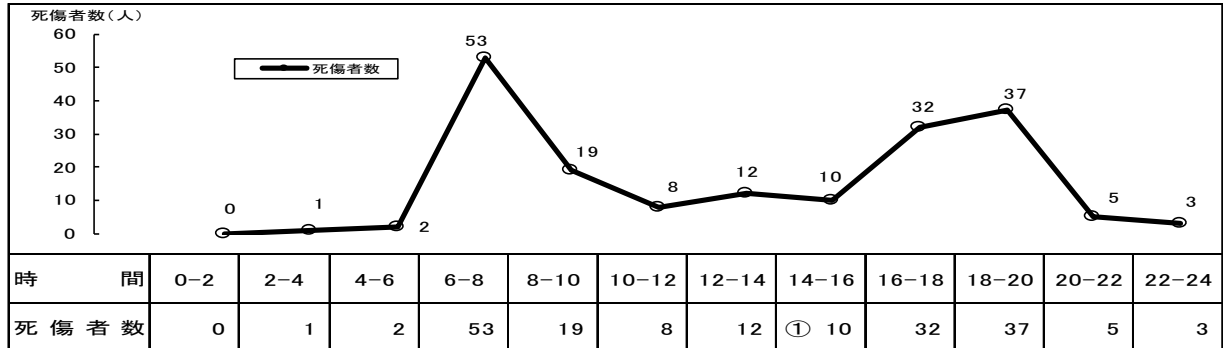
通学等の死傷者は125人で高校生死傷者の68.7パーセントを占め最も多く、次いで買物の15人となっている。



ウ 時間別

死傷者数は、登・下校時間帯、特に6～8時が53人、18～20時が37人と多く、この時間帯の死傷者は、高校生死傷者の49.5パーセントを占めている。

(単位：人)



(注) ○は死者数で内数

エ 状態別

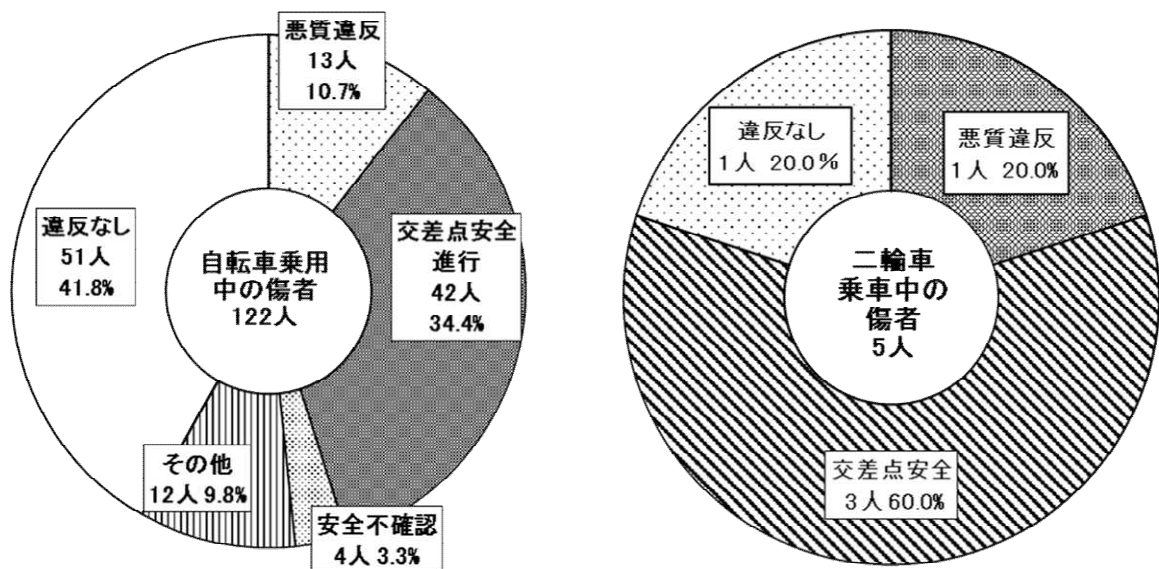
高校生の傷者は自転車乗用中が122人と最も多く高校生傷者の67.4パーセントを占め、次いで自動車同乗中の38人(21.0%)、歩行中の15人(8.3%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車		自動二輪車		原付乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中					
死 者		0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成率(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷 者		1	38	4	0	1	122	15	0	181
	構成率(%)	0.6	21.0	2.2	0.0	0.6	67.4	8.3	0.0	100.0

自転車の違反状況をみると、58.2%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車の違反は悪質違反1人、交差点安全進行義務違反3人である。

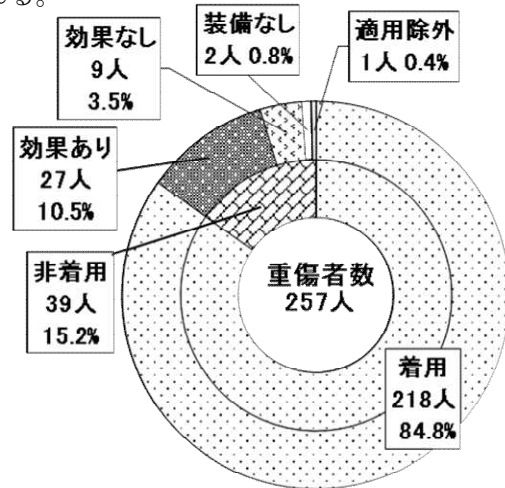
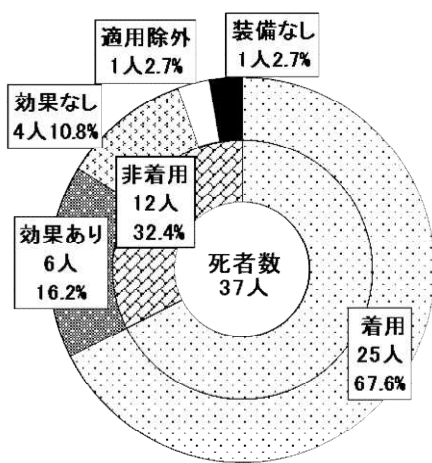


6 自動車のシートベルト着用状況

(1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用率の効果の有無を死者でみると、非着用者12人中6人(50.0%)はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。

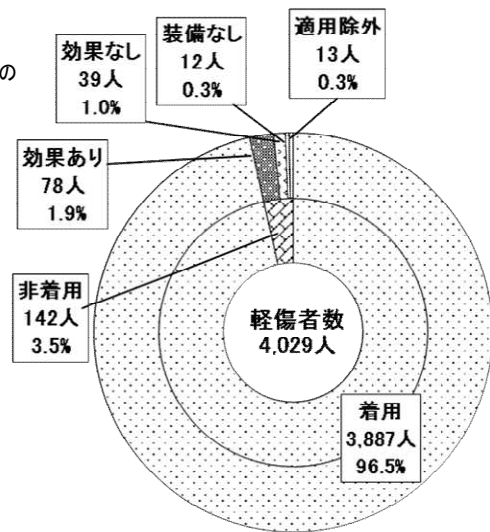


(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、
損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの
効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

(2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が98.8パーセント、助手席が97.2パーセント、後部席が66.3パーセントである。

死者の着用率は、運転席が67.7パーセント、助手席が100.0パーセント、後部席は33.3パーセントであった。



運転席	死者	31人	着用 21人 67.7%	非着用 10人 32.3%
	傷者	3,416人	着用 3,375人 98.8%	非着用 41人 1.2%
助手席	死者	3人	着用 3人 100.0%	
	傷者	496人	着用 482人 97.2%	非着用 14人 2.8%
後部席	死者	3人	着用 1人 33.3%	非着用 2人 66.7%
	傷者	374人	着用 248人 66.3%	非着用 126人 33.7%

※ 後部座席等には、降車しようとしていた人1人(傷者)も含む

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、20歳未満が0.0パーセントと最も低く、次いで30歳代が33.3パーセントとなっている。

傷者の着用率は、20歳未満が83.7パーセントと最も低く、65～69歳が99.6パーセントと最も高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者			-			-	1		0.0	1	0	0.0
	傷 者	52	52	100.0	74	70	94.6	144	104	72.2	270	226	83.7
20～24歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	246	244	99.2	47	45	95.7	28	14	50.0	321	303	94.4
25～29歳	死 者	1	1	100.0			-	1		0.0	2	1	50.0
	傷 者	315	312	99.0	31	31	100.0	21	13	61.9	367	356	97.0
30歳代	死 者	3	1	33.3			-			-	3	1	33.3
	傷 者	758	750	98.9	84	84	100.0	37	26	70.3	879	860	97.8
40歳代	死 者	4	3	75.0			-			-	4	3	75.0
	傷 者	752	741	98.5	78	76	97.4	26	13	50.0	856	830	97.0
50歳代	死 者	5	4	80.0			-			-	5	4	80.0
	傷 者	630	620	98.4	67	64	95.5	32	21	65.6	729	705	96.7
60～64歳	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	229	225	98.3	33	32	97.0	24	16	66.7	286	273	95.5
65～69歳	死 者	7	4	57.1			-			-	7	4	57.1
	傷 者	205	204	99.5	24	24	100.0	17	17	100.0	246	245	99.6
70歳以上	死 者	9	6	66.7	3	3	100.0	1	1	100.0	13	10	76.9
	傷 者	229	227	99.1	57	55	96.5	45	25	55.6	331	307	92.7
合 計	死 者	31	21	67.7	3	3	100.0	3	1	33.3	37	25	67.6
	傷 者	3,416	3,375	98.8	495	481	97.2	374	249	66.6	4,285	4,105	95.8

(4) 時間別

※ 降車しようとしていた人1人(傷者)は含まない

時間別に死者の着用率をみると、12～14時が33.3パーセントと最も低く、16～18時、18～20時、20～22時、22～24時が100.0パーセントと最も高い。

傷者は6～8時が97.8パーセントと最も高く、2～4時が82.9パーセントと最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	40	40	100.0	13	12	92.3	9	5	55.6	62	57	91.9
2～4	死 者	3	2	66.7			-			-	3	2	66.7
	傷 者	27	27	100.0	7	6	85.7	7	1	14.3	41	34	82.9
4～6	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	39	38	97.4	5	4	80.0	4	1	25.0	48	43	89.6
6～8	死 者	4	3	75.0			-			-	4	3	75.0
	傷 者	424	422	99.5	40	39	97.5	37	29	78.4	501	490	97.8
8～10	死 者	4	2	50.0			-			-	4	2	50.0
	傷 者	540	532	98.5	65	65	100.0	43	29	67.4	648	626	96.6
10～12	死 者	3	2	66.7			-			-	3	2	66.7
	傷 者	452	446	98.7	81	81	100.0	47	31	66.0	580	558	96.2
12～14	死 者	3	1	33.3			-			-	3	1	33.3
	傷 者	368	364	98.9	49	48	98.0	47	26	55.3	464	438	94.4
14～16	死 者	6	5	83.3	1	1	100.0	2		0.0	9	6	66.7
	傷 者	431	426	98.8	81	80	98.8	68	50	73.5	580	556	95.9
16～18	死 者	1	1	100.0	2	2	100.0	1	1	100.0	4	4	100.0
	傷 者	518	512	98.8	72	72	100.0	51	42	82.4	641	626	97.7
18～20	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	384	380	99.0	48	43	89.6	34	23	67.6	466	446	95.7
20～22	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	127	124	97.6	21	18	85.7	22	10	45.5	170	152	89.4
22～24	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	66	64	97.0	13	13	100.0	5	2	40.0	84	79	94.0
合 計	死 者	31	21	67.7	3	3	100.0	3	1	33.3	37	25	67.6
	傷 者	3,416	3,375	98.8	495	481	97.2	374	249	66.6	4,285	4,105	95.8

※ 降車しようとしていた人1人(傷者)は含まない

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 53人（前年比 +8人 17.8%増）

で、死者は昨年に続いて0人であり、傷者数は増加した。

乗車位置別死傷者数は、助手席が12人（うち死亡0人）、後部座席が41人（うち死亡0人）

となっている。

【助手席】

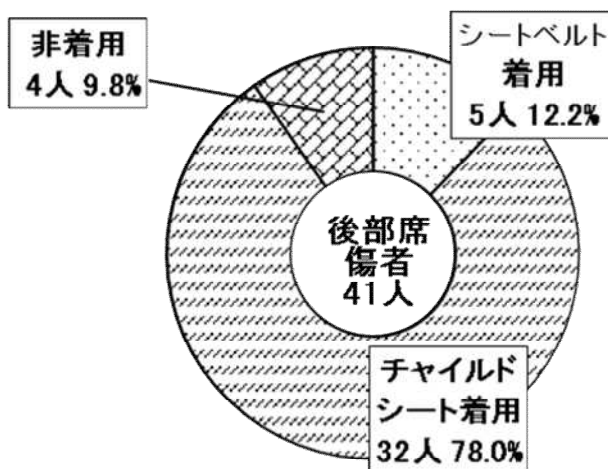
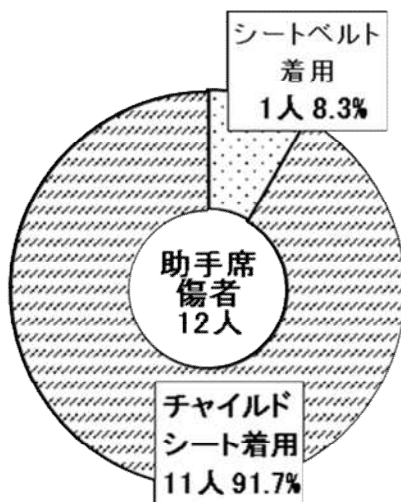
（単位：人）

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	1		
	チャイルドシート	11		
	計	12	0	0
非着用	効果あり			
	効果なし			
	計	0	0	0
装備なし等				
合計		12	0	0

【後部座席】

（単位：人）

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	5		
	チャイルドシート	32		
	計	37	0	0
非着用	効果あり	4		1
	効果なし			
	計	4	0	1
装備なし等				
合計		41	0	1



非着用のうち	
効果あり	0人
効果なし	0人

非着用のうち	
効果あり	4人
効果なし	0人

助手席乗車中のうち	
死亡	0人
重傷	0人

後部座席乗車中のうち	
死亡	0人
重傷	1人

7 青年運転者の事故

(1) 概況

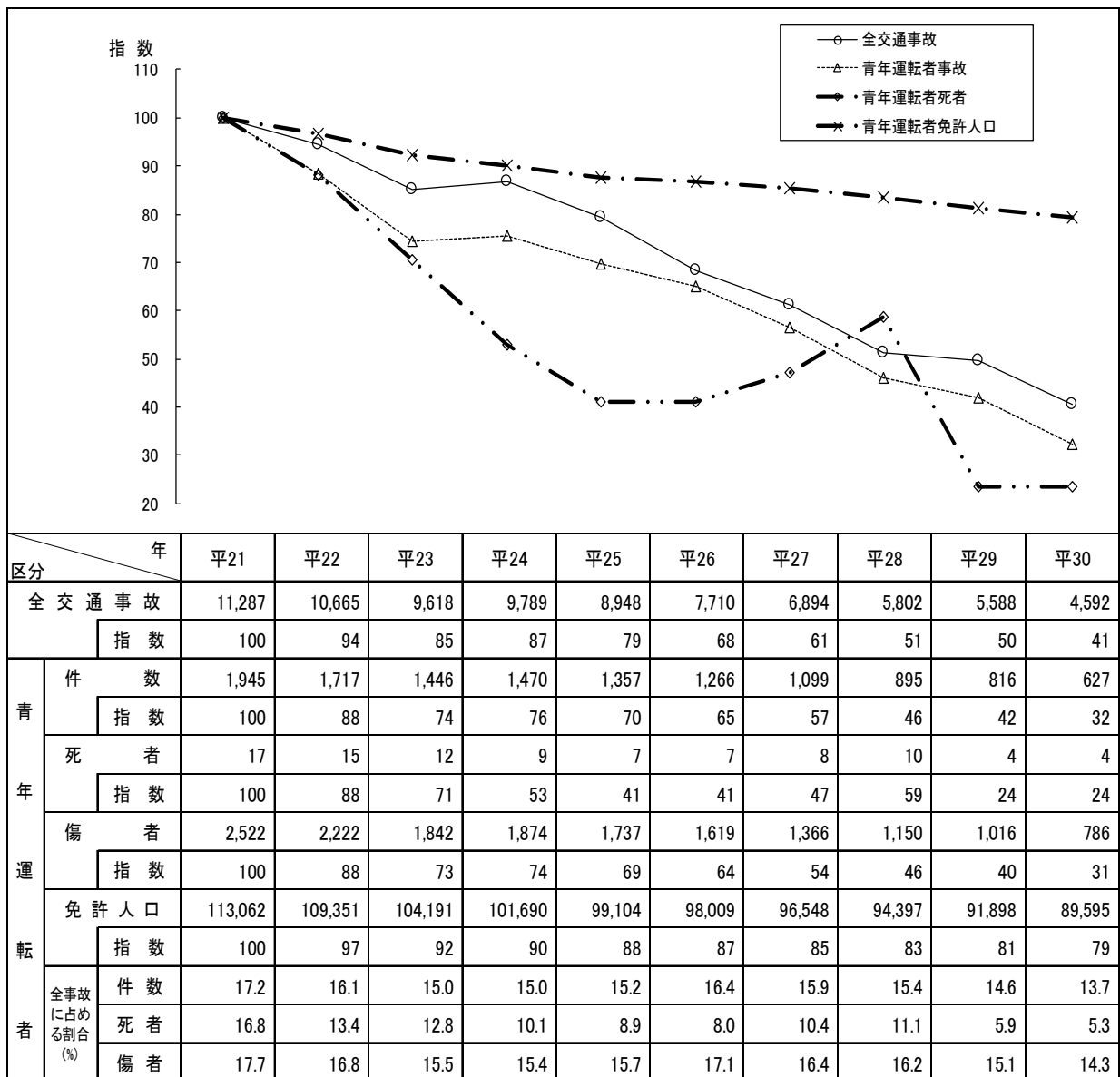
青年運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	627件	(前年比	-189件	23.2%減)
死者数	4人	(前年比	± 0人	増減なし)
傷者数	786人	(前年比	-230人	22.6%減)

で、発生件数、傷者数は減少し、死者数は同数であった。

全事故に占める割合は、件数が13.7パーセント、死者数5.3パーセント、傷者数14.3パーセントとなっている。

(単位：件・人・%)



(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が312件で最も多く、青年運転者の49.8パーセントを占めている。

違反別では、前方不注意が184件で最も多く29.3パーセントを占めている。

悪質違反による事故は110件で青年運転者の17.5パーセントを占め、うち信号無視が36件と最も多い。

(単位：件)

違反	車種	自 動 車						二 輪 車				合計					
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	特殊	小	二	軽		二	原	二	原	付
悪質違反	信号無視		17	18		1											36
	最高速度		1	1													2
	通区・追越		7	12		1					1						21
	歩行者妨害等		9	11				1									21
	一時不停止		14	15						1							30
	酒酔い運転																0
	計		0	48	57	0	2	1	0	1	1	0	0				110
	横断禁止等			7	7				2								16
	右折違反			2													2
	左折違反																0
	優先通行妨害等			22	24	1	1						1				49
交差点安全進行			16	3			2									21	
徐行違反			1	1												2	
過労運転			4					1								5	
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		24	24	1	2					1					52	
	前方不注意		97	69	3	8	5				1	1				184	
	動静不注意		56	48	3	8	9							1		125	
	安全不確認	1	24	19		1	1									46	
	安全速度		7	1			1									9	
その他			3							1						4	
計		1	211	161	7	19	16	0	1	2	1	1				420	
その他			1	1												2	
合計		1	312	254	8	24	20	0	2	3	2	1				627	

(3) 時間別・道路別

時間別では、18～20時が112件と最も多く、次いで6～8時の98件、16～18時の91件となっている。

道路別では、市町村道が227件と最も多く、次いで国道が198件となっており、国道と市町村道を合わせると、青年運転者事故の67.8パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
		国 道	4号	1			8	4	8	4	9	11	10	
6号					14	3	1	3	3	2	6	5	1	38
13号						1				1	1			3
49号					4	3	3	4	5	1	8	2	2	32
三桁				1	11	4	4	7	7	12	13	2	4	65
計		1	0	1	37	15	16	18	24	27	38	14	7	198
県道		5	2	5	26	24	10	15	8	28	32	10	5	170
市町村道		6	4	3	30	36	24	15	15	32	38	15	9	227
高速道		1			3	1	2		2	2	1	1		13
その他					2	5	3	1	2	2	3		1	19
合計		13	6	9	98	81	55	49	51	91	112	40	22	627

(4) 事故類型別

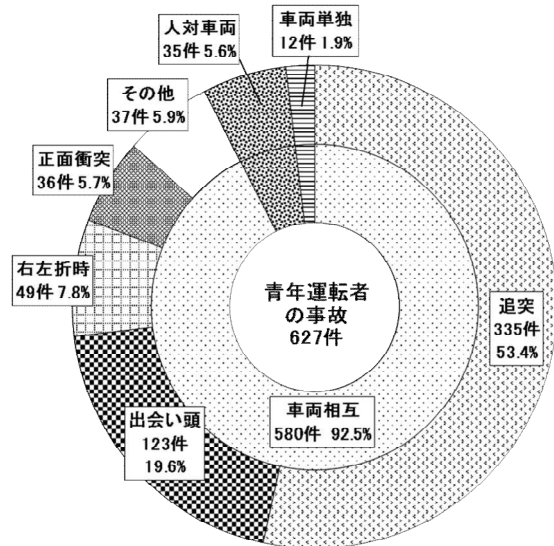
車両相互が580件で青年運転者事故の92.5パーセントを占めている。

特に、

追突： 335件 (53.4%)

出会い頭： 123件 (19.6%)

が多く、両事故類型を合わせると458件で車両相互の73.0パーセントを占めている。

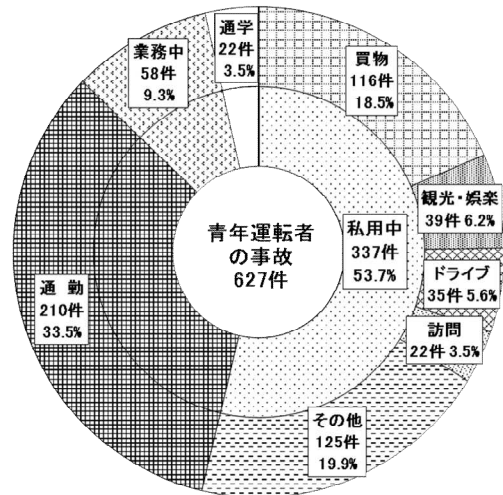


(5) 通行目的別

私用中が337件で青年運転者事故の53.7パーセントを占めている。

特に、買物が116件と多く、私用中事故の34.4パーセントを占め、次いで観光・娯楽の39件の順となっている。

また通勤時の事故も210件発生し、青年運転者事故の33.5パーセントを占めている。



(6) 車種別・速度別（事故直前速度）

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が554件で最も多く、青年運転者事故の88.4パーセントを占めている。

車種別でみると、普通乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

(単位：件)

速度	自動車											二輪車				合計
	大乗	中乗	準中型	普通	軽乗	大貨	中貨	準中型	普通	軽貨	特殊	小二	軽二	二原	二原付	
停止中																0
50 km/h 以下		1		275	231		1	6	18	17		1	1	2	1	554
60 km/h 以下				27	16				4	3			1			51
70 km/h 以下				4	6				1			1	1			13
80 km/h 以下				3												3
90 km/h 以下								1								1
100 km/h 以下				2	1				1							4
101 km/h 以上				1												1
調査不能																0
合計	0	1	0	312	254	0	1	7	24	20	0	2	3	2	1	627

(7) 人的原因別

発見の遅れが409件と多く、青年運転者による事故の65.2パーセントを占めている。

中でも脇見等と安全不確認が各154件で多く、合わせると発見の遅れ全体の75.3パーセントを占めている。

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)				交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)						
合 計	件数	死者	627	判断の誤り等 計						
	傷者	傷者	786					件数	死者	162
発見の遅れ 計	件数	死者	409	動静不注視 計						
	傷者	傷者	526					件数	死者	141
前方不注意 計	件数	死者	255	相手が譲ってくれると思って注視を怠った						
	傷者	傷者	340					件数	死者	0
内在的(漫然等) 計	件数	死者	101	他の危険を避けようとして注視を怠った						
	傷者	傷者	149					件数	死者	131
居眠り運転	件数	死者	9	その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った						
	傷者	傷者	18					件数	死者	155
ラジオ・ステレオを聴いていた	件数	死者	0	予測不適 計						
	傷者	傷者	0					件数	死者	8
雑談や携帯電話等で話していた	件数	死者	2	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った						
	傷者	傷者	2					件数	死者	0
その他、考え事等の漫然運転	件数	死者	90	相手がルールを守ると思った						
	傷者	傷者	129					件数	死者	0
外的(脇見等) 計	件数	死者	154	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った						
	傷者	傷者	191					件数	死者	0
物を落とした、物を取ろうとした	件数	死者	17	他の事故(危険)を避けようと思った						
	傷者	傷者	20					件数	死者	0
同乗者、同乗の動物等に脇見	件数	死者	9	その他相手の行動予見等の判断を誤った						
	傷者	傷者	13					件数	死者	3
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	件数	死者	9	交通環境 計						
	傷者	傷者	13					件数	死者	13
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	件数	死者	4	道路形状、道路線形に対する認識を誤った						
	傷者	傷者	5					件数	死者	2
雑誌、地図帳等を見ていた	件数	死者	0	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った						
	傷者	傷者	0					件数	死者	6
道、案内標識等を探して脇見	件数	死者	9	交通規制に対する認識を誤った						
	傷者	傷者	10					件数	死者	0
風景、地物等に脇見	件数	死者	46	交通安全施設に対する認識を誤った						
	傷者	傷者	62					件数	死者	1
他の車、歩行者に脇見	件数	死者	16	障害物等に対する認識を誤った						
	傷者	傷者	19					件数	死者	0
バックミラーやドアミラーを見ていた	件数	死者	4	その他の交通環境に対する認識を誤った						
	傷者	傷者	4					件数	死者	2
その他脇見	件数	死者	40	操作上の誤り(操作不適) 計						
	傷者	傷者	45					件数	死者	55
安全不確認 計	件数	死者	154	ブレーキとアクセルの踏み違い						
	傷者	傷者	186					件数	死者	1
安全確認をしなかった	件数	死者	59	ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ						
	傷者	傷者	68					件数	死者	68
安全確認が不十分だった	件数	死者	95	急ブレーキをかけた						
	傷者	傷者	118					件数	死者	8
				調査不能				件数	死者	0
								件数	死者	0

8 高齢者の事故（65歳以上）

(1) 高齢運転者による事故

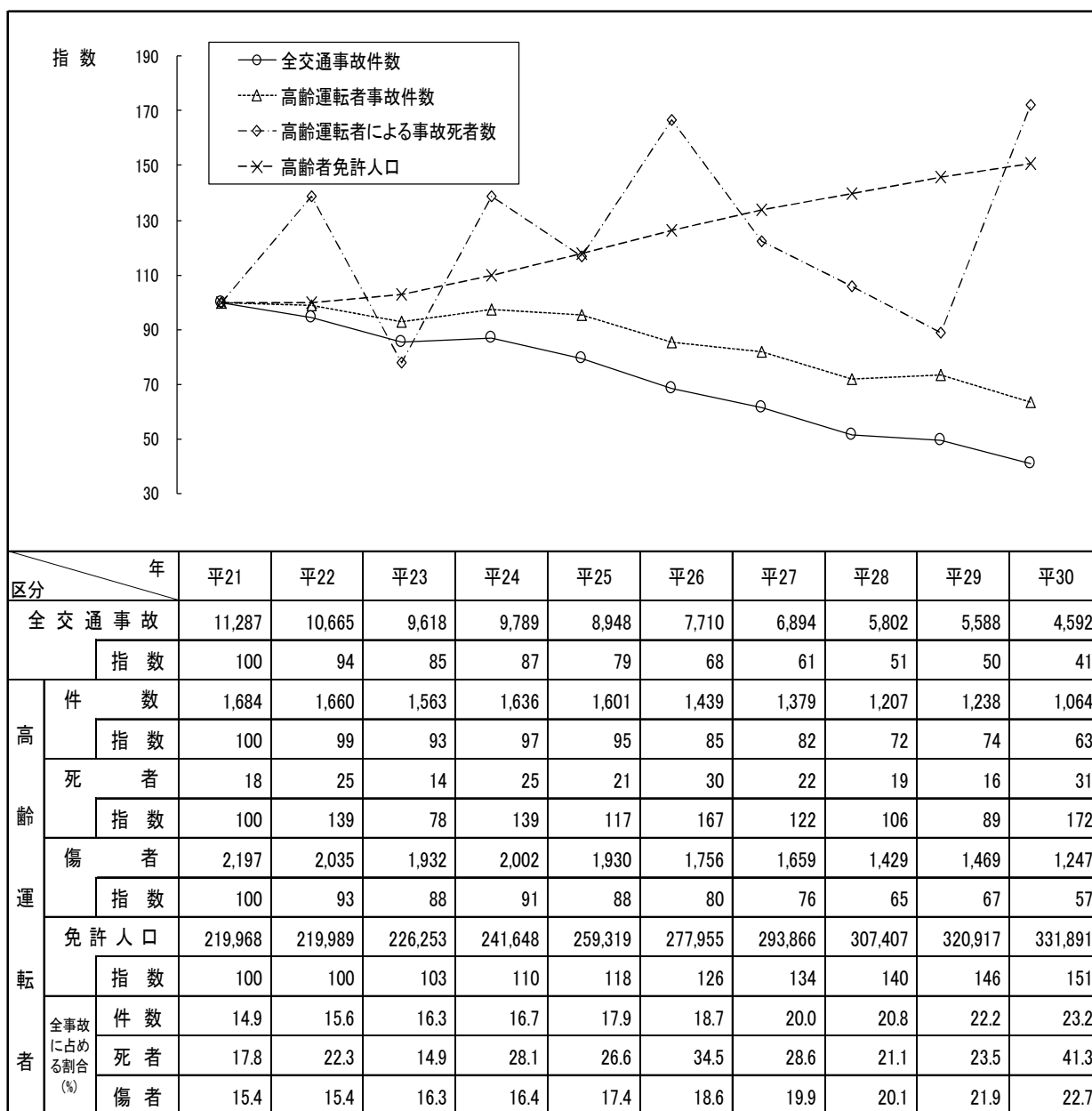
ア 概況

高齢運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	1,064件	（前年比	-174件	14.1%減）
死者数	31人	（前年比	+15人	93.8%増）
傷者数	1,247人	（前年比	-222人	15.1%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

（単位：件・人・％）



イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が211件と最も多く、次いで14～16時の188件、8～10時の183件の順となっている。

8時～18時までの発生は870件と高齢運転者事故の81.8パーセントを占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、730件と高齢運転者事故の68.6パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計	昼間	夜間
		国	4号		1	1		9	5	7	5	3	2	2	2	37
	6号		1	1	4	7	9	2	11	7		1		43	39	4
	13号					1	3	2	1	1	2			10	7	3
	49号				2	5	5	6	3	7	2			30	27	3
道	三桁	2	1	2	9	23	29	14	16	10	12	1		119	98	21
	計	2	3	4	15	45	51	31	36	28	18	4	2	239	199	40
生活道路	県道	1	1	2	20	48	48	41	51	34	25	5	2	278	234	44
	市町村道		1	4	27	78	81	62	87	64	37	7	4	452	387	65
	計	1	2	6	47	126	129	103	138	98	62	12	6	730	621	109
	高速道					1	3	1		1	1			7	6	1
	その他				2	11	28	13	14	13	4	1	2	88	77	11
	合計	3	5	10	64	183	211	148	188	140	85	17	10	1,064	903	161

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が494件で、高齢運転者事故の46.4パーセントを占め、次いで軽乗用車の342件、軽貨物車の164件と続いている。

また、二輪車による事故は7件で高齢運転者事故の0.7パーセントを占めている。

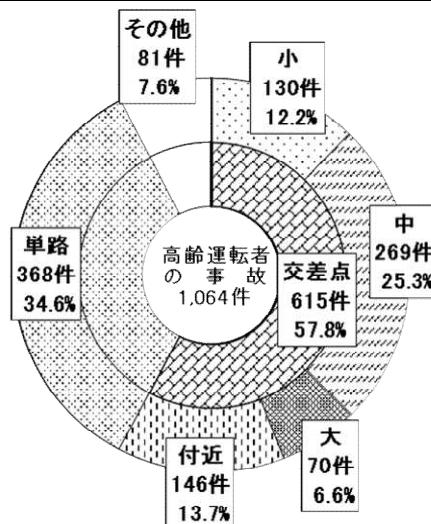
(単位：件)

年齢	車種	自動車						特殊車	二輪車			合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨		自二	原二	原付	
65～69歳		3	184	136	14	16	48				1	402
70歳代		1	214	143	5	11	73		1	1	2	451
80歳以上			96	63		6	43	1			2	211
合計		4	494	342	19	33	164	1	1	1	5	1,064

エ 道路形状別

交差点での事故は615件で、高齢運転者事故の57.8パーセントを占めている。

特に「中」交差点での発生が多く、交差点事故全体の43.7パーセントを占めている。



オ 違反別

前方不注意による事故が180件と最も多く、高齢運転者事故の16.9パーセントを占め、次いで安全不確認163件の順となっている。

悪質違反は256件で、歩行者妨害が84件と最も多く、次いで一時不停止の65件となっている。

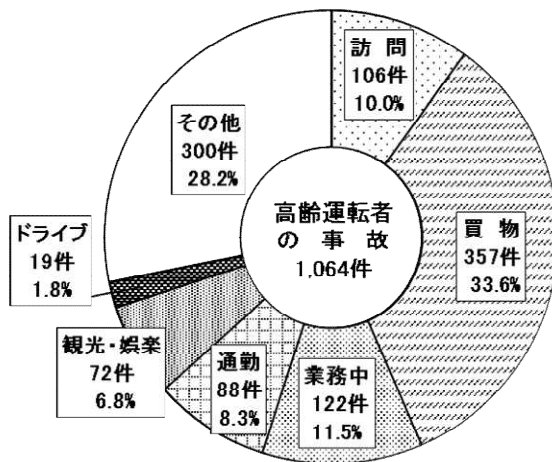
高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は24.1パーセントとなっており、全交通事故の占める悪質違反の割合20.6パーセントと比較すると3.5ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が高い。

(単位：件・%)

区分	違反	悪 質 違 反						横断禁止等	右折	左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安 全 運 転 義 務 違 反					そ の 他	合 計			
		信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転							計	ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認			安全速度	その他	
件数		62	5	39	84	65	1	256	28	7	7	131	69	9	81	180	106	163	8	8	546	11	1,064
構成率(%)		5.8	0.5	3.7	7.9	6.1	0.1	24.1	2.6	0.7	0.7	12.3	6.5	0.8	7.6	16.9	10.0	15.3	0.8	0.8	51.3	1.0	100.0

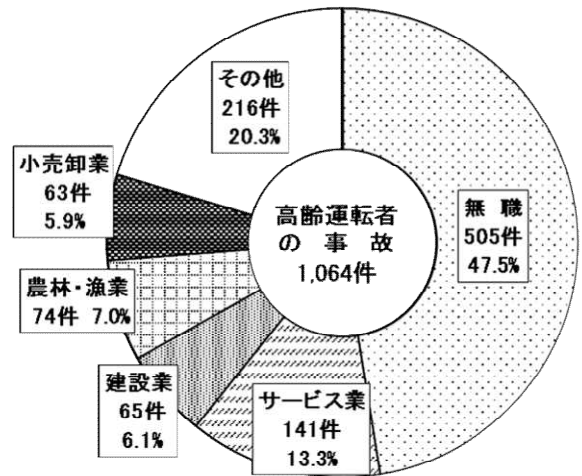
カ 通行目的別

買物が357件と多く、高齢運転者事故の33.6パーセントを占めている。



キ 職業別

無職が505件と最も多く、高齢運転者の47.5パーセントを占めている。



ク 免許人口に占める事故率 (年齢別交通事故発生状況)

(単位：人・件・%)

区分	年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合計
		免許人口	89,595	876,676	331,891
	構成率(%)	6.9	67.5	25.6	100
件数		627	2,847	1,064	4,538
	構成率(%)	13.8	62.7	23.4	100
死者		4	37	31	72
	構成率(%)	5.6	51.4	43.1	100
傷者		786	3,393	1,247	5,426
	構成率(%)	14.5	62.5	23.0	100

※ 原付以上の運転者が対象 (不明除く)

(免許人口は平成30年12月末現在)

(2) 高齢者の死傷者

ア 概況

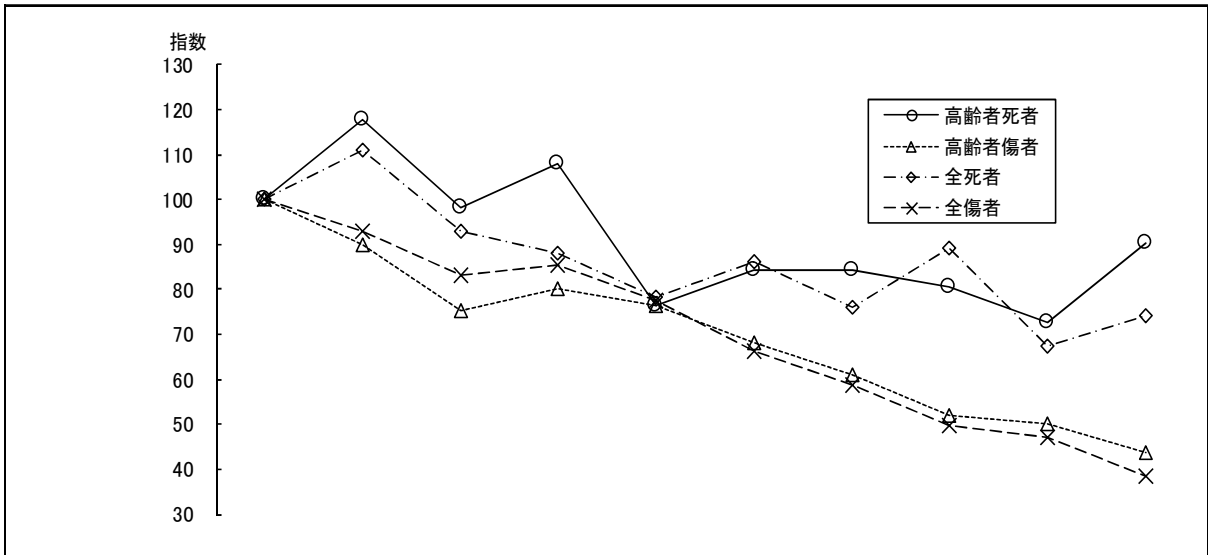
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 46人（前年比 + 9人 24.3%増）

傷者数 905人（前年比 -138人 13.2%減）

で、死者数、傷者数ともに減少した。

（単位：人）



死傷者		年	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
高齢者死傷者	死者		51	60	50	55	39	43	43	41	37	46
	指数		100	118	98	108	76	84	84	80	73	90
傷者	傷者		2,073	1,868	1,563	1,666	1,587	1,411	1,266	1,075	1,043	905
	指数		100	90	75	80	77	68	61	52	50	44
全死傷者	死者		101	112	94	89	79	87	77	90	68	75
	指数		100	111	93	88	78	86	76	89	67	74
傷者	傷者		14,242	13,253	11,855	12,188	11,061	9,450	8,344	7,112	6,710	5,482
	指数		100	93	83	86	78	66	59	50	47	38

イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は28名で高齢者死者の60.9パーセント、傷者は592人で高齢者傷者の65.4パーセントを占めている。

（単位：人・%）

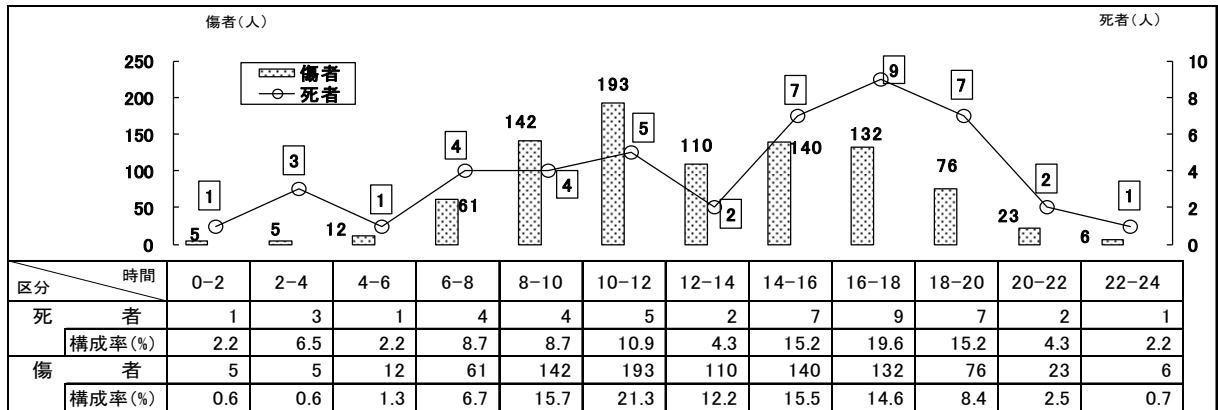
区分	道路	国 道					計	生活道路			高 速	そ の 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		県 道	市町村道	計			
死 者		3	3		1	9	16	14	14	28	1	1	46
	構成率(%)	6.5	6.5	0.0	2.2	19.6	34.8	30.4	30.4	60.9	2.2	2.2	100.0
傷 者		40	51	4	32	112	239	236	356	592	15	59	905
	構成率(%)	4.4	5.6	0.4	3.5	12.4	26.4	26.1	39.3	65.4	1.7	6.5	100.0

ウ 時間別

死者は16～18時の9人が最も多く、高齢者死者の19.6パーセントを占め、次いで14～16時と18～20時の7人の順となっている。

傷者は10～12時の193人が最も多く、高齢者傷者の21.3パーセントを占め、次いで8～10時の142人の順となっている。

(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者の17人が最も多く、高齢死者の37.0パーセントを占め、次いで四輪運転の16人、自転車の5人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで歩行者の順となっている。

(単位：人)

状態	年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者		3	35	8	97	6	63	17	195
自転車			25	3	46	2	21	5	92
原付			11	1	13	2	9	3	33
自二			3	1	1		1	1	5
四輪運転		7	205	5	189	4	40	16	434
四輪同乗			41	1	65	3	37	4	143
その他			1		1		1	0	3
合計		10	321	19	412	17	172	46	905

オ 違反別

(ア) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは8人で47.1パーセントを占めた。

傷者のうち何らかの違反があったのは55人で28.2パーセントを占め、横断に関する違反が多い。

(単位：人)

違反	違反あり									違反なし	合計	
	信号無視	左側通行	横断			断		酩酊・徘徊	その他			
			横歩道断外	斜め横断	駐車車両	走直前車直両後	横止断場禁所					
死者			4				2		1	1	9	17
傷者	3	4	19			3	12		1	13	140	195

(イ) 自転車

死者の違反については、優先通行妨害、安全不確認の各1人、その他の2人となっている。
 傷者のうち、何らかの違反があったのは42人で45.7パーセントを占め、うち交差点安全進行義務違反が17人と最も多い。

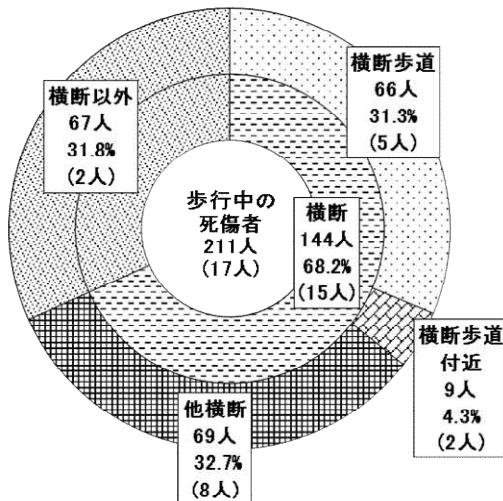
(単位：人)

違反 区分	違 反 あ り									違 反 な し	合 計
	信 号 無 視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	優 妨 先 通 行 害	交 安 差 進 点 行	一 時 不 停 止	酒 酔 い	安 不 確 全 認	そ の 他		
死 者				1				1	2	1	5
傷 者	1	2	1	5	17	1		10	5	50	92

カ 事故類型別

(ア) 歩行者

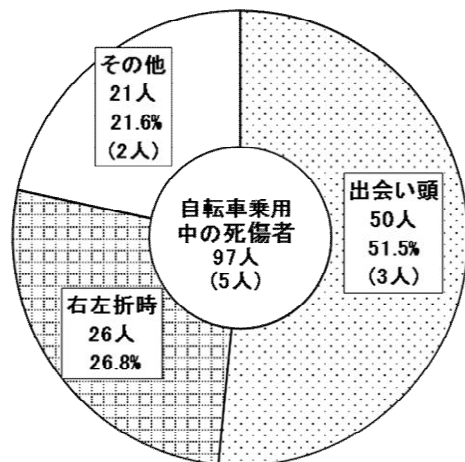
横断が144人と多く、歩行中死傷者の68.2パーセントを占めている。



*1 ()内は死者で内数
 *2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

(イ) 自転車

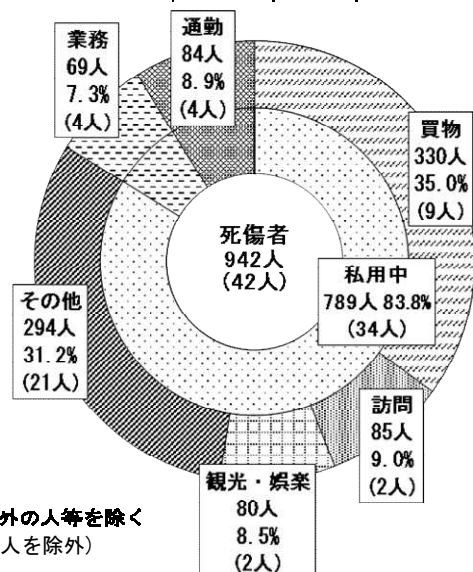
出会い頭事故が50人と多く、自転車事故死傷者の51.5パーセントを占めている。



* ()内は死者で内数

キ 通行目的別

買物が330人と最も多く、高齢者死傷者全体の35.0パーセントを占め、次いで訪問、通勤と続いている。



*1 ()内は死者で内数
 *2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く
 (死傷者から9人 うち死者4人を除外)

9 初心運転者の事故

(1) 概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数 164件（前年比 -36件 18.0%減）

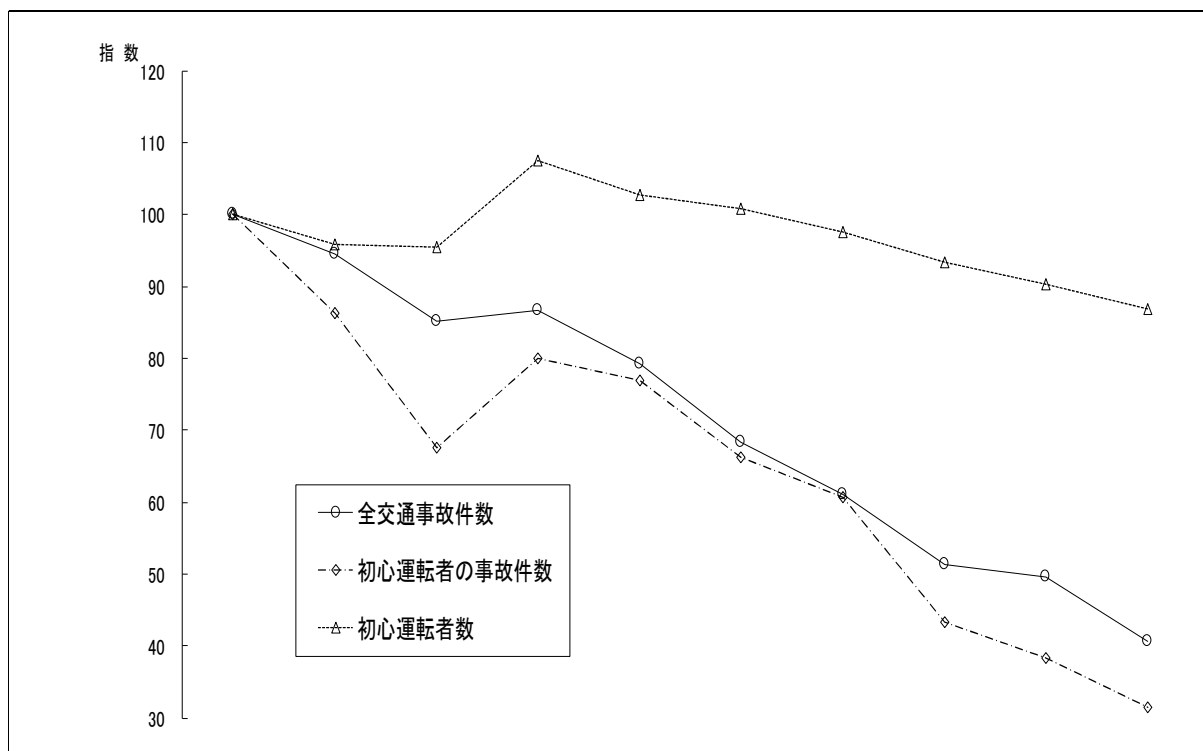
死者数 2人（前年比 ±0人）

傷者数 205人（前年比 -43人 17.3%減）

で、死者は前年同数で発生件数、傷者数はともに減少した。

過去10年間の推移をみると、総括的には、初心運転者数は減少し、全事故に占める初心運転者の事故割合は、横ばい状態である。

（単位：件・人・%）

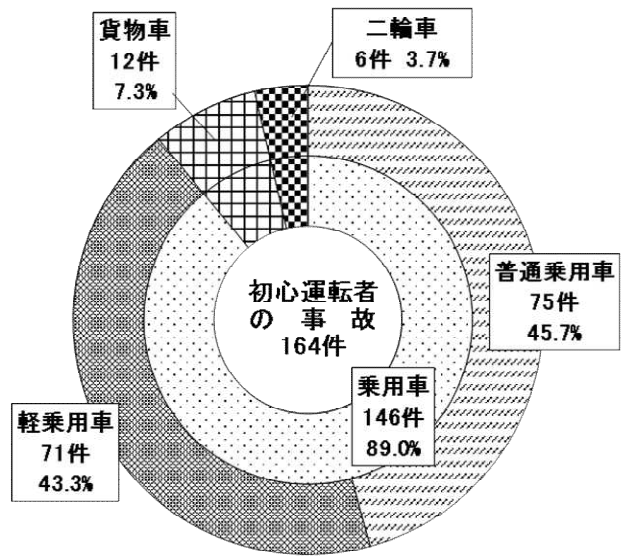


区分	年	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
全交通事故	件数	11,287	10,665	9,618	9,789	8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592
	指数	100	94	85	87	79	68	61	51	50	41
初心運転者事故	件数	522	450	353	418	402	346	317	226	200	164
	指数	100	86	68	80	77	66	61	43	38	31
	死者	2	5	6	5	5	4	5	2	2	2
	指数	100	250	300	250	250	200	250	100	100	100
傷者	件数	700	598	460	534	519	450	395	285	248	205
	指数	100	85	66	76	74	64	56	41	35	29
全免許人口	件数	1,321,188	1,322,334	1,310,410	1,305,412	1,306,025	1,308,015	1,308,583	1,307,658	1,303,412	1,298,162
	指数	100	100	99	99	99	99	99	99	99	98
初心運転者数	件数	29,681	28,441	28,352	31,899	30,489	29,928	28,979	27,687	26,788	25,803
	指数	100	96	96	107	103	101	98	93	90	87
全事故に占める割合		4.6	4.2	3.7	4.3	4.5	4.5	4.6	3.9	3.6	3.6

(2) 車種別

乗用車が146件で初心運転者事故の89.0パーセントを占め、普通乗用車の占める割合が45.7パーセントと高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、軽二輪車が75.0パーセントと高くなっている。



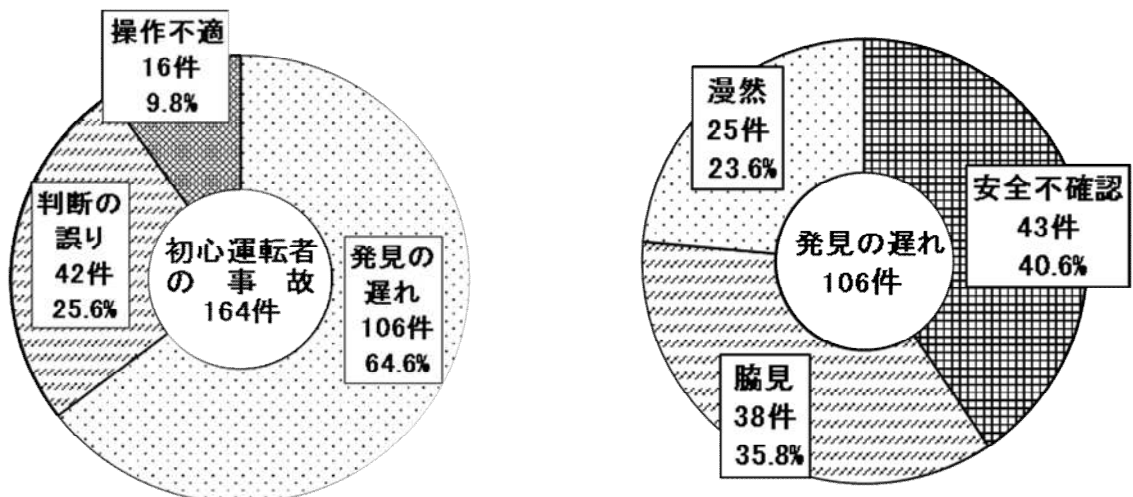
(単位：件・%)

車種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合
大型・中型・準中乗用車	0	0.0
普通乗用車	75	3.3
軽乗用車	71	5.1
普通貨物車	7	3.3
軽貨物車	5	1.5
大型・中型・準中貨物車	0	0.0
特殊車	0	0.0
小型二輪車	2	16.7
軽二輪車	3	75.0
二種原付	0	0.0
原付	1	11.1

(3) 人的原因

発見の遅れが106件で最も多く、初心運転者事故の64.6パーセントを占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が43件と最多で、脇見が38件が続いている。



(4) 違反別

前方不注意が44件で初心運転者事故の26.8パーセントを占め最も多く、次いで動静不注意の29件となっている。

悪質違反は35件で同事故の21.3パーセントを占め、うち信号無視が12件で最も多く、次いで一時不停止の11件となっている。両違反を合わせると23件となり、悪質違反の65.7パーセントを占めている。

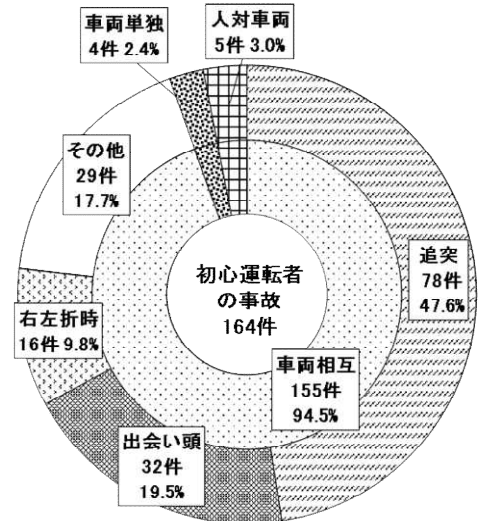
(単位：件・%)

違反		区分	件数	構成率(%)	違反		区分	件数	構成率(%)
悪質違反	違反	信号無視	12	7.3	安全運転義務違反	徐行違反			0.0
		最高速度		0.0		過労運転			0.0
		通区・追越	10	6.1		ハンドル操作	3	1.8	
		歩行者妨害等	2	1.2		ブレーキ操作	12	7.3	
		一時不停止	11	6.7		前方不注意	44	26.8	
		酒酔い運転		0.0		動静不注意	29	17.7	
計			35	21.3	安全不確認	12	7.3		
横断禁止等			3	1.8	安全速度	1	0.6		
車間距離不保持				0.0	予測不適			0.0	
進路変更禁止			1	0.6	その他	2	1.2		
右・左折違反			1	0.6	計		103	62.8	
優先通行妨害等			15	9.1	その他		1	0.6	
交差点安全進行			5	3.0	合計		164	100.0	

(5) 事故類型別

車両相互の事故が155件で初心運転者事故の94.5パーセントを占めている。

その中でも追突が78件と多く、次いで出会い頭が32件と続いており、両事故で67.1パーセントを占めている。



(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く105件で初心運転者事故の64.0パーセントを占め、年齢別では、25歳未満の事故が151件(92.1%)となっている。

(単位：件・%)

通行目的		区分	件数	構成率(%)	年齢別		区分	件数	構成率(%)
業務	職業運転		1	0.6	青年	16 ~ 19 歳		124	75.6
		業務目的	9	5.5			20 ~ 24 歳	27	16.5
通勤等	出勤		19	11.6	計			151	92.1
	退社		20	12.2	25 ~ 29 歳		5	3.0	
	通学		10	6.1	30 歳代		3	1.8	
私用	観光・娯楽		8	4.9	40 歳代		1	0.6	
	ドライブ		17	10.4	50 歳代		2	1.2	
	散歩			0.0	60 ~ 64 歳		1	0.6	
	飲食		7	4.3	計		12	7.3	
	買物		30	18.3	高齢者	65 ~ 69 歳	1	0.6	
	訪問		8	4.9	70 歳代			0.0	
帰省			2	1.2	80 歳以上			0.0	
	その他		33	20.1	計		1	0.6	
調査不能				0.0	合計			164	100.0
合計			164	100.0	(内数) 高校生			1	0.6

10 飲酒運転の事故

(注)各表の○は酒酔いで内数(以下飲酒運転事故表中の○は同じ)

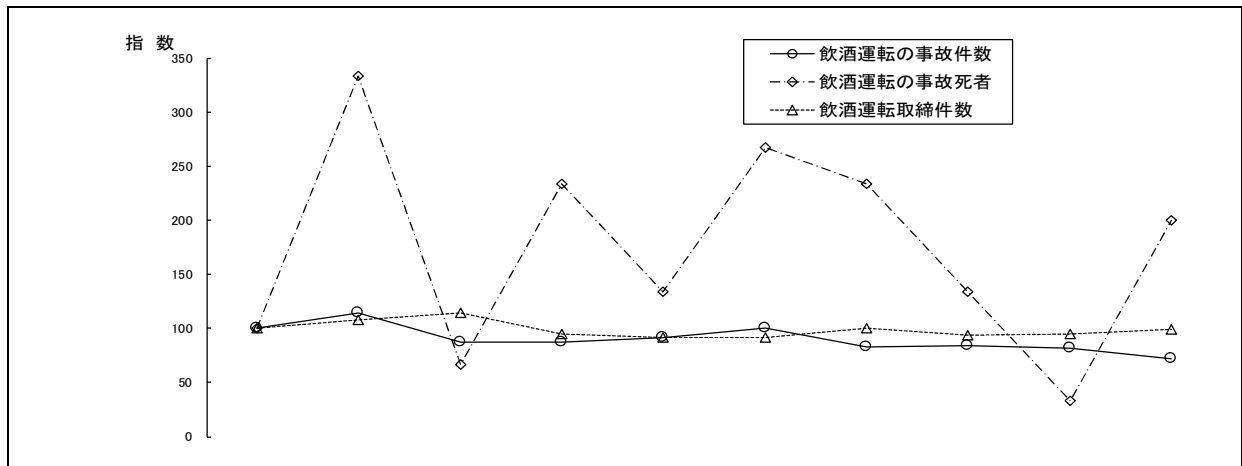
(1) 概況

第1当事者が飲酒の状態車両を運転して起こした事故は、

発生件数	74件	(前年比	-10件	11.9%減)	うち酒酔い	7件	前年比-1件
死者数	6人	(前年比	+5人	500.0%増)	うち酒酔い	0人	前年同数
傷者数	93人	(前年比	-19人	17.0%減)	うち酒酔い	11人	前年比-4人

で、発生件数、傷者数は減少したが死者数は増加した。

(単位: 件・人・%)



区分	年	平21	平22	平23	平25	平25	平26	平27	平28	平29	平30
飲酒運転の事故	件数	103	118	90	90	94	103	85	87	84	74
	指数	100	115	87	87	91	100	83	84	82	72
	死者	3	10	2	7	4	8	7	4	1	6
	死者指数	100	333	67	233	133	267	233	133	33	200
	傷者	138	143	121	139	129	132	109	116	112	93
酒酔い運転(内数)	件数	13	20	13	9	12	13	9	10	8	7
	死者	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0
	傷者	16	22	13	11	21	22	11	12	15	11
全事故に占める割合(%)	件数	0.9	1.1	0.9	0.9	1.1	1.3	1.2	1.5	1.5	1.6
	死者	3.0	8.9	2.1	7.9	5.1	9.2	9.1	4.4	1.5	8.0
	傷者	1.0	1.1	1.0	1.1	1.2	1.4	1.3	1.6	1.7	1.7
取締り件数	酒酔い	57	69	56	41	35	47	49	46	36	26
	酒気帯び	395	418	462	390	379	367	405	377	394	423
	合計	452	487	518	431	414	414	454	423	430	449
	指数	100	108	115	95	92	92	100	94	95	99

(2) 月別

飲酒運転が最も多いのは10月と12月の各10件で、次いで4月の9件となっている。

(単位: 件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	①	4	① 8	6	9	① 4	① 4	3	5	① 6	① 10	① 5	10	⑦ 74
	全事故に占める割合	0.9	2.0	1.7	2.2	1.0	1.3	0.9	1.4	1.8	2.3	1.4	2.2	1.6
死者				2	2				1				1	6
傷者	③	6	① 9	7	13	② 6	① 4	3	4	① 7	① 14	② 10	10	⑪ 93

(3) 曜日・時間別

日曜日が26件と最も多く、次いで土曜日の15件の順となっている。

時間別では、6～8時が11件と多く、次に0～2時、2～4時が9件と多い。

(単位：件・%)

時間	曜日		日	月	火	水	木	金	土	合計		全事故に占める割合			
	～	①								②	③		④	⑤	
0	～	2	①	3		1	1	2	2	①	9	15.3			
2	～	4		4		1	2		2		9	20.5			
4	～	6		2	1			1	①	①	5	8.3			
6	～	8		2	3	1	①	1	3	①	11	2.1			
8	～	10		4	1		1		2		8	1.2			
10	～	12		1		1			1		3	0.5			
12	～	14									0	0.0			
14	～	16		2	1		1		1		6	1.0			
16	～	18	①	4				1	1	①	6	0.8			
18	～	20		1		2	①	2		①	5	0.9			
20	～	22		1			3	1	①	①	8	4.3			
22	～	24		2		1			①	①	4	3.8			
合計			②	26	6	5	②	11	6	5	③	15	⑦	74	1.6
全事故に占める割合				5.4	0.9	0.7	1.5	0.9	0.7	2.5	1.6				

(4) 発生地別

市部で65件発生し、飲酒運転の87.8パーセントを占めている。特にいわき市、郡山市が多く、二市の合計は38件で、市部の58.5パーセントを占めている。

(単位：件・人)

発生地	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計			
件数	12	2	2	1	19	1	2		①	3	⑤	19	2	2	①	9	⑦	74
死者	1				1	1						1					2	6
傷者	14	2	2	2	26		3		①	3	⑨	26	4	3	①	8	⑩	93

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、国道が27件で飲酒運転の36.5パーセントを占めている。死者も国道が5人で飲酒運転の全死者の83.3パーセントを占めている。

(単位：件・人)

道路	国					道		県			市	町	その他	合計						
	4号	6号	13号	49号	三桁	計	主要地方道	一般県道	計											
件数	4	5	1	①	3	③	14	④	27	11	①	10	①	21	②	24		2	⑦	74
死者	1				1		3		5					0		1				6
傷者	4	5	1	②	3	③	13	⑤	26	18	②	12	②	30	④	34		3	⑩	93

(6) 事故類型別

追突が最も多く、29件（39.2%）となっており、次いで正面衝突と出会い頭が13件の順となっている。

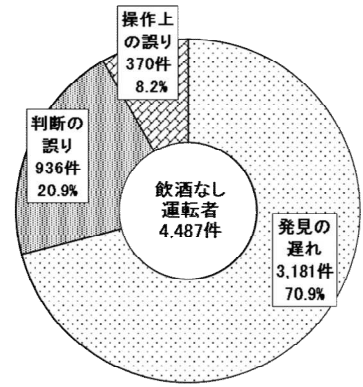
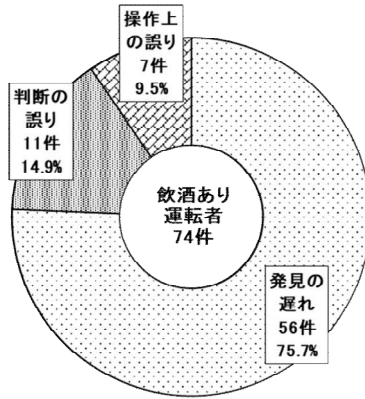
車両相互の事故が発生件数、傷者数とも全体の9割を超える高い割合を占めている。

(単位：件・人)

事故類型	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合		
							人対車	対面・背面歩行中
	横断中		0.0			0.0		
	その他		0.0			0.0		
	計	0	0.0	0	0	0.0		
車対車	正面衝突	②	13	17.6	2	③	16	6.8
	追突	③	29	39.2		⑥	41	1.6
	出会い頭		13	17.6			16	1.2
	転回時			0.0				0.0
	右・左折時		3	4.1			6	0.7
	その他	①	9	12.2		①	11	2.6
	計	⑥	67	90.5	2	⑩	90	1.7
車両単独	工作物衝突	①	6	8.1	3	①	3	10.2
	路外逸脱		1	1.4	1			33.3
	駐車車両衝突			0.0				0.0
	転倒			0.0				0.0
	その他			0.0			0.0	
	計	①	7	9.5	4	①	3	8.0
列車				0.0				0.0
合計		⑦	74	100.0	6	⑩	93	1.6

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」で4.8ポイント高くなっている。



※ 当事者不明を除く

※ 第1当事者が歩行者、不明、調査不能を除く

(8) 飲酒動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「他に乗り物がなかった」が17件、次いで「酔いをさました」が10件と多く、両項目で飲酒運転事故の36.5パーセントを占めている。

(単位：件・人)

区分	動機	飲酒運転のうち											
		他に乗り物がなかった	日にの困る	少しまいしな	酔いさまた	車を置いていく	運転代行がた	深夜な	大丈夫と思	交通量が	その他不明	合計	酒酔い運転
件数		17	4	3	10	2	6	9	5	18	74	7	56
構成率(%)		23.0	5.4	4.1	13.5	2.7	8.1	12.2	6.8	24.3	100.0	9.5	75.7
死者					2			1		3	6		4
傷者		24	5	6	11	3	6	9	7	22	93	11	69

飲酒理由は「酒好き晩酌等」が最も多く27件で36.5パーセントを占めている。

飲酒場所は「キャバレー・スナック」が30件で40.5パーセントを占めている。(単位：件・人)

飲酒理由	飲酒場所	飲酒理由										合計	構成率(%)		
		忘年会	新年会	歓送迎会等	冠婚葬祭	等の行事	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等と	のつきあい			酒好き等	晩酌等
件数	自宅											20	2	22	29.7
死者												1		1	
傷者												24	2	26	
件数	知人・友人宅				1			1	2					4	5.4
死者														0	
傷者					2			2	2					6	
件数	取引・勤務先													0	0.0
死者														0	
傷者														0	
件数	料理店・キャバレー・バー・スナック		2	2				3		17	4	2		30	40.5
死者										2				2	
傷者		4	2					3		24	5	4		42	
件数	その他の料理店							2		1	1			4	5.4
死者														0	
傷者								2		1	1			4	
件数	旅館・ホテル等の宿泊施設							2					1	3	4.1
死者								1						1	
傷者								1				1		2	
件数	ドライブイン・酒類販売店等													0	0.0
死者														0	
傷者														0	
件数	自動販売機近													0	0.0
死者														0	
傷者														0	
件数	その他(不明)				2			1			2	6		11	14.9
死者								1				1		2	
傷者					2						2	9		13	
件数	合計	2	2	3	0	8	1	20	27	11	74			74	100.0
死者		0	0	0	0	2	0	2	1	1	6			6	
傷者		4	2	4	0	6	2	27	32	16	93			93	

件数の構成率(%)	2.7	2.7	4.1	0.0	10.8	1.4	27.0	36.5	14.9	100.0
-----------	-----	-----	-----	-----	------	-----	------	------	------	-------

11 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

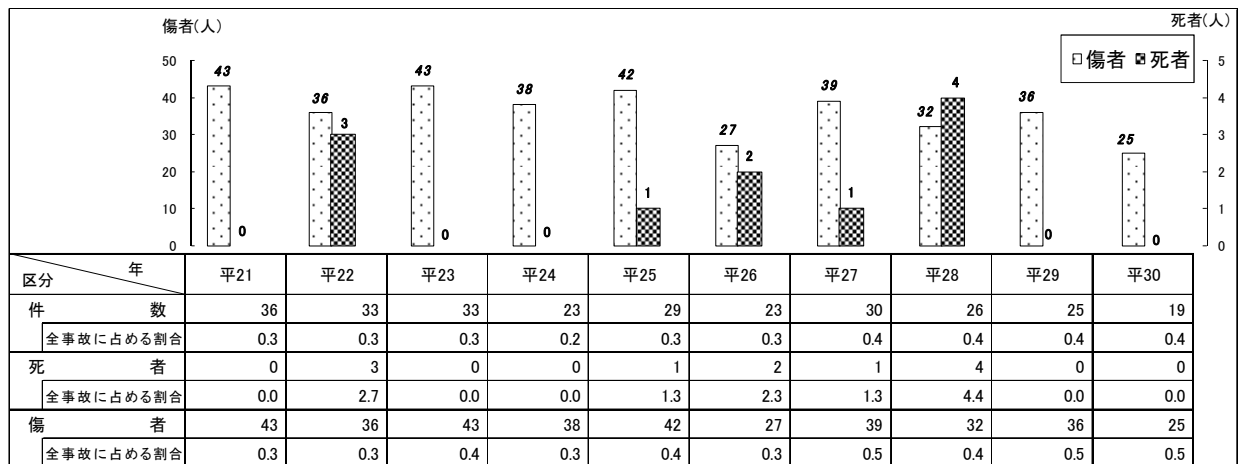
(1) 概況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

発生件数	19件	(前年比)	-6件	24.0%減
死者数	0人	(前年比)	±0人	増減なし
傷者数	25人	(前年比)	-11人	30.6%減

で、死者は前年に引き続きなく、発生件数、傷者数は減少した。

(単位：件・人・%)



(2) 月別

無免許運転が最も多いのは、9月の5件、次いで4月、8月、11月の3件となっている。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数				2	3		2		3	5		3	1	19
死者														0
傷者				4	4		2		4	7		3	1	25

(3) 発生地別

無免許運転は市部での発生が多く、最も多いいわき市は、無免許運転事故の42.1パーセントを占めている。

(単位：件・人)

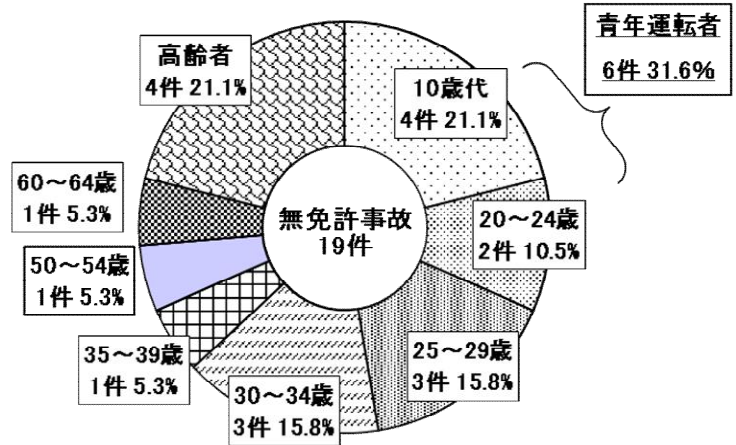
発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	2			4			1		4		8				19
死者															0
傷者	3			4			2		5		11				25

(4) 年齢別

青年運転者が6件で31.6パーセントを占め、次いで高齢者が4件と続いている。

(単位：件)

年齢		区分	件数	年齢	区分	件数
10歳代	16歳未満		1	35～39歳		1
	16歳		1	40～44歳		
	17歳		2	45～49歳		
	18歳			50～54歳		1
	19歳			55～59歳		
計			4	60～64歳		1
20～24歳			2	高齢者		4
25～29歳			3	合計		19
30～34歳			3			

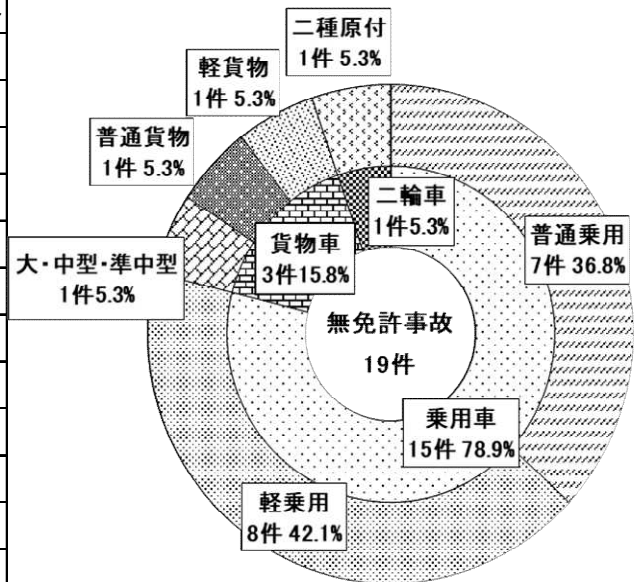


(5) 車種別

車種別では、軽乗用車の事故が8件、次いで普通乗用車の事故が7件の順となっており、両車種による事故の合計は15件となり、全体の78.9パーセントを占めている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		件数	構成率 (%)	件数	無免許の割合
乗用車	バス・マイクロバス		0.0	17	0.0
	普通	7	36.8	2,303	0.3
	軽(ミニカーを含む)	8	42.1	1,394	0.6
計		15	78.9	3,714	0.4
貨物車	大型・中型・準中型	1	5.3	237	0.4
	普通	1	5.3	211	0.5
	軽	1	5.3	342	0.3
計		3	15.8	790	0.4
特殊車(大型・小型)			0.0	4	0.0
二輪車	小型二輪		0.0	12	0.0
	軽二輪		0.0	4	0.0
	二種原付	1	5.3	5	20.0
	原付		0.0	9	0.0
計		1	5.3	30	3.3
合計		19	100.0	4,538	0.4



* 全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など54件を除く

(6) 職業別

建設業が7件（36.8%）と多く、次いで無職が6件となっている。

(単位：件)

区分	職業											
	職業 運転手	官 公 署	農 林 漁 業	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	運 輸 業	サ ー ビ ス 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数				7		1		4		6	1	19
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	36.8	0.0	5.3	0.0	21.1	0.0	31.6	5.3	100

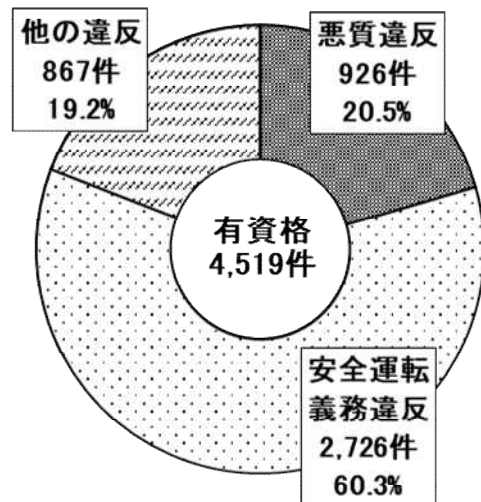
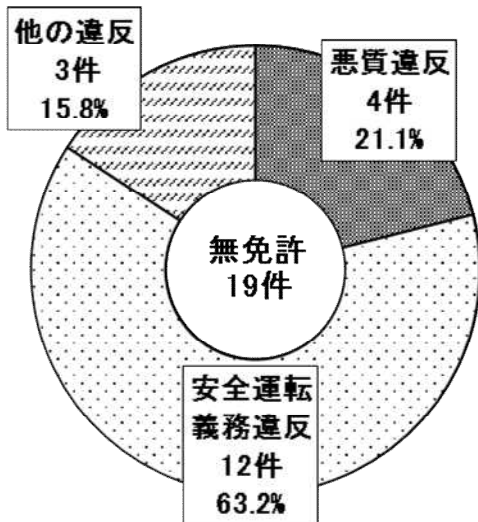
(7) 違反別・原因別

前方不注意、動静不注意が最も多く各4件（各21.1%）、安全運転義務違反は12件で無免許運転全体の63.2%を占めている。

有資格者と無免許における悪質違反による事故の構成率は、それぞれ20.7%、21.1%とほぼ同じ割合となっている。

(単位：件)

違反	区分		件数		違反	区分		件数	
				構成率(%)					構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視			0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	過 労 運 転			0.0
	最 高 速 度	1	5.3	ハ ン ド ル ・ プ レ ー キ 操 作		1	5.3		
	通 区 ・ 追 越	1	5.3	前 方 不 注 意		4	21.1		
	歩 行 者 妨 害 等	1	5.3	動 静 不 注 視		4	21.1		
	一 時 不 停 止	1	5.3	安 全 不 確 認		3	15.8		
	酒 酔 い 運 転		0.0	安 全 速 度			0.0		
計		4	21.1	そ の 他		0.0			
車 間 距 離 不 保 持			0.0	計		12	63.2		
優 先 通 行 妨 害 等	1	5.3		そ の 他	1	5.3			
交 差 点 安 全 進 行	1	5.3		合 計		19	100.0		
左 折 違 反			0.0	飲 酒 運 転 (内 数)			0.0		



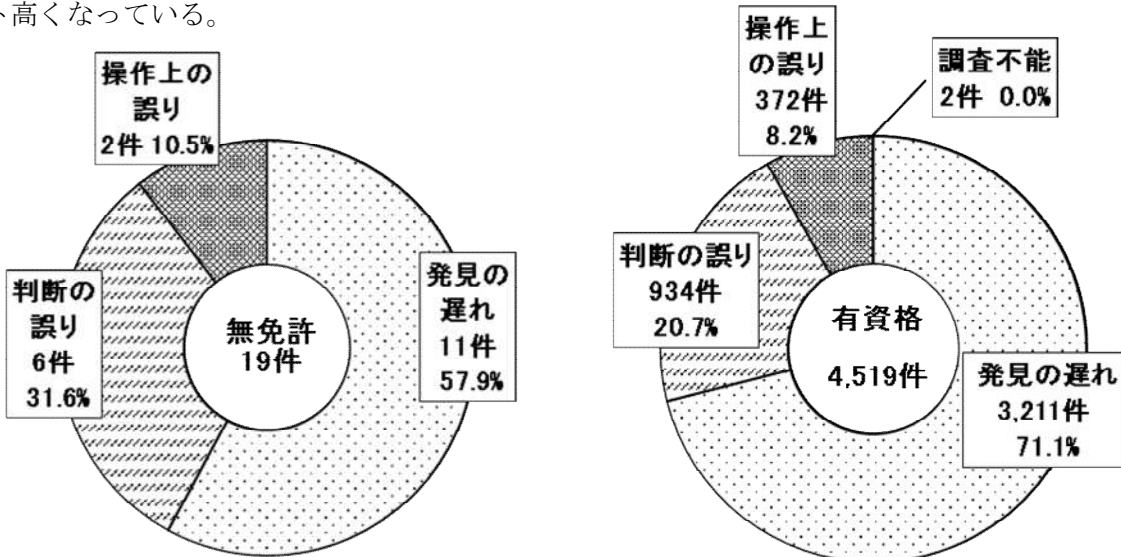
(8) 人的原因別

発見の遅れが11件で、無免許運転事故の57.9パーセントを占め最も多い。安全不確認が6件、前方不注意が5件となっている。

(単位：件)

人的原因	件数	人的原因	件数
合計	19	予測不適	計 1
発見の遅れ	計 11	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	
前方不注意	計 5	相手がルールを守ると思った	
内在的(漫然等)	計 1	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	1
雑談や携帯電話等で話していた		交通環境	計 0
その他、考え事等の漫然運転	1	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
外在的(脇見等)	計 4	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした		交通規制に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見		交通安全施設に対する認識を誤った	
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	1	障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	1	その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		操作上の誤り(操作不適)	計 2
道、案内標識等を探して脇見		ブレーキとアクセルの踏み違い	
風景、地物等に脇見		ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	1
他の車、歩行者に脇見		急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他脇見	2	ハンドルの操作不適	
安全不確認	計 6	ギヤの入れ違い	
安全確認をしなかった	2	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	4	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
判断の誤り等	計 6	その他の操作不適	1
動静不注意	計 5	調査不能	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った			
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	5		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では判断の誤りの構成率が10.9ポイント高くなっている。



12 二輪車の事故

(1) 二輪車による事故

ア 概況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 30件（前年比 -12件 28.6%減）

死者数 7人（前年比 -2人 22.2%減）

傷者数 33人（前年比 -6人 15.4%減）

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

車種別にみると、発生件数、死者数、傷者数とも小型二輪が多く、二輪車事故の40.0パーセントを占めている。

（単位：件・人）

区分 車種	本 年		死 者		傷 者		増 減 数			増 減 率 (%)		
	件 数	構成率(%)	件 数	構成率(%)	件 数	構成率(%)	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小 型 二 輪	12	40.0	3	42.9	16	48.5	-9	-2	-5	-42.9	-40.0	-23.8
軽 二 輪	4	13.3	2	28.6	2	6.1	2	1	0	100.0	100.0	0.0
二 種 原 付	5	16.7		0.0	7	21.2	2	0	4	66.7	-	133.3
原 付	9	30.0	2	28.6	8	24.2	-7	-1	-5	-43.8	-33.3	-38.5
合 計	30	100.0	7	100.0	33	100.0	-12	-2	-6	-28.6	-22.2	-15.4

死亡事故率をみると軽二輪が高くなっている。

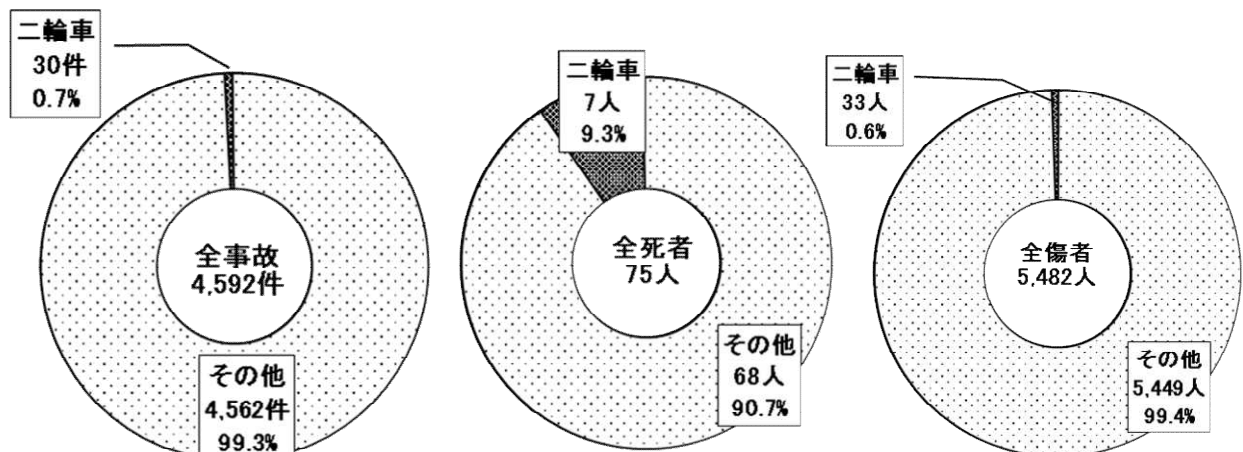
（単位：件・%）

区分 車種	二 輪 車						二 輪 車					合 計
	普 乗	軽 乗	大 貨 等	普 貨	軽 貨	四 輪 其 他	小 型 二 輪	軽 二 輪	二 種 原 付	原 付	計	
車種別事故件数	2,303	1,394	237	211	342	21	12	4	5	9	30	4,538
死亡事故件数	24	19	7	2	11	1	3	2	0	2	7	71
死亡事故率	1.0	1.4	3.0	0.9	3.2	4.8	25.0	50.0	0.0	22.2	23.3	1.6

（軽車両、歩行者の第一当事者、当事者不明の交通事故を除く）

$$(注) 死亡事故率 = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は0.7パーセントであるのに対し、死者の構成率は9.3パーセントと高くなっている。

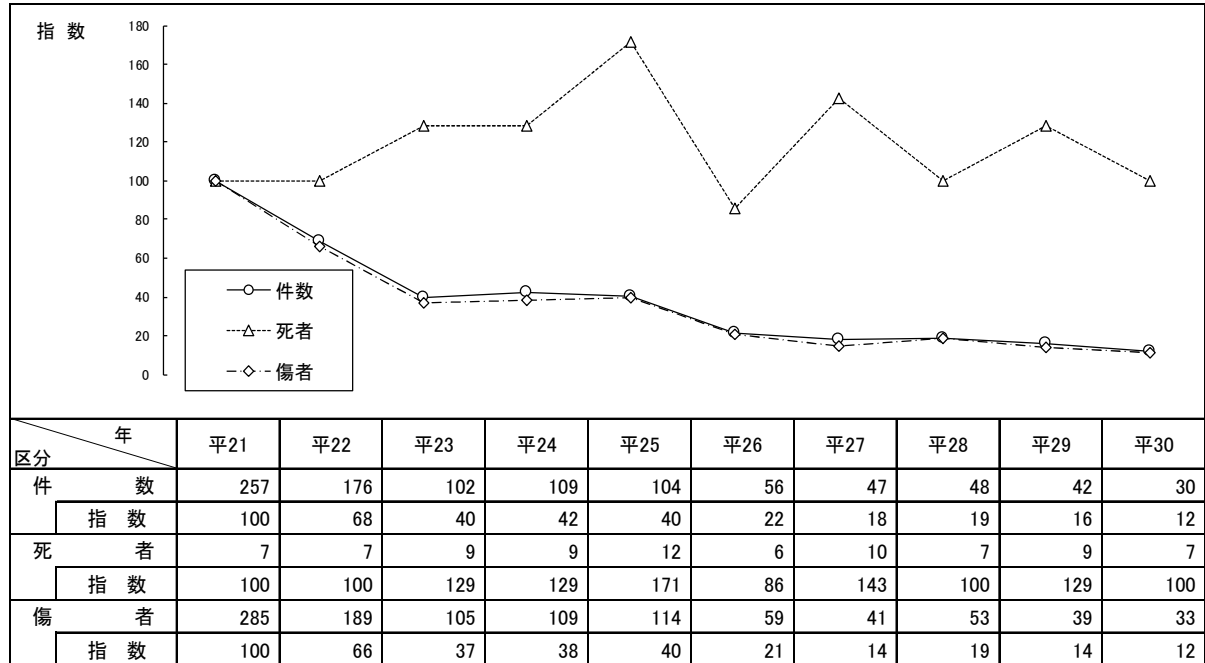


イ 年別推移

(7) 発生件数、死者数、傷者数

死者数は増減があるが、発生件数、傷者数は減少傾向である。

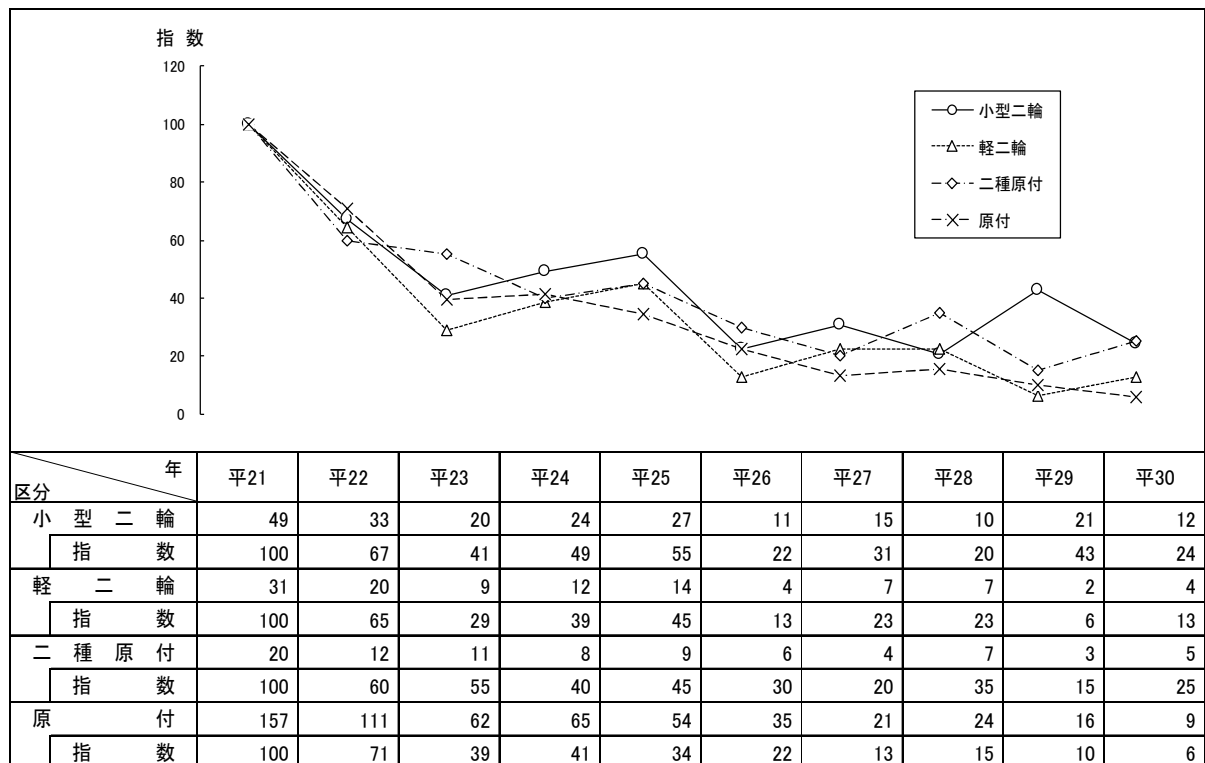
(単位：件・人)



(イ) 車種別交通事故発生件数

全体的に減少傾向で推移している。

(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は、青年運転者が8件（26.7%）と多く、次いで高齢者が7件と多い。

（単位：件・%）

区分	年齢					計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳	青年運転者								
全運転者の事故	1	1	174	451	627	363	690	732	707	355	1,064	4,538	
構成率(%)	0.0	0.0	3.8	9.9	13.8	8.0	15.2	16.1	15.6	7.8	23.4	100.0	
二輪車事故	1		4	3	8		3	6	5	1	7	30	
構成率(%)	3.3	0.0	13.3	10.0	26.7	0.0	10.0	20.0	16.7	3.3	23.3	100.0	
全運転者事故に占める割合	0.0	0.0	2.3	0.7	1.3	0.0	0.4	0.8	0.7	0.3	0.7	0.7	

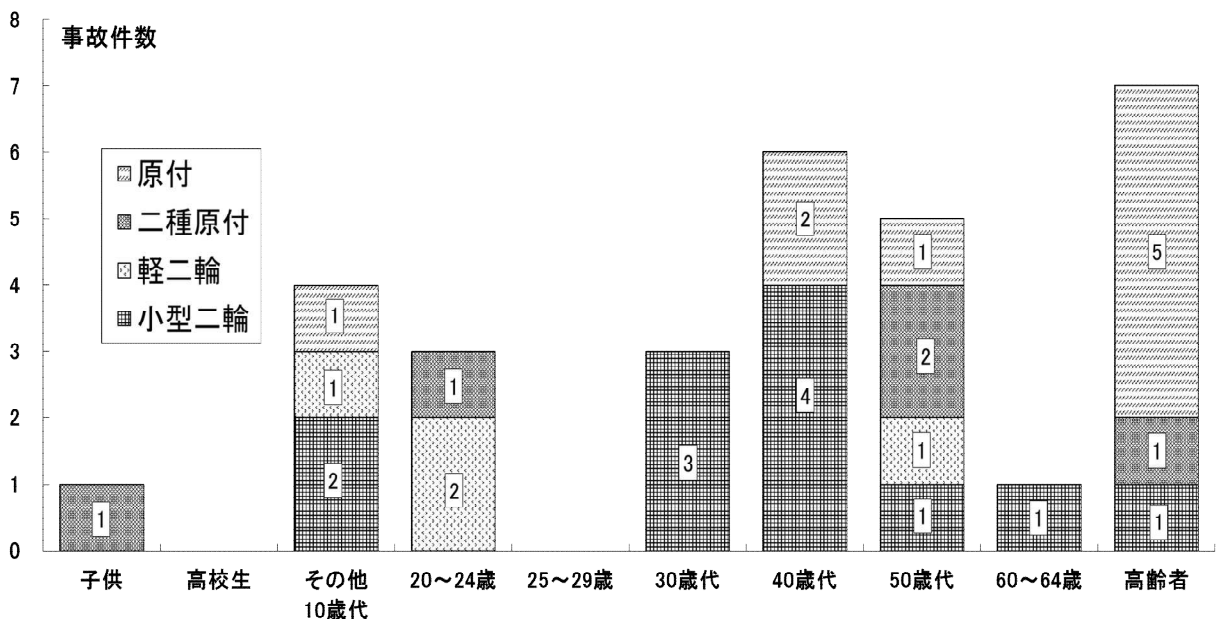
* 軽車両、歩行者の第1当事者、当事者不明の交通事故を除く

エ 年齢別・車種別

軽二輪の年齢別構成率では、青年運転者が75.0パーセントを占め、原付の年齢別構成率では、高齢者が55.6パーセントを占めている。

（単位：件）

区分	年齢					計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳	青年運転者								
小型二輪			2		2		3	4	1	1	1	12	
構成率(%)	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	25.0	33.3	8.3	8.3	8.3	100.0	
軽二輪			1	2	3				1			4	
構成率(%)	0.0	0.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	100.0	
二種原付	1			1	2				2		1	5	
構成率(%)	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	100.0	
原付			1		1			2	1		5	9	
構成率(%)	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	55.6	100.0	



オ 車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は63.3パーセントを占めている。

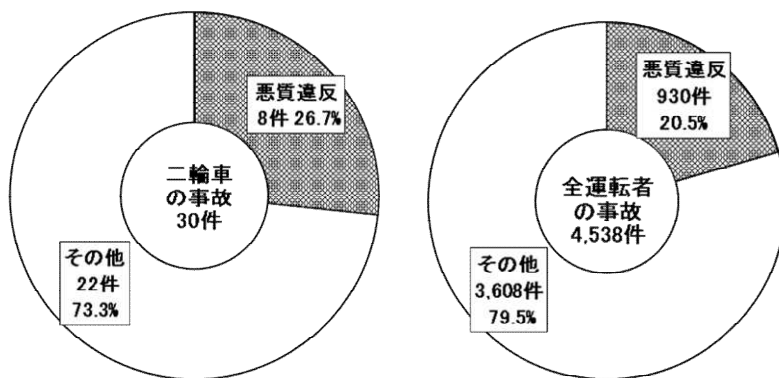
(単位：件)

経験年数	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	
1年未満	2	16.7	3	75.0		0.0	1	11.1	6	20.0
1～2年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
2～3年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
3～4年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
4～5年	2	16.7		0.0		0.0		0.0	2	6.7
10年未満		0.0		0.0	1	20.0	1	11.1	2	6.7
10年以上	8	66.7	1	25.0	3	60.0	7	77.8	19	63.3
無免許		0.0		0.0	1	20.0		0.0	1	3.3
合計	12	100.0	4	100.0	5	100.0	9	100.0	30	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は、26.7パーセントとなっており、全運転者の事故と比較して6.2ポイント高くなっている。

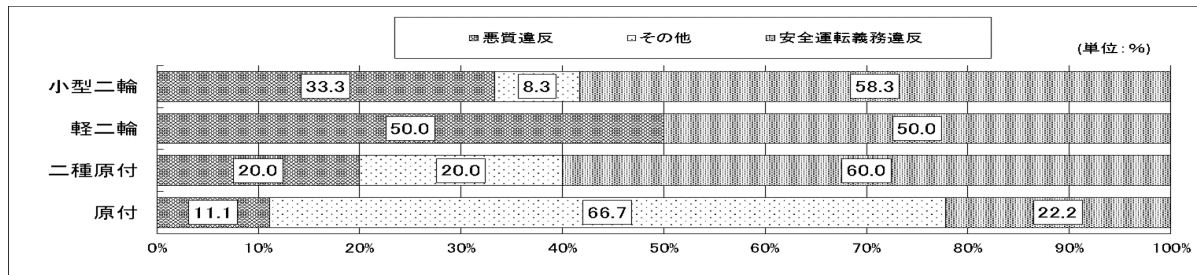
車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは、軽二輪で50.0パーセントとなっている。



二輪車の車種別違反割合では、原付以外で安全運転義務違反が高くなっている。

(単位：件)

違反	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	
悪質違反										
信号無視		0.0	1	25.0		0.0		0.0	1	3.3
最高速度超過	1	8.3		0.0		0.0		0.0	1	3.3
追越	2	16.7	1	25.0	1	20.0		0.0	4	13.3
歩行者妨害等		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
一時不停止	1	8.3		0.0		0.0	1	11.1	2	6.7
酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
計	4	33.3	2	50.0	1	20.0	1	11.1	8	26.7
横断禁止等		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
右・左折違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
優先通行妨害等		0.0		0.0	1	20.0	4	44.4	5	16.7
交差点安全進行		0.0		0.0		0.0	2	22.2	2	6.7
徐行違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
安全運転義務違反										
ハンドル・ブレーキ操作	1	8.3	1	25.0		0.0		0.0	2	6.7
前方不注意	1	8.3	1	25.0	1	20.0		0.0	3	10.0
動静不注意	1	8.3		0.0		0.0	2	22.2	3	10.0
安全確認		0.0		0.0	2	40.0		0.0	2	6.7
安全速度	2	16.7		0.0		0.0		0.0	2	6.7
その他	2	16.7		0.0		0.0		0.0	2	6.7
計	7	58.3	2	50.0	3	60.0	2	22.2	14	46.7
その他	1	8.3		0.0		0.0		0.0	1	3.3
合計	12	100.0	4	100.0	5	100.0	9	100.0	30	100.0



キ 車種別・事故類型別

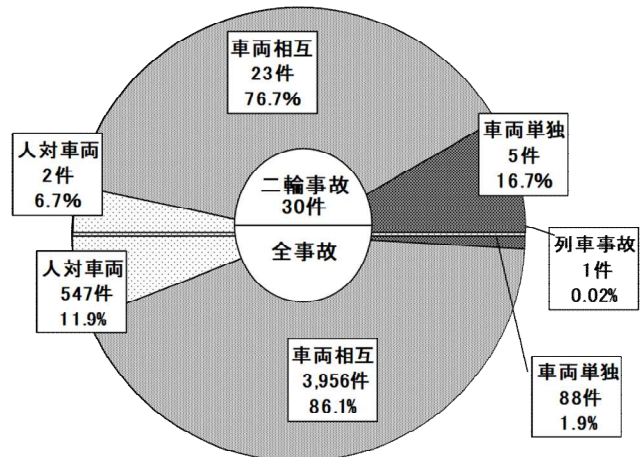
(単位：件・%)

類型	車種	全 事 故		二 輪 合 計		小 型 二 輪		軽 二 輪		二 種 原 付		原 付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人対車両	横断中	347	7.6	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	対面・背面	64	1.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	その他	136	3.0	2	6.7	1	8.3		0.0	1	20.0		0.0
	計	547	11.9	2	6.7	1	8.3	0	0.0	1	20.0	0	0.0
車両相互	正面衝突	191	4.2	3	10.0	1	8.3	1	25.0	1	20.0		0.0
	追突	219	4.8	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	進行中駐・停止中	1,627	35.4	5	16.7	3	25.0	1	25.0		0.0	1	11.1
	出会い頭	1,129	24.6	12	40.0	1	8.3	1	25.0	2	40.0	8	88.9
	追越・追抜	39	0.8	1	3.3	1	8.3		0.0		0.0		0.0
	右折時	322	7.0	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左折時	109	2.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	その他	320	7.0	2	6.7	2	16.7		0.0		0.0		0.0
	計	3,956	86.1	23	76.7	8	66.7	3	75.0	3	60.0	9	100.0
	車両単独	工作物衝突	59	1.3	4	13.3	2	16.7	1	25.0	1	20.0	
路外逸脱		3	0.1	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
転倒		2	0.0	1	3.3	1	8.3		0.0		0.0		0.0
駐車車両衝突		13	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
その他		11	0.2	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
計	88	1.9	5	16.7	3	25.0	1	25.0	1	20.0	0	0.0	
踏切	1	0.0	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
合計	4,592	100.0	30	100.0	12	100.0	4	100.0	5	100.0	9	100.0	

全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別構成率の対比では、

- ・人対車両・・・ 5.2ポイント低い
- ・車両相互・・・ 9.4ポイント低い
- ・車両単独・・・ 14.8ポイント高い

特に車両単独では、工作物衝突が高い等の特徴がみられる。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の86.7パーセント（26件）が昼間に発生している。
道路別に対比すると、市町村道での発生が13件と最も多く43.3パーセントを占める。
夜間の発生は国道と県道のみで発生（4件）している。

(単位：件・%)

昼夜	国 道						計	県 道			市 村 町 道	高速道	その他	合 計
	4号	6号	13号	49号	三	桁		主要	一 般 道	計				
昼 間		1		1	4	6	3	2	5	13	1	1	26	
構成率(%)	0.0	3.8	0.0	3.8	15.4	23.1	11.5	7.7	19.2	50.0	3.8	3.8	100.0	
夜 間	1			1	1	3		1	1				4	
構成率(%)	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
薄暮(内数)						0			0	2			2	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	
合 計	1	1	0	2	5	9	3	3	6	13	1	1	30	
構成率(%)	3.3	3.3	0.0	6.7	16.7	30.0	10.0	10.0	20.0	43.3	3.3	3.3	100.0	

ケ 道路線形別

全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、全二輪事故のうち右カーブが3.4パーセント、左カーブが10.3パーセントを占めている。

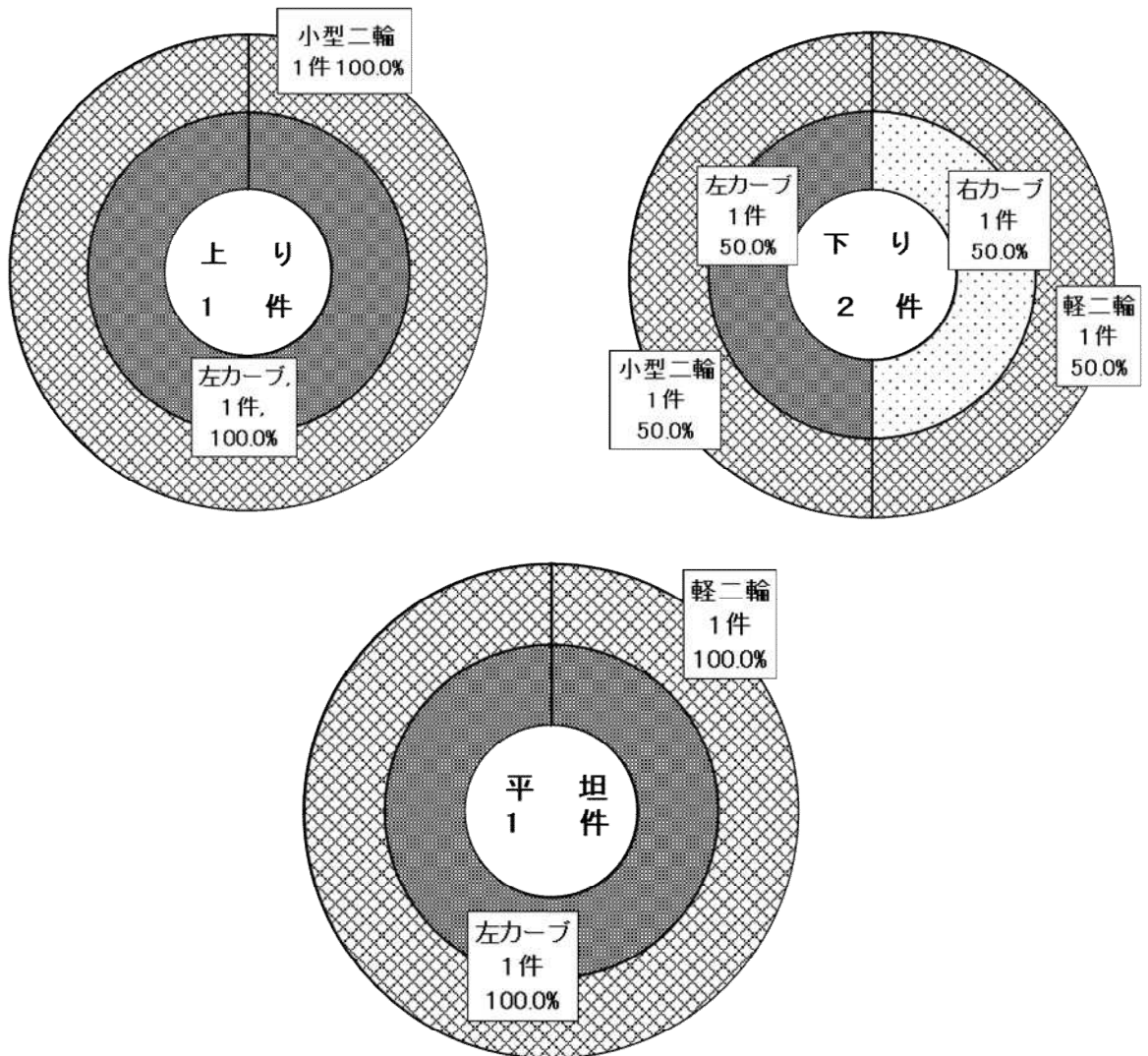
(単位：件)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
上り	右カーブ	16	0.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	22	0.5	1	3.4	1	8.3		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	22	0.5	1	3.4		0.0	1	25.0		0.0		0.0
	左カーブ	36	0.8	1	3.4	1	8.3		0.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	71	1.6	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	98	2.3	1	3.4		0.0	1	25.0		0.0		0.0
直線	上り	99	2.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	下り	161	3.7	5	17.2	3	25.0		0.0	1	25.0	1	11.1
	平坦	3,783	87.8	20	69.0	7	58.3	2	50.0	3	75.0	8	88.9
合計	右カーブ	109	2.5	1	3.4	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0
	左カーブ	156	3.6	3	10.3	2	16.7	1	25.0	0	0.0	0	0.0

* 一般交通の場所(駐車場等)は除く。

全事故件数	4,308	100	29	100	12	100	4	100	4	100	9	100
-------	-------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---	-----	---	-----

* 全事故は第1当事者が軽車両、歩行者、不明を除く。



(2) 二輪車の死傷者

ア 概況

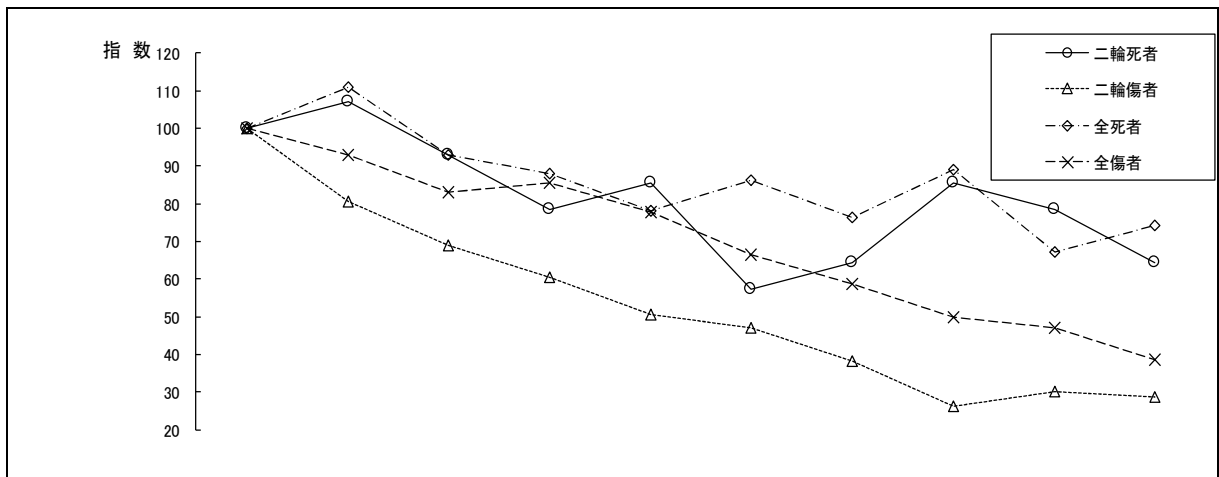
二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 9人（前年比 -2人 18.2%減）

傷者数 188人（前年比 -11人 5.5%減）

で、死者数、傷者数ともに減少した。

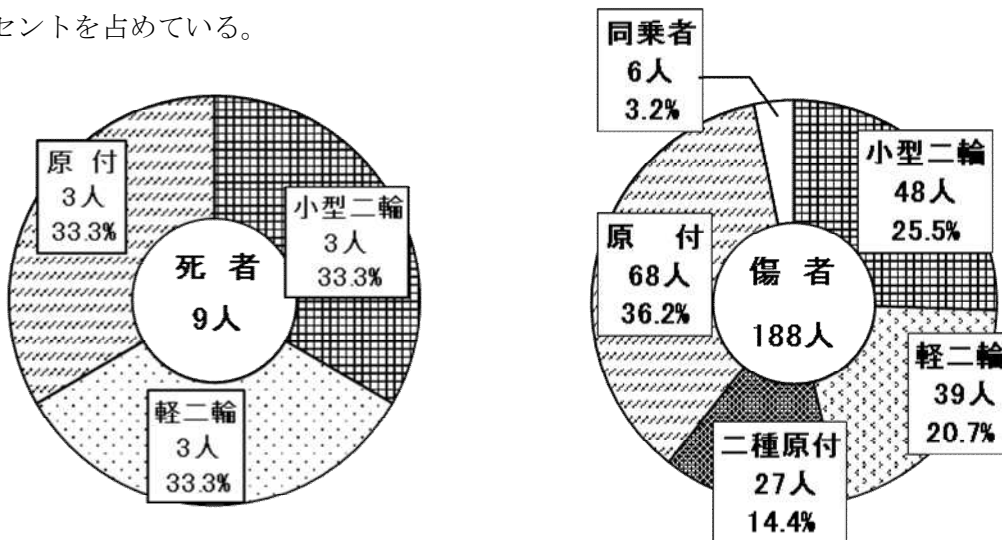
（単位：人）



区分	年	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
二輪車の事故	死者	14	15	13	11	12	8	9	12	11	9
	指数	100	107	93	79	86	57	64	86	79	64
被害	傷者	659	532	455	398	334	311	251	172	199	188
	指数	100	81	69	60	51	47	38	26	30	29
全	死者	101	112	94	89	79	87	77	90	68	75
	指数	100	111	93	88	78	86	76	89	67	74
被害	傷者	14,242	13,253	11,855	12,188	11,061	9,450	8,344	7,112	6,710	5,482
	指数	100	93	83	86	78	66	59	50	47	38

イ 車種別

車種別にみると、死者は小型二輪、軽二輪、原付がそれぞれ3人で、傷者は原付が多く36.2パーセントを占めている。



ウ 年齢別

年齢別にみると、死者は高齢者が4人で44.4パーセントを占め、傷者も高齢者が38人で20.2パーセントを占めている。

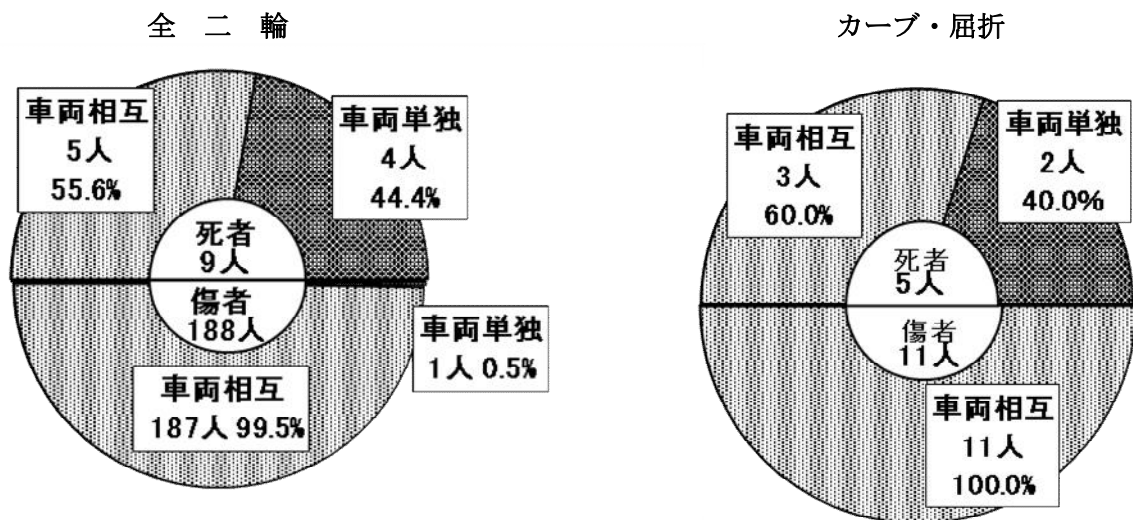
(単位：人)

車種		年齢								合計
		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	
二輪車	死者	1	1	0	1	0	1	1	4	9
	構成率(%)	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	44.4	100
計	傷者	15	20	14	25	31	33	12	38	188
	構成率(%)	8.0	10.6	7.4	13.3	16.5	17.6	6.4	20.2	100.0
小型二輪	死者				1			1	1	3
	傷者	5	5	3	7	15	10	2	1	48
軽二輪	死者	1	1				1			3
	傷者	3	8	3	4	8	9	2	2	39
二種原	死者									0
	傷者	1	1	2	6	2	7	6	2	27
原付	死者								3	3
	傷者	2	6	6	7	5	7	2	33	68
同乗者	死者									0
	傷者	4			1	1				6

エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者、傷者ともに車両相互によるものが多い。

カーブ・屈折でも、死者、傷者ともに車両相互によるものが多い。



オ ヘルメット着用状況

自動二輪と原付の着用率はほぼ変わらず、約99パーセントとなっている。

(単位：人)

車種	区分	死者		傷者		合計	
		ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪		6	100.0	120	99.2	126	99.2
原付		3	100.0	68	98.5	71	98.6
合計		9	100.0	188	98.9	197	99.0

13 タクシーの事故

(1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 42件 (前年比 -13人 23.6%減)

死者数 0人 (前年比 -1人 100.0%減)

傷者数 51人 (前年比 -10人 16.4%減)

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

タクシーが第2当事者になった事故は、

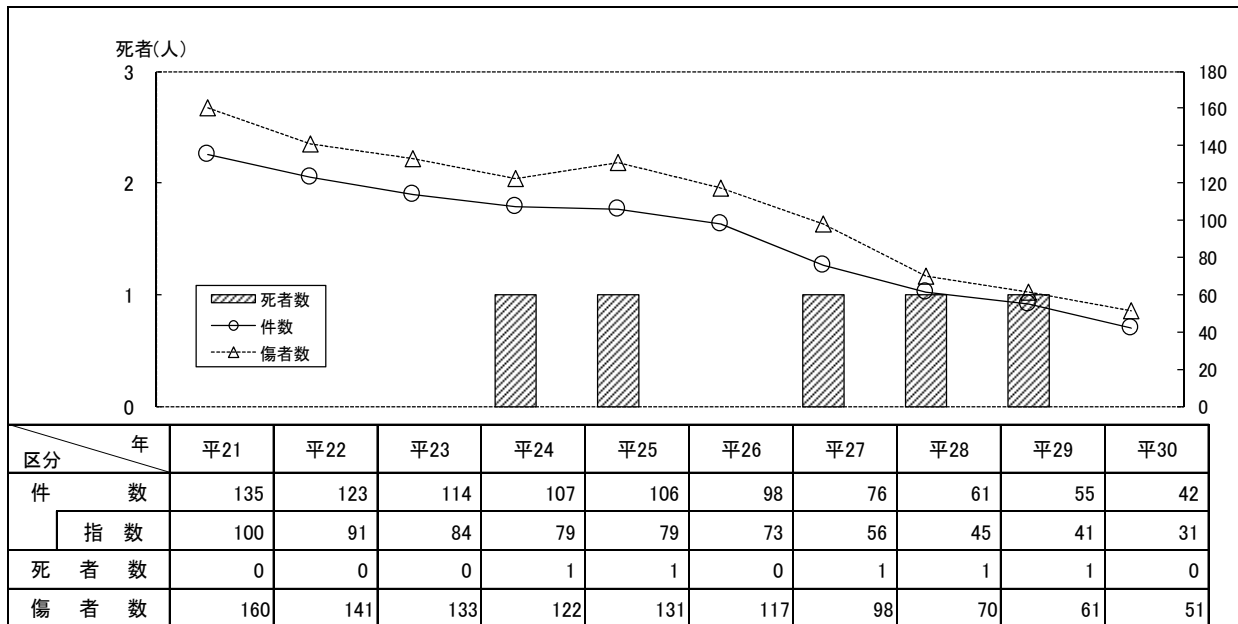
発生件数 33件 (前年比 -11件 25.0%減)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

傷者数 39人 (前年比 -6人 13.3%減)

で、死者数は同数で発生件数、傷者数は減少した。

(単位：件・人)



(2) 月別

1月が8件と最も多く、次いで12月の6件の順となっている。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		8	2	4	3	3	3	4	3	1	3	2	6	42
死者数														0
傷者数		10	2	4	3	3	3	5	4	1	6	2	8	51

(3) 年齢別

高齢者が23件で最も多く、タクシー事故の54.8パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
件数	件数	1		2	1	8	7	23	42
	構成率(%)	2.4	0.0	4.8	2.4	19.0	16.7	54.8	100.0

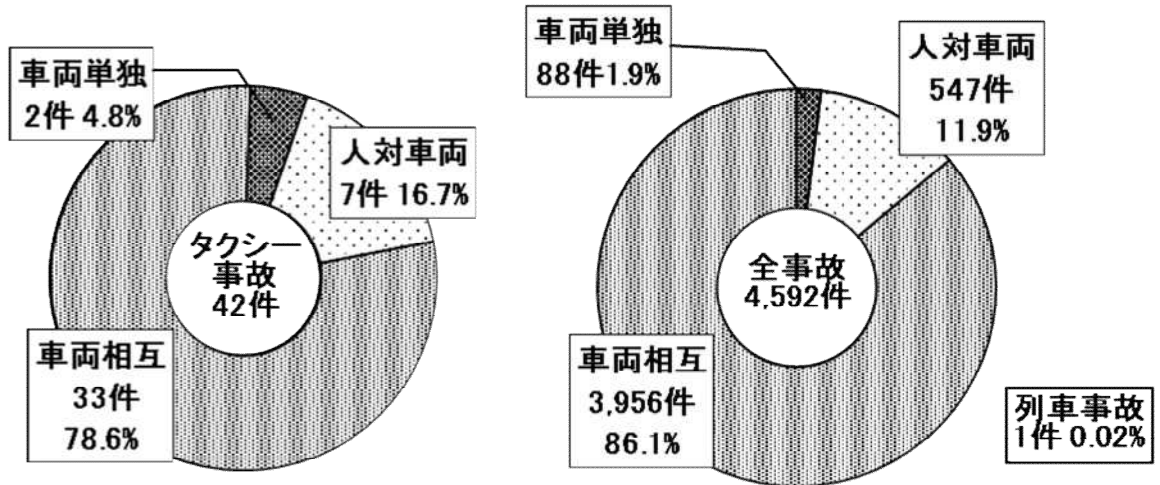
(4) 事故類型別

車両相互の事故が33件（78.6%）と最も多く、うち出会い頭が42.9パーセントと高い。

全事故と比較すると、人対車両と車両単独事故の占める割合が高くなっている。

(単位：件)

区分	類型	人対車両			車両相互						車両単独			合計			
		通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	工作物衝突	路外逸脱	その他				
件数	件数		6	1	7	3	8	18	1	3		33			2	2	42
	構成率(%)	0.0	14.3	2.4	16.7	7.1	19.0	42.9	2.4	7.1	0.0	78.6	0.0	0.0	4.8	4.8	100



(5) 違反別

安全運転義務違反の事故が16件と多く、38.1パーセントを占めている。

悪質違反は11件で26.2パーセントを占めている。

(単位：件)

違反	悪質違反						計	安全運転義務違反											その他	合計
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転		横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	その他			
件数	件数	1		1	4	5	11	2	1	7	3	1	3	5	5	3		16	1	42
	構成率(%)	2.4	0.0	2.4	9.5	11.9	26.2	4.8	2.4	16.7	7.1	2.4	7.1	11.9	11.9	7.1	0.0	38.1	2.4	100

14 バスの事故

(1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 7件（前年比 -3件 30.0%減）
 死者数 0人（前年比 -1人 100.0%減）
 傷者数 10人（前年比 ±0人）

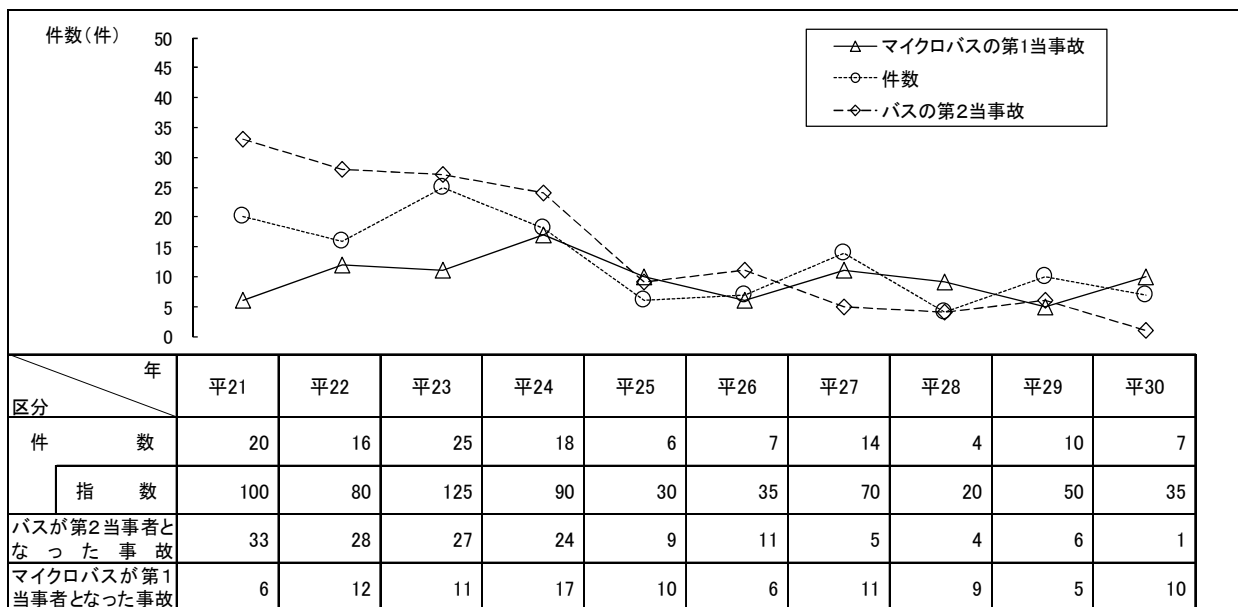
で、傷者数は同数であったが、発生件数、死者数は減少した。

バスが第2当事者となった事故は、

発生件数 1件（前年比 -5件 83.3%減）
 死者数 0人（前年比 ±0人）
 傷者数 1人（前年比 -7人 87.5%減）

で、死者数は同数であったが、発生件数、傷者数は減少した。

(単位：件)



※ バス～乗車定員が30人以上、マイクロバス～乗車定員が11～30人未満

〈参考〉

マイクロバスが第1当事者となった事故

発生件数 10件（前年比 +5件 100.0%増）
 死者数 0人（前年比 ±0人）
 傷者数 11人（前年比 +4人 57.1%増）

マイクロバスが第2当事者となった事故

発生件数 6件（前年比 +2件 50.0%増）
 死者数 0人（前年比 -1人 100.0%減）
 傷者数 14人（前年比 -14人 50.0%減）

(2) 月別

バス運転者が第1当事者となった事故は、9月の2件が最も多かった。

第2当事者になった事故は4月に1件発生した。

(単位：件・人)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1当事者	件数		1	1		1				2		1	1	7
	死者数													0
	傷者数		1	1		2				3		1	2	10
第2当事者	件数				1									1
	死者数													0
	傷者数				1									1

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスが4件、貸切バスが3件発生し、第2当事者になった事故は、路線バスが1件発生した。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者			計	第2当事者			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件数		4	3		7	1			1
死者					0				0
傷者		5	5		10	1			1

(4) 年齢別

50歳代と60～64歳が第1当事者となった事故が各2件で最も多かった。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者(65歳以上)	合計
第1当事者				1	1	2	2	1	7
第2当事者							1		1

(5) 道路別

第1当事者となった事故は、国道が3件で最も多く42.9パーセントを占めている。

(単位：件)

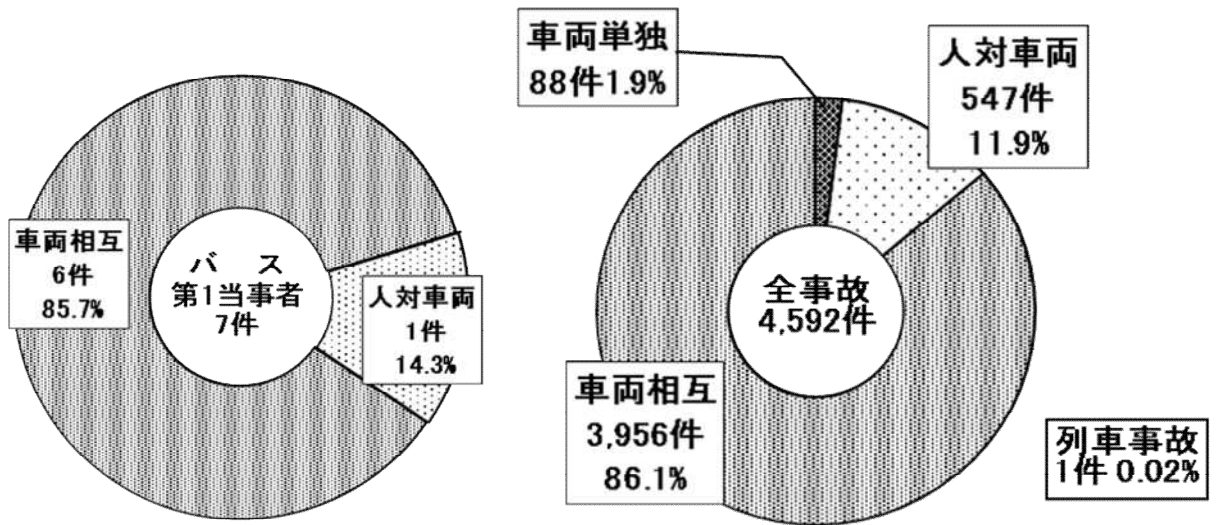
区分	道路	国 道					計	県 道			市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三 析		主 要 地 方 道	一 般 道	計				
第1当事者		1	2				3	1	1	2	2			7
第2当事者						1	1			0				1

(6) 事故類型別

全事故と比較すると、人対車両事故の割合が高い。

(単位：件)

区分	人 対 車 両				車 両 相 互						車 両 単 独			合 計		
	通 行 中	横 断 中	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱		そ の 他	計
件 数	1			1		2	2	1	1		6				0	7
構成率(%)	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が4件で57.1パーセントを占めている。

(単位：件)

違反	区分	件 数		違反	区分	件 数		
		件	構成率(%)			件	構成率(%)	
悪 質 違 反	信 号 無 視	1	14.3	安 全 運 転 義 務 違 反	交 差 点 安 全 進 行		0.0	
	最 高 速 度		0.0		過 労 運 転		0.0	
	通 区 ・ 追 越		0.0		安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ		0.0
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		前 方 不 注 意	2	28.6	
	一 時 不 停 止	1	14.3		動 静 不 注 視	1	14.3	
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 不 確 認	1	14.3	
	計	2	28.6	安 全 速 度		0.0		
横 断 禁 止 等		1	14.3	そ の 他		0.0		
車 間 距 離 不 保 持			0.0	反 計	4	57.1		
進 路 変 更 禁 止			0.0	そ の 他		0.0		
右 ・ 左 折			0.0	歩 行 者 の 違 反		0.0		
優 先 通 行 妨 害 等			0.0	合 計	7	100		

15 ダンプカーの事故

(1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数	36件	(前年比)	-5件	12.2%減
死者数	0人	(前年比)	-3人	100.0%減
傷者数	46人	(前年比)	±0人	

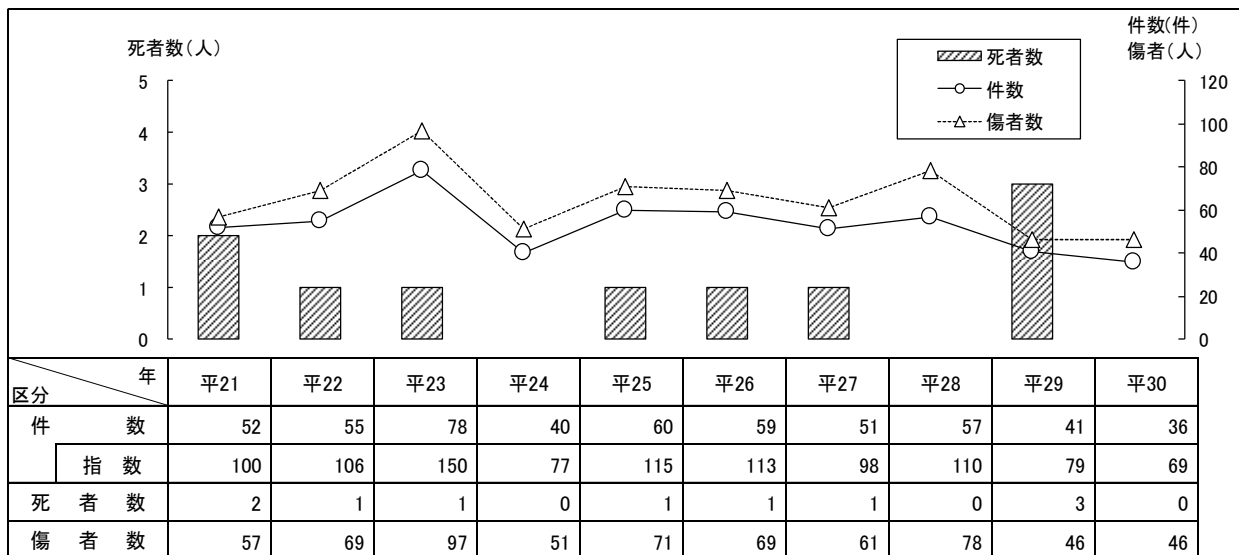
で、傷者数は同数であったが、発生件数、死者数は減少した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

発生件数	14件	(前年比)	-6件	30.0%減
死者数	2人	(前年比)	-1人	33.3%減
傷者数	15人	(前年比)	-6人	28.6%減

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

(単位：件・人)



(2) 月別

2月が8件で最も多く、次いで12月の5件の順となっている。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	2	8	2	4	1	3	3	2	4	1	1	5	36
死者数	死者数													0
傷者数	傷者数	2	9	2	5	1	3	3	2	4	2	3	10	46

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、40歳代が11件で最も多く、次いで60～64歳の7件となっている。また、免許経過年数では、10年以上が31件でダンプ事故の86.1パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満									0
1～2年				1					1
2～3年		1							1
3～4年									0
4～5年				1					1
10年未満			1		1				2
10年以上				2	10	6	7	6	31
無免許									0
合計		1	1	4	11	6	7	6	36

(4) 違反別

動静不注視が10件、前方不注意が6件でダンプ事故の44.4パーセントを占めている。

実質違反は4件で、内訳は信号無視と歩行者妨害等が各2件となっている。

(単位：件)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件	構成率(%)			件	構成率(%)
実質違反	信号無視	2	5.6	交差点安全進行	1	2.8	
	最高速度		0.0	徐行違反		0.0	
	通区・追越		0.0	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	4	11.1
	歩行者妨害等	2	5.6		前方不注意	6	16.7
	一時不停止		0.0		動静不注視	10	27.8
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	5	13.9
計	4	11.1	安全速度			0.0	
			その他			0.0	
横断禁止等			0.0	計	25	69.4	
車間距離不保持			0.0	その他		0.0	
進路変更禁止			0.0	歩行者の違反		0.0	
右・左折	2	5.6		合計	36	100.0	
優先通行妨害等	4	11.1					

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では77.8パーセント、第2当事者では78.6パーセントを占めている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者	傷者
第1当事者	事業用	8		10
	自家用	28		36
	合計	36	0	46

用途	区分	件数	死者	傷者
第2当事者	事業用	3	1	3
	自家用	11	1	12
	合計	14	2	15

16 安全運転管理者選任事業所の事故

(1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

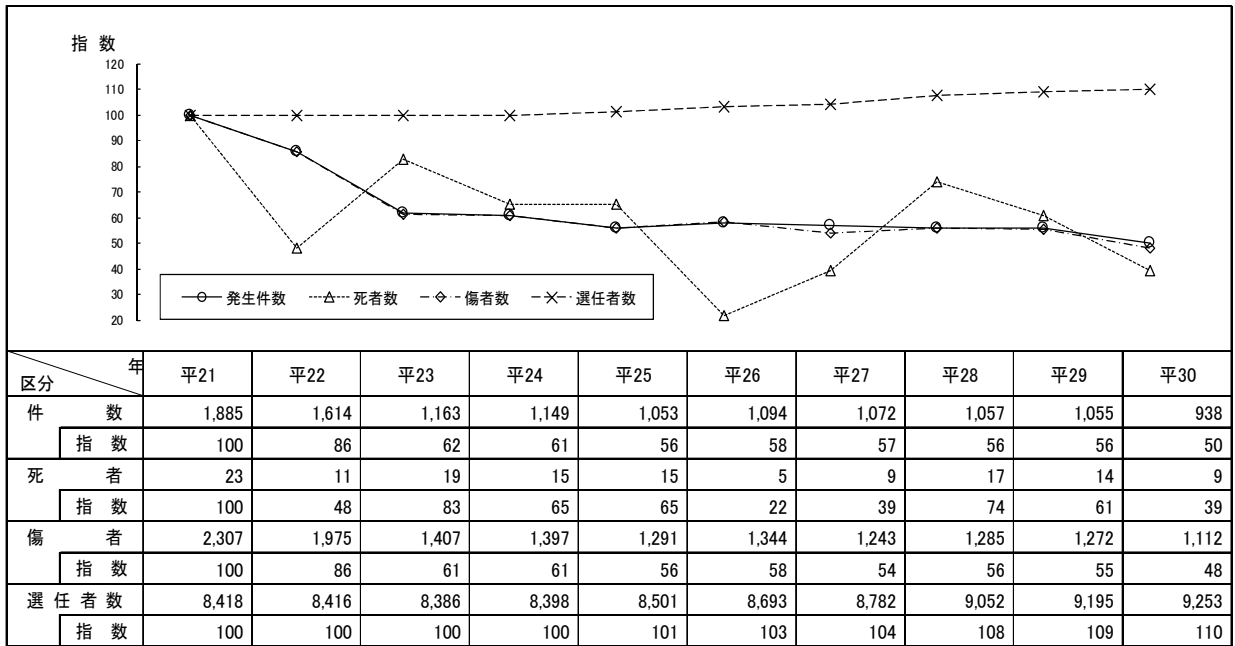
発生件数 938件（前年比 -117件 11.1%減）

死者数 9人（前年比 -5人 35.7%減）

傷者数 1,112人（前年比 -160人 12.6%減）

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

(単位：件・人)



(注) 選任数は各年12月末の数値

(2) 県内に所在する安管の事故

(単位：件・人)

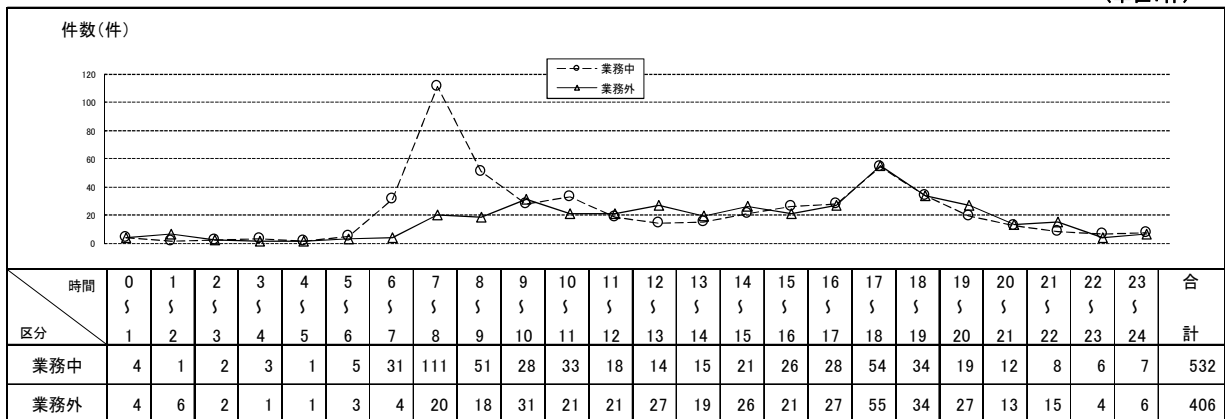
業務外の事故が安管事業所事故の74.7パーセントを占めている。

ア 時間別

業務中、業務外ともに朝夕の通勤時間帯の発生が多い。

区分	件数		死者	傷者
	件数	割合 (%)		
業務中	237	25.3	1	302
業務外	701	74.7	8	810
通勤	295	31.4	2	341
私用中	406	43.3	6	469
調査不能	0	0.0	0	0

(単位：件)



イ 車種別・用途別

(ア) 車種別

業務中では、普通乗用車が253件47.6パーセント、次いで軽乗用車が130件で24.4パーセントを占めている。

業務外では、普通乗用車が247件と最も多く60.8パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	車種	乗 用 車				貨 物 車				特殊車	二 輪 車				計	合計
		大 中	型 型	普 通	軽	計	大 型 準	中 型 型	普 通		軽	計	小 型 二 輪	軽 二 輪		
業 務 中		3	253	130	386	40	64	40	144		1		1		2	532
	構成率(%)	0.6	47.6	24.4	72.6	7.5	12.0	7.5	27.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.4	100
業 務 外		1	247	139	387	1	3	14	18		1				1	406
	構成率(%)	0.2	60.8	34.2	95.3	0.2	0.7	3.4	4.4	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	100

(イ) 用途別

用途別に業務中の事故をみると、自家用・その他が496件で最も多く、業務中事故の93.2パーセントを占めている。

代行運転の事故は14件で、代行车が2件、随伴車（代行会社の車両）が12件となっている。

(単位：件)

区分	車種	事業用	自 家 用				計	その他	合 計
			レンタカー	スクールバス	代 行 運 転				
					代	行			
					随	伴			
業 務 中		17	5		2	12	496	515	532
	構成率(%)	3.2	0.9	0.0	0.4	2.3	93.2	96.8	100
業 務 外			4				402	406	406
	構成率(%)	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	99.0	100.0	100

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で52.4パーセント、業務外で40.6パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	類 型	人 対 車 両			車 両 相 互						車 両 単 独			列 車	合 計	
		横 断 中	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱			そ の 他
業 務 中		42	9	51	13	279	106	14	42	18	472	6		3	9	532
	構成率(%)	7.9	1.7	9.6	2.4	52.4	19.9	2.6	7.9	3.4	88.7	1.1	0.0	0.6	1.7	100
業 務 外		27	25	52	10	165	100	26	31	15	347	6			6	406
	構成率(%)	6.7	6.2	12.8	2.5	40.6	24.6	6.4	7.6	3.7	85.5	1.5	0.0	0.0	1.5	100

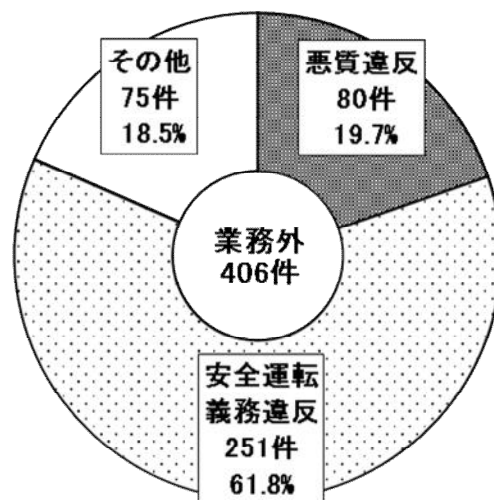
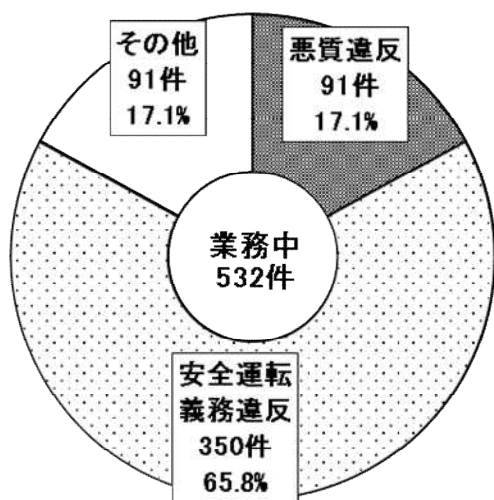
エ 違反別

業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、業務中で65.8パーセント、業務外で61.8パーセントを占めている。

悪質違反では、業務中、業務外とも歩行者妨害等と一時不停止の占める割合が高い。

(単位：件)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)			件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)
悪質違反	信号無視	19	3.6	20	4.9	徐行違反		5	0.9		0.0
	最高速度	1	0.2	2	0.5	過労運転		4	0.8	1	0.2
	通区・追越	8	1.5	5	1.2	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	39	7.3	19	4.7
	歩行者妨害等	40	7.5	26	6.4		前方不注意	137	25.8	98	24.1
	一時不停止	23	4.3	26	6.4		動静不注意	117	22.0	60	14.8
	酒酔い運転		0.0	1	0.2		安全不確認	47	8.8	65	16.0
	計	91	17.1	80	19.7		安全速度	8	1.5	8	2.0
	横断禁止等	10	1.9	9	2.2		予測不適	1	0.2		0.0
	車間距離不保持		0.0	2	0.5		その他	1	0.2	1	0.2
	進路変更禁止	1	0.2	1	0.2		計	350	65.8	251	61.8
右・左折	4	0.8	3	0.7	安全不確認ドア開放			0.0		0.0	
優先通行妨害等	42	7.9	42	10.3	その他			0.0	1	0.2	
交差点安全進行	25	4.7	16	3.9	合計	532	100.0	406	100.0		



オ 原因別

(単位：件)

業務中、業務外とも、発見の遅れが高い割合を占めている。

原因	区分	業務中		業務外	
		件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)
発見の遅れ		349	65.6	304	74.9
判断の誤り等		143	26.9	77	19.0
操作上の誤り		40	7.5	25	6.2
調査不能			0.0		0.0
合計		532	100	406	100

17 県外居住者の事故

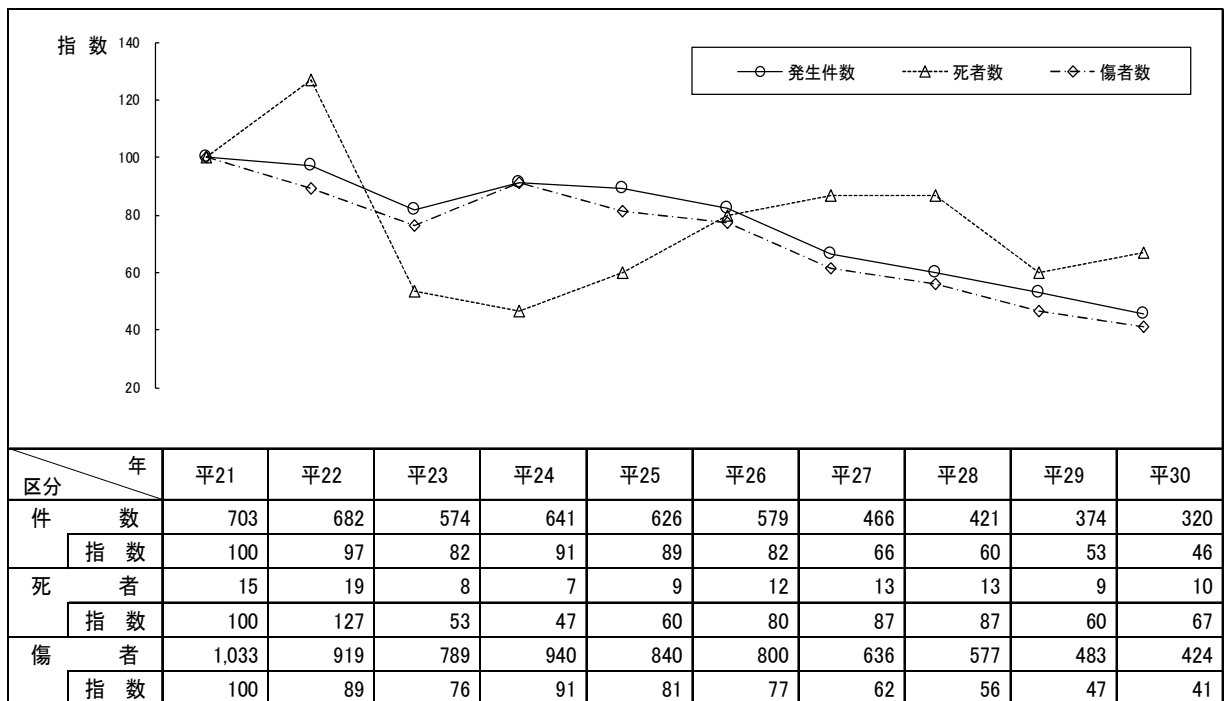
(1) 概況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数	320件	(前年比	-54件	14.4%減)
死者数	10人	(前年比	+1人	11.1%増)
傷者数	424人	(前年比	-59人	12.2%減)

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

(単位：件・人)



(2) 月別

1月と5月が34件で最も多く、次いで2月と8月の31件となっている。

全事故に占める割合でみると、8月が8.6パーセントで最も高く、最も低い12月（5.4%）と比較すると3.2ポイントの差となっている。

(単位：件・人・%)

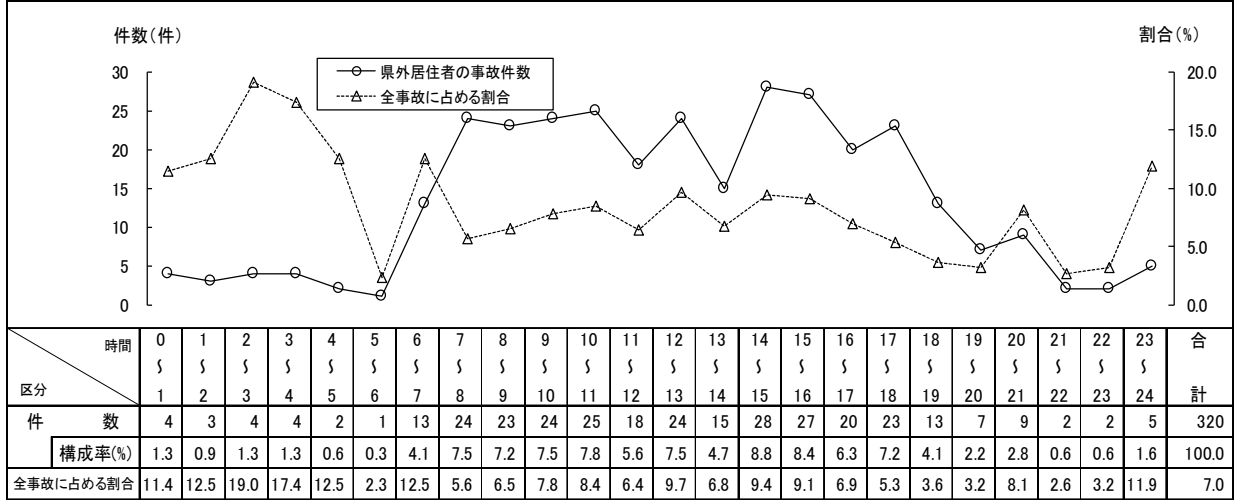
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		全事故	430	392	348	412	400	311	347	362	326	438	365	461
県外居住者	件数	34	31	23	25	34	21	27	31	20	27	22	25	320
	全事故に占める割合	7.9	7.9	6.6	6.1	8.5	6.8	7.8	8.6	6.1	6.2	6.0	5.4	7.0
	死者	2		1		2		1	1	1		2		10
	傷者	50	36	32	35	42	26	34	44	22	39	28	36	424

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、14～15時の28件、次いで15～16時の27件の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、2～3時の19.0パーセントが最も高く、次いで3～4時の17.4パーセントとなっている。

(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が156件で、県外居住者事故の48.8パーセントを占めている。特に、国道4号と国道6号は各43件で、合計すると国道事故の55.1パーセントを占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が57.0パーセントと最も高く、次いで幹線国道の6号の順となっている。

(単位：件・%)

区分	道路	国 道											計	市 道	町 道	高 速 道	そ の 他	合 計	
		幹 線 国 道					三 桁 国 道	計	市 道	町 道	高 速 道	そ の 他							合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	計													
件 数		43	43	5	9	100	56	156	51	46	49	18	320						
構成率(%)		13.4	13.4	1.6	2.8	31.3	17.5	48.8	15.9	14.4	15.3	5.6	100.0						
全事故に占める割合		14.0	18.2	8.2	5.1	12.8	11.6	12.4	4.3	2.5	57.0	7.3	7.0						

(5) 当事者別

普通乗用車が145件で最も多く、県外居住者事故の45.3パーセントを占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が51.7パーセントと高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車						貨 物 車						二 輪 車			特殊車	自 転 車	歩 行 者
		大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽	計	大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽	計	自 二 輪	動 輪	原 付			
件 数		0	1	0	145	44	190	46	20	11	30	22	129	1	0	1	0	0	0
構成率(%)		0.0	0.3	0.0	45.3	13.8	59.4	14.4	6.3	3.4	9.4	6.9	40.3	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
全事故に占める割合		0.0	10.0	-	6.3	3.2	5.1	51.7	31.7	12.9	14.2	6.4	16.3	4.8	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0

(6) 年齢別

高齢者が46件で最も多く、次いで25～29歳が34件となっている。

全事故に占める割合については、50～54歳の10.4パーセントが最も高くなっている。

(単位：件・%)

区分	年齢													高齢者	合計
	子ども	高校生	その他 10歳代	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳			
件数			9	32	34	22	30	25	32	33	27	30	46	320	
構成率(%)	0.0	0.0	2.8	10.0	10.6	6.9	9.4	7.8	10.0	10.3	8.4	9.4	14.4	100.0	
全体に占める割合	0.0	0.0	5.1	7.1	9.3	6.1	9.1	7.1	8.4	10.4	6.9	8.4	4.3	7.0	

(7) 通行目的別

私用中が167件で県外居住者事故の52.2パーセントを占めており、特に、観光が61件で最も多い。

業務中の事故は123件発生し、38.4パーセントを占め死者数は4人となっている。

(単位：件・人・%)

区分	件数	構成率(%)	死者傷者		
			死者	傷者	
業務	123	38.4	4	149	
通勤	28	8.8	1	36	
通学	2	0.6		2	
私用	観光	61	19.1		85
	ドライブ	6	1.9		8
	散歩		0.0		
	飲食	5	1.6		6
	買物	25	7.8		32
	訪問	17	5.3		24
	帰省	22	6.9	2	39
	その他	31	9.7	3	43
計	167	52.2	5	237	
不明		0.0			
合計	320	100.0	10	424	

(8) 違反別

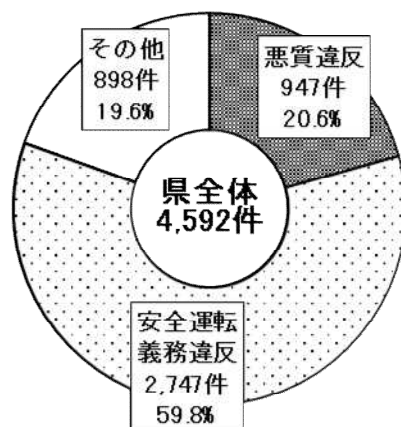
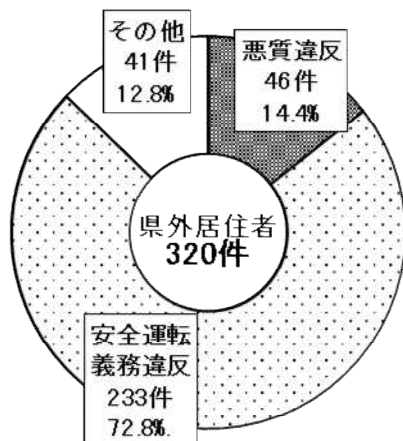
安全運転義務違反の占める割合が72.8パーセントと高く、なかでも前方不注意が98件と最も多い。

また、悪質違反のなかでは信号無視が15件と最も多い。

全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が、13.0ポイント高くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分		違反	区分		
	件数	構成率(%)		件数	構成率(%)	
悪質違反	信号無視	15	4.7	交差点安全進行	9	2.8
	最高速度		0.0	徐行違反		0.0
	通区・追越	13	4.1	安全運転義務違反	233	72.8
	歩行者妨害等	12	3.8	ハンドル・ブレーキ	34	10.6
	一時不停止	6	1.9	前方不注意	98	30.6
	酒酔い運転		0.0	動静不注意	56	17.5
計	46	14.4	安全不確認	36	11.3	
過労運転	1	0.3	安全速度	6	1.9	
横断禁止	7	2.2	その他	3	0.9	
進路変更禁止	3	0.9	計	233	72.8	
右・左折	2	0.6	その他	1	0.3	
優先通行妨害等	18	5.6	歩行者の違反		0.0	
			合計	320	100.0	



(9) 市町村別

(単位：件・%)

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合	順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
1	いわき市	68	1183	5.7	31	国見町	1	9	11.1
2	郡山市	33	1009	3.3	32	天栄村	1	10	10.0
3	福島市	31	660	4.7	33	富岡町	1	11	9.1
4	会津若松市	16	254	6.3	34	泉崎村	1	17	5.9
5	相馬市	11	93	11.8	35	三春町	1	19	5.3
6	白河市	11	101	10.9	35	石川町	1	19	5.3
7	南相馬市	9	89	10.1	37	川俣町	1	25	4.0
8	二本松市	9	107	8.4	38	会津坂下町	1	38	2.6
9	南会津町	8	22	36.4	39	田村市		50	0.0
10	猪苗代町	7	32	21.9	40	会津美里町		28	0.0
11	須賀川市	6	171	3.5	41	小野町		11	0.0
12	喜多方市	5	65	7.7	42	塙町		9	0.0
13	矢祭町	4	9	44.4	43	檜葉町		7	0.0
14	新地町	4	14	28.6	43	玉川村		7	0.0
15	大玉村	4	29	13.8	43	柳津町		7	0.0
16	矢吹町	4	34	11.8	46	湯川村		6	0.0
17	伊達市	4	87	4.6	47	平田村		5	0.0
18	広野町	3	11	27.3	48	三島町		4	0.0
19	下郷町	3	14	21.4	48	飯舘村		4	0.0
20	桑折町	3	15	20.0	50	大熊町		3	0.0
21	西郷村	3	24	12.5	50	鮫川村		3	0.0
22	棚倉町	3	34	8.8	50	古殿町		3	0.0
23	本宮市	3	86	3.5	53	浪江町		2	0.0
24	双葉町	2	4	50.0	54	金山町		1	0.0
25	北塩原村	2	5	40.0	54	只見町		1	0.0
26	磐梯町	2	11	18.2	54	川内村		1	0.0
27	鏡石町	2	25	8.0	54	葛尾村		1	0.0
28	西会津町	1	5	20.0	58	檜枝岐村		0	-
28	浅川町	1	5	20.0	58	昭和村		0	-
30	中島村	1	7	14.3					

(注) 高速道路で発生した交通事故を除く。

(10) 居住県別

(単位：件・人)

区分	本年			前年				
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道		0.0			5	1.3		5
青森	2	0.6		2	5	1.3	2	5
岩手	10	3.1		11	12	3.2	1	18
宮城	75	23.4	1	92	106	28.3	3	134
秋田	3	0.9		3	6	1.6		6
山形	18	5.6		21	23	6.1		30
東北	27	8.4	2	44	25	6.7	1	30
茨城	67	20.9	4	83	61	16.3	1	78
栃木	28	8.8	1	36	28	7.5		37
群馬	8	2.5		12	5	1.3		7
埼玉	19	5.9		31	18	4.8		20
千叶	19	5.9	1	26	21	5.6	1	32
神奈川	15	4.7		25	14	3.7		18
新潟	15	4.7	1	20	22	5.9		28
山梨	1	0.3		1		0.0		
長野	2	0.6		3	3	0.8		3
静岡	2	0.6		2	3	0.8		4
富山	2	0.6		2	2	0.5		2
石川	1	0.3		2		0.0		
福井	1	0.3		1	1	0.3		1
岐阜		0.0				0.0		
愛知	1	0.3		1	4	1.1		9
滋賀		0.0				0.0		
三重		0.0				0.0		
京都		0.0			1	0.3		2
大阪	1	0.3		1	2	0.5		6
兵庫	2	0.6		4	1	0.3		1
奈良	1	0.3		1	1	0.3		2
和歌山		0.0			1	0.3		1
鳥取		0.0				0.0		
島根		0.0				0.0		
岡山		0.0				0.0		
広島		0.0				0.0		
山口		0.0			1	0.3		1
香川		0.0				0.0		
愛媛		0.0				0.0		
徳島		0.0				0.0		
高知		0.0				0.0		
福岡		0.0			1	0.3		1
佐賀		0.0				0.0		
長崎		0.0			1	0.3		1
熊本		0.0				0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島		0.0				0.0		
沖縄		0.0			1	0.3		1
合計	320	100	10	424	374	100	9	483

18 道路環境等

(1) 道路形状別

交差点での事故（付近も含む）は、2,565件で全事故の55.9パーセントを占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が1,035件で最も多く、交差点事故の22.5パーセントを占め、次いで交差点付近が841件となっている。

(単位：件・人)

道路形状	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
交差点	大	279	6.1	6	331
	中	1,035	22.5	13	1,181
	小	410	8.9	2	468
	付近	841	18.3	4	1,026
	計	2,565	55.9	25	3,006
単路	トンネル	20	0.4	2	22
	橋	59	1.3	2	70
	カーブ・屈折	205	4.5	20	265
	その他	1,512	32.9	25	1,861
	計	1,796	39.1	49	2,218
踏切		1	0.0	1	
一般交通の場所		230	5.0		258
合計		4,592	100	75	5,482

(単位：件・人)

区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	
					交差点第1進入路
大 (13m以上)	交差路 小	16	0.9	0	20
	交差路 中	68	3.9	1	74
	交差路 大	195	11.3	5	237
	計	279	16.2	6	331
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	88	5.1	3	95
	交差路 中	877	50.9	9	1,007
	交差路 大	70	4.1	1	79
	計	1,035	60.0	13	1,181
小 (5.5m未満)	交差路 小	140	8.1	1	156
	交差路 中	230	13.3	1	267
	交差路 大	40	2.3	0	45
	計	410	23.8	2	468
合計		1,724	100	21	1,980

(2) 道路線形別

直線での事故は4,093件で全事故の89.1パーセントを占めている。

一方、カーブ・屈曲での事故は269件で全事故の5.9パーセントとなっている。

勾配で見ると、上り坂は141件（全事故の3.1%）、下り坂は222件（全事故の4.8%）、平坦は3,999件（全事故の87.1%）となっている。

(単位：件・人)

道路線形	区分	件数		死者	
		件数	構成率(%)		
カーブ・屈折	右	上り	16	0.3	1
		下り	23	0.5	3
		平坦	72	1.6	2
	左	上り	22	0.5	1
		下り	36	0.8	6
		平坦	100	2.2	8
計		269	5.9	21	
直線	上り	103	2.2	2	
	下り	163	3.5	3	
	平坦	3,827	83.3	49	
	計	4,093	89.1	54	
一般交通の場所		230	5.0		
合計		4,592	100.0	75	

(3) 地形別

(単位：件・人)

市街地での事故が3,334件で、
全事故の72.6パーセントを占め
ている。

死亡事故は非市街地での事故が
多い。

地形	区分	件数	構成率(%)	死者傷者	
				死	傷
市街地	人口集中地区	1,659	36.1	11	1,928
	その他	1,675	36.5	21	1,980
	計	3,334	72.6	32	3,908
非市街地		1,258	27.4	43	1,574
合計		4,592	100	75	5,482

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

(4) 道路幅員別

幅員「5.5m以上9.0m未満」の道路での事故が1,275件で最も多く、全事故の27.8パーセントを占めている。

(単位：件・人)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.0m以上	交差点			その他	合計
								小	中	大		
件数	3.5m未満	39	145	1,275	637	455	87	410	1,035	279	230	4,592
	構成率(%)	0.8	3.2	27.8	13.9	9.9	1.9	8.9	22.5	6.1	5.0	100
死者		1	3	28	16	4	2	2	13	6	0	75
傷者		46	172	1,543	798	563	122	468	1,181	331	258	5,482

(5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が3,708件で最も多く、全事故の80.7パーセントを占めている。

(単位：件・人)

地形	路面状態	舗装				計	非舗装	合計
		乾燥	湿潤	凍結	積雪			
件数	乾燥	3,708	638	186	54	4,586	6	4,592
	構成率(%)	80.7	13.9	4.1	1.2	99.9	0.1	100.0
死者		63	10	2		75		75
傷者		4,424	757	227	67	5,475	7	5,482

(6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が2,182件で最も多く、全事故の47.5パーセントを占めている。

(単位：件・人)

地形	施設	中央線					計	中央分離帯	その他	合計
		中央分離帯	高輝度表示	チャッターコーター等	ポスコーン	ペイント				
件数	中央分離帯	549	22	32	24	2,182	2,260	1,553	230	4,592
	構成率(%)	12.0	0.5	0.7	0.5	47.5	49.2	33.8	5.0	100.0
死者		9	1		1	46	48	18		75
傷者		718	25	41	42	2,614	2,722	1,784	258	5,482

19 その他

(単位：件・人)

(1) 特殊事故

特殊事故は917件で、全事故の20.0パーセントを占め、約5件に1件の割合で発生している。件数が多いのは次のとおりで

- ・多重衝突619件
全事故の 7.4件に1件
 - ・スリップ事故161件
全事故の 28.5件に1件
 - ・ひき逃げ89件
全事故の 51.6件に1件
 - ・無申告23件
全事故の 199.7件に1件
 - ・左折巻き込み5件
全事故の 918.4件に1件
 - ・ドア開閉4件
全事故の1,148.0件に1件
- の割合で発生している。

特殊事故		区分	件数		死者	傷者
			構成率(%)			
事故内容	共同危険行為			0.0		
	暴走行為		1	0.0		2
	ひき逃げ		89	1.9	1	107
	無申告		23	0.5		29
	多重衝突		619	13.5	12	952
	左折巻き込み		5	0.1		5
	荷崩れ			0.0		
	自然発車		1	0.0	1	
	ドア開閉		4	0.1		4
	車両火災		3	0.1		4
当事者内容	スリップ事故		161	3.5	2	202
	薬物影響		1	0.0		1
	発作・急病	てんかん	1	0.0		1
		心臓マヒ	1	0.0		1
		脳血管	2	0.0		4
		その他	3	0.1		6
	身障者		2	0.0		2
	緊急用務自動車		1	0.0		2
	合計		917	20.0	16	1,322

- (注) 1 表中の構成率は全事故に占める割合
 2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2) 天候別

晴天時（雲量が80パーセント未満）の事故が、2,644件で全事故の57.6パーセントを占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80パーセント以上）の事故が1,356件となっており、合わせると全事故の87.1パーセントを占めている。

(単位：件・人)

区分		天候					合計
		晴	曇	雨	霧	雪	
件数		2,644	1,356	429	3	160	4,592
構成率(%)		57.6	29.5	9.3	0.1	3.5	100.0
死者		43	24	8			75
傷者		3,176	1,601	506	4	195	5,482

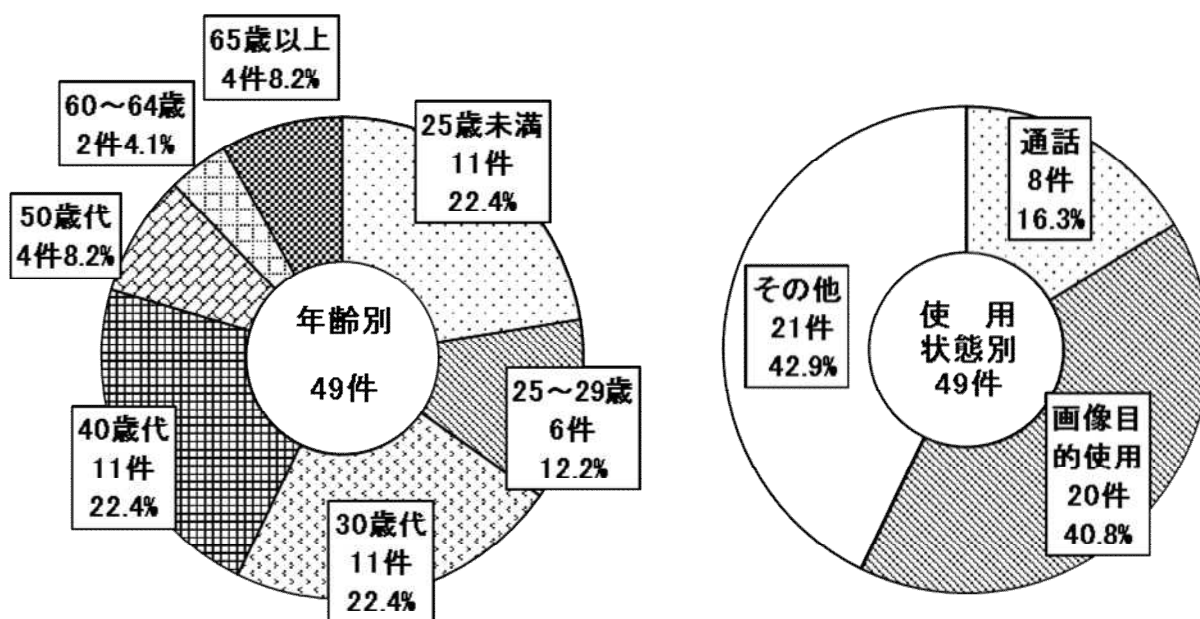
(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は49件発生し、死者は1人、傷者は60人となっている。

事故類型別にみると、追突が34件で最も多く、69.4パーセントを占め、全事故に占める追突事故の割合の約1.7倍となっている。

(単位：件)

区分	態様	携帯電話使用中事故		全事故	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人対車両		7	14.3	547	11.9
車両相互	追突	34	69.4	1,846	40.2
	出会い頭	3	6.1	1,129	24.6
	正面衝突	3	6.1	191	4.2
	その他	2	4.1	790	17.2
車両単独			0.0	88	1.9
列車			0.0	1	0.0
合計		49	100.0	4,592	100.0



年齢別にみると、25歳未満、30歳代、40歳代が各11件でそれぞれ22.4パーセントを占め最も多く、次いで25～29歳が6件となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用20件、通話が8件、その他の動作21件となっている。